



for Windows98SE/Me/2000/XP 日本語版

ユーザーズマニュアル

#### Copyright (C) 2005 ,Ichikawa Soft Laboratory Co.,Ltd. All rights reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、株式会社市川ソフトラボラトリーから文書による許諾を受けずに、無断で複製・複写・転載・引用することは禁じられています。 水書に記載されいてる商品名は一般に各社の商標です。 本書内で解説しているプログラムおよび画面は開発中の為、製品と仕様が異なる場合があります。 落丁、乱丁はお取替えいたします。その場合、お手数ですが市川ソフトサポートセンターまでご連絡下さい。

# 目次

モード共通操作

はじめにお読みください	4	通常印刷セクション	132
動作環境について	4	インデックス印刷セクション	134
インストール	5	専用フォト印刷セクション	137
旧バージョンのデータの引継ぎ	7	専用紙印刷セクション	140
アルバムセクション	8	アルバム印刷セクション	142
セクション共通操作	53	レイアウト印刷セクション	146
変形共通操作	60	CD レーベル印刷セクション	151
トリミングセクション	63	はがき印刷セクション	154
回転セクション	64	名刺印刷セクション	154
解像度変換セクション	65	カレンダー印刷セクション	157
補正共通操作	66	ポスター印刷セクション	161
色補正セクション	70	さいころ印刷セクション	163
明るさ・コントラストセクション	72	設定セクション	166
色調・彩度・明度セクション	72	オンラインサービスボタン	168
カラーバランスセクション	73	ヘルプ/終了ボタン	170
レベル補正セクション	73	バージョンチェッカー	171
トーンカーブセクション	76	アンインストール	174
ぼかし・シャープセクション	78	対応ファイルフォーマット	175
ノイズ除去セクション	78	ユーザーサポートについて	176
美肌補正セクション	79	使用許諾契約書	177
赤目補正セクション	79	付録	179
コピー修正セクション	80	お問い合わせ票	187
ペン先色補正セクション	82		
ペン先色変換セクション	84		
偽色抑制セクション	88		
合成セクション	89		
装飾共通操作	95		
描画セクション	96		
文字セクション	100		
スタンプセクション	106		
フレームセクション	109		
フィルタ共通操作	114		
フィルタセクション	117		
ペン先フィルタセクション	123		
印刷共通操作	126		

128

# はじめにお読みください

この度は、弊社製ソフトウェアをお買い上げいただき、誠に有り難うございます。本文は、製品の取り扱いに対し 重要な事項について説明しています。ソフトウェアをお使いになる前に巻末の「使用許諾契約書」を最後までよくお読 み下さい。

ユーザーズマニュアル中で使用される表記について



このマークは、誤った操作を行うと作業中のファイルの損失や、アプリケーションの動作不良などを起こす 可能性がある説明に使用されます。



このマークは、用語の解説や簡単な用例などの説明に使用されます。



このマークは、本文中で紹介している方法とは別の操作方法の説明などに使用されます。

# 動作環境について

「デイジーコラージュ9」をご使用になるためには、必要な動作環境は以下のとおりです。

	-
対応機種	IBM PC/AT 及び 100% 互換機
対応OS	Windows(R)98SE/Me 日本語版
	Windows(R)2000/XP 日本語版
CPU	Pentium(R) 以上
	(Pentium(R)4 以上を推奨 )
メモリ	128MB 以上 (512MB 以上を推奨)
HDD	300MB 以上の空き容量
プリンタ	対応 OS に対応した各社プリンタ
ディスプレイ	800x600 High Color 以上
	(1024x768 Full Color 以上を推奨)
その他	CD-ROM ドライブ、マウス

※ Windows(R)2000/XP にインストールする場合は、必ず [コンピュータの管理者 (アドミニストレーター)] 権限を持つユーザーでインストールして下さい。[コンピュータの管理者 (アドミニストレーター)] についてはOS の説明書をご覧下さい。

([制限ユーザー] などの[管理者権限]を持たないユーザーでも「デイジーコラージュ9」を使用することが出来ます。)

※ WindowsXP の [ユーザーの簡易切り替え]機能には対応しておりません。ユーザーを切り替える場合は、必ず「デイジーコラージュ 9」を終了して下さい。

○本ソフトでご利用いただける画像サイズは、「32 × 32 | ~ 「6144 × 6144 | ピクセルまでです。

なお、ご利用いただけるファイル形式につきましては、「対応ファイルフォーマット」(191ページ)をご覧下さい。 ○メール送信機能は、OutlookExpress6等のMAPI対応のメールソフトでご利用いただけます。

○自動取込機能は、DCF に対応したデジタルカメラ等の機器で撮影したメディアでご利用いただけます。

○「デイジーコラージュ 9」から直接 CD-R/RW ヘデータを出力することは出来ません。

画像やスライドショーなどをCD-Rに保存する場合には、CD-R/RW ドライブ及び CD-R/RW ライティングソフトが必要です。

○動画フォーマットを入力・管理するには DirectX6 以降 が必要です。

また「\*.MOV」形式の動画フォーマットを入力・管理するには OuickTime6 以降が必要です。

なお、可変フレームレートの動画ファイルは入力出来ません。

○音声ファイルは画像に付随するもの(デジタルカメラで付与したもの)に限り、画像の付属ファイルとして管理することが出来ます。

「デイジーコラージュ9」をお使いのコンピュータで使用するために、インストールを行います。

※ Windows2000/XP をお使いの場合は、必ず「コンピュータの管理者(アドミニストレーター)」権限を持つユーザー でインストールして下さい。

1 「デイジーコラージュ 9」の CD-ROM を CD-ROM ドラ イブにセットすると、自動的に「ようこそ」の画面が表 示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。



自動的にセットアップ画面が表示されない場合 について

CD-ROM をセットしてもセットアップ画面が表示さ れない場合は、[スタート]メニューの[ファイル名 を指定して実行]を選択し、表示された画面の[名前]

に [a: ¥setup.exe] と入力して. [OK] ボタンを押して下さい。 ([a:] には CD-ROM ドライブ を指定して下さい。)



2.「デイジーコラージュ9」をご利用頂くためには「使 用許諾契約 | への同意が必要です。最後までよくお読み になり、同意する場合は [使用許諾契約の条項に同意し ます]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。



3次に、「インストール先フォルダの選択」を行います。 特に指定する必要のない場合には、このまま[次へ]ボ タンをクリックして下さい。



4. 確認画面が表示されます。

[次へ] ボタンをクリックすると、インストールを開始 します。



5. 下の画面が表示されている間は、ファイルをコピーし ています。しばらくお待ち下さい。



6. ファイルのコピーが終了すると、下の画面が表示されますので、[完了] ボタンをクリックします。

これで、「デイジーコラージュ 9」のインストールは完了 です。





#### インストール先フォルダを変更する場合

通常、「デイジーコラージュ 9」は既定の [Program Files] フォルダ (例:[C: ¥Program Files]) 内の専用フォルダにインストールされますが、インストール先を別のフォルダやドライブに変更することもできます。 ※インストールの操作では、「デイジーコラージュ 9」のプログラムのみをインストールします。

### ◎インストール先フォルダの変更手順のご案内

- a.「デイジーコラージュ9」はドライブの直下及び「Program Files」フォルダへ直接インストールしていただくことは出来ません。このため、操作を開始していただく前に、予め「デイジーコラージュ9」専用となるフォルダ (例「DC9」など)を作成して下さい。
- b. 前述の操作の中の 3. 「インストール先フォルダの 選択」画面にて、「インストール先フォルダ」内の [参 照] ボタンをクリックして下さい。
- c.「ディレクトリの選択」画面が表示されます。



- ①「デイジーコラージュ 9」専用のフォルダを 作成したドライブを指定します。
- ②指定したドライブ内のフォルダの一覧が表示されます。作成したフォルダをクリックして下さい。
- ③指定された場所(パス)が表示されます。 内容をご確認の上、[OK] ボタンをクリックして 下さい。
- d. 前述の操作の中の3.「インストール先フォルダの 選択」画面に戻ります。

「インストール先フォルダ」が設定した場所に変更したことをご確認下さい。



## ユーザーデータの保存先について

「デイジーコラージュ 9」では、ユーザーが取り込んだ 画像や各種設定データを「ユーザーデータフォルダ」に 保存します。「ユーザーデータフォルダ」は「マイドキュ メント」フォルダ内の [DaisyCollage9Data] というフォル ダです。

「ユーザーデータフォルダ」の具体的な場所は OS によって異なり、Windows2000/XP ではログインユーザーによっても異なります。

- ○「ユーザーデータフォルダ」の具体的な場所は、[バージョンチェッカー]や「デイジーコラージュ9」の[設定セクション]、「バージョン情報]で確認出来ます。
- ○「ユーザーデータフォルダ」は、保存する場所を変更 することが出来ます。



#### ユーザーデータ保存場所の変更について

ユーザーデータの保存場所の変更につきましては、「バージョンチェッカー〜ユーザーデータ保存場所の変更について (171 ページ) | をご覧下さい。

# 旧バージョンのデータの引継ぎについて

「デイジーコラージュ9」は、「デイジーコラージュ1~8」の旧バージョンへ上書きインストールを行いません。こ のため、旧バージョンの画像を「デイジーコラージュ9」でご利用いただく際には、改めて「デイジーコラージュ9」 へ旧バージョンの画像を登録していただく必要があります。



■ 操作を行っていただく前に・・・

この操作は、旧バージョンのデータを「デイジー コラージュ91 ヘコピーして登録を行います。 このため、この操作を行っていただく際には、 予めご利用のパソコンの空き容量をご確認下さ 6

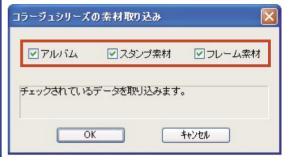
- 1.パソコンの空き容量をご確認の上、ご利用の旧バー ジョンがインストールされている状態で、「デイジーコ ラージュ9」をインストールして、「デイジーコラージュ 91を起動して下さい。
- 2. 画面左下の画像ツリーか ら、「デイジーコラージュ 9) へ引き継ぐ旧バージョ ンの製品のアイコンをク リックし、選択して下さ しつ



3. 選択した製品のアイコンを、画面左上のアルバム アイ コン欄へドラッグ&ドロップして下さい。



4. 確認メッセージのウインドウが表示されます。 選択した製品の内、引き継ぎたいデータの項目の左手に 表示されている「□」をクリックして、チェックマーク を付けて下さい。



5.[OK] ボタンをクリックすると、データの転送を実行し ます。しばらくお待ち下さい。

6. 選択した製品に保存されていたアルバムが全てコピー され、「デイジーコラージュ9」のアルバム アイコン欄 に追加されます。



※「スタンプ」及び「フレーム」のデータは、それぞれ のセクションの画像セレクタに表示されます。

# アルバム セクション

「アルバムセクション」では、画像の閲覧や管理を行うことが出来ます。

#### アルバム セクションを表示します

「デイジーコラージュ 9」を起動すると、まず「アルバム セクション」の画面を表示します。 なお、 補正や合成などの操作後に「アルバム セクション」に戻る場合には、[アルバム] ボタンをクリックして下さい。

アルバム

#### アルバム セクション

## 入出力ボタン (9ページ)

#### 操作ボタン (24ページ)

画像の入出力を操作します。 自動補正や削除など、画像への直接的な操作を行います。



#### アルバム ボックスの操作(39ページ)

アルバムボックスの作成や選択などを行います。

#### アルバムの操作(41ページ)

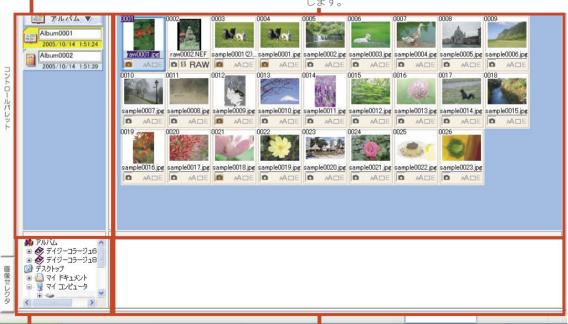
アルバムの作成や選択などを行います。

## サムネイル操作ボタン (37ページ)

サムネイルの選択や表示方法の設定を行います。

#### アルバム サムネイル一覧 (44ページ)

選択したアルバムに登録されている画像の一覧を表示 します。



#### 画像ツリー(47ページ)

旧バージョンのアルバムやパソコンに現在設定されている画像の保存場所を表示します。

#### 画像一覧 (48 ページ)

画像ツリーで選択した画像の保存場所の中に保存されている画像の一覧を表示します。

#### 入出力ボタン

画像の入出力を操作します。

※「デイジーコラージュ9」で操作できる画像サイズは、  $\lceil 32 \times 32 \rceil \sim \lceil 6144 \times 6144 \rceil \ \ell^2 / 2 + \ell^2 / 2 + \ell^2 / 2 = \ell^2 / 2 + \ell^2 / 2 = \ell^$ 

#### ◎ [ 自動取込 ] ボタン

[自動取込]ボタンをクリックすると、設 定されているメディアの場所を自動的に認 識して、画像の入力を行います。





#### 「自動取込」機能について

お使いのデジタルカメラまたは画像入力機器のメ ディアが DCF 規格に対応している機器の場合には、 「自動取込」機能からの画像の取り込みも行えます。

※但し、お使いのデジタルカメラまたは画像入力機 器がパソコンにドライブとして認識されない機器の 場合には、カードリーダーなどをご利用下さい。

#### a. 全ての画像を取り込む場合

設定したメディアの中に保存している全ての画像を、自 動的に新しいアルバムを作成し、このアルバムへ取り込 みます。

- ①お使いのデジタルカメラまたは画像 λ 力機器をパソコ ンにセットして、[自動取込]ボタンをクリックして下 さい。
- ②「画像の自動取込」ウインドウが表示されます。「取 込開始1ボタンをクリックして下さい。

複数のメディアをパソコンに設定している場合には、表 示されたドライブを確認の上、[取込開始]ボタンをク リックして下さい。



③自動取込の操作を実行します。しばらくそのままお待 ち下さい。





## 「自動取込」操作の取り消しについて

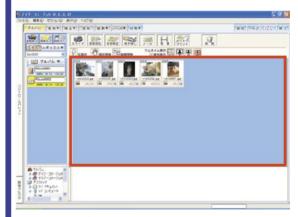
「画像の自動取込」ウインドウに 目的のドライブ以外のドライブが 表示された場合には、「取込中止」



ボタンをクリックすると、次に認識したドライブが 表示されます。

また誤って自動取込を開始してしまった場合には、 [キャンセル]ボタンをクリックすると処理を中止 します。

④新たに作成したアルバムに画像を登録し、アルバム サ ムネイル一覧に画像を表示します。



#### b. 画像・アルバムを指定して取り込む場合

設定したメディアの中に保存している画像の内、取り込 まれる画像を選択したり、画像を登録するアルバムを指 定して取り込みます。

①お使いのデジタルカメラまたは画像入力 機器をパソコンにセットして、[自動取込] ボタンをクリックして下さい。



②「画像の自動取込」ウインドウが表示されます。[選択して取込]ボタンをクリックして下さい。



③「画像の自動取込」ウインドウの内容が切り替わります。



#### ・アルバム ボックスの指定

プルダウンメニューを使って、画像を登録する既存 のアルバム ボックスを指定します。

新しいアルバム ボックスを作成する場合には、[新規] ボタンをクリックして下さい。





## プルダウンメニューとは・・・

Windows の「エクスプローラ」のアドレスなどにも 利用されている Windows 標準の選択機能です。マウスでメニューを引き出すように動作することから、 プルダウンメニューと呼ばれています。

・アルバムの指定 プルダウンメニューを使って、画像を登録する 既存のアルバムを指定します。

新しいアルバムを作成する場合には、[新規]ボタンをクリックして下さい。



#### 「全て同じアルバムに取り込む」

一つのメディアに複数のフォルダが保存されている場合には、そのフォルダ毎に画像を選択し、選択した画像をフォルダ毎に別々のアルバムに登録することが出来ます。

## 1.フォルダ毎に選択した画像を別々のアルバム に登録する場合

1)「全て同じアルバムに取り込む」項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークを外して下さい。

# ☑ 全て同じアルバムに取り込む

2) アルバムに登録する画像と登録を行うアルバムボックス及びアルバムを指定して下さい。



3) 一つ目のフォルダ内でアルバムに登録する画像と登録を行うアルバムボックス及びアルバムを指定して、[更新]ボタンをクリックして下さい。



4) 二つ目以降のフォルダ内で、アルバムに登録する画像と登録を行うアルバム ボックス及びアルバムを指定して、[更新] ボタンをクリックして下さい。

5)全ての指定が終わりましたら、[取込開始]ボタンをクリックして下さい。



- 6) 自動取込の操作を実行します。しばらくそのままお待ち下さい。
- 7) それぞれのフォルダから選択した画像が、それぞれのアルバム ボックス及びアルバムへ登録されます。
- Ⅱ.全てのフォルダの画像を一つのアルバムに登録する場合
- 1) 画像を登録するアルバム ボックス及びアルバム を指定して下さい。
- 2)「全て同じアルバムに取り込む」項目の左手に表示されてい



- る「□」をクリックして、チェックマークを付けて、 「更新」ボタンをクリックして下さい。
- 3) 全ての画像を選択して、[取込開始] ボタンをクリックして下さい。



- 4) 自動取込の操作を実行します。 しばらくそのままお待ち下さい。
- 5) 全ての画像が、指定したアルバム ボックスのアルバムに登録されます。
- Ⅲ.フォルダ毎に選択した画像を一つのアルバムに 登録する場合
- 1) 画像を登録するアルバム ボックス及びアルバム を指定して下さい。
- 2)「全て同じアルバムに取り込む」項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェッ



- クマークを付けて、[更新]ボタンをクリックして下さい。
- 3) 一つ目のフォルダ内でアルバムに登録する画像を選択して下さい。
- 4)二つ目以降のフォルダ内で、それぞれアルバムに登録する画像を選択して下さい。
- 5)[取込開始]ボタンをクリックして下さい。



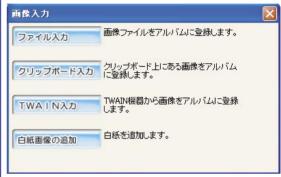
6) 自動取込の操作を実行します。しばらくそのままお待ち下さい。

7) それぞれのフォルダから選択した画像が、指定したアルバム ボックスのアルバムに登録されます。

## ◎ [画像入力] ボタン

[画像入力]ボタンをクリックすると、現在 選択しているアルバムに、画像を入力しま す。





#### a. ファイル入力

登録する画像を直接指定して選択し、アルバムに登録します。

- ①[ファイル入力]ボタンをクリックして下さい。
- ②「開く」または「ファイルを開く」ウインドウが表示されます。「ファイルの場所」に、画像の保存されている場所を指定して下さい。



③「ファイルの場所」の下に、指定した画像の保存場所に保存されているファイル名が一覧で表示されます。アルバムに登録する画像のファイル名を全て選択して、[開く]ボタンをクリックして下さい。





## 複数の画像の選択方法について

#### a. 一覧で表示された全ての画像を選択する

一覧に表示された全ての画像を選択する場合には、まず一つのファイル名をクリックで選択してから、キーボードの[CTRL]キーを押さえて、アルファベットの[A]キーを押して下さい。

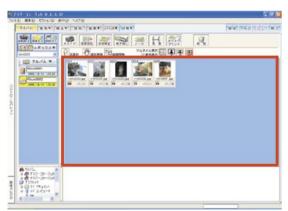
#### b. 連続した一部の画像を選択する

一覧に表示された画像の内、連続した一部の画像を 選択する場合には、まず一つ目のファイル名をクリックで選択してから、キーボードの [SHIFT] キーを押さ えて、連続した最後の画像のファイル名をクリック して下さい。

## c. バラバラな位置の複数の画像を選択する

一覧に表示された画像の内、バラバラな位置の複数の画像を選択する場合には、まず一つ目のファイル名をクリックで選択してから、キーボードの[CTRL]キーを押さえて、それぞれの画像のファイル名をクリックして下さい。

④現在選択しているアルバムに、画像を登録し、アルバムサムネイル一覧に画像を表示します。



### b. クリップボード入力

[クリップボード入力] ボタンをクリックすると、現在他の画像処理ソフトウェアやプリントスクリーンなどでクリップボードに貼り付けられた一つの Bitmap(BMP) 画像をアルバムに登録します。

なお、他の画像処理ソフトウェアなどからクリップボードへ画像の貼り付けが行えない場合には、その画像をファイルとして保存して、ファイル入力からアルバムへ登録して下さい。

#### c.TWAIN 入力

TWAIN 対応機器から、機器付属のドライバを経由して、 画像をアルバムに登録します。



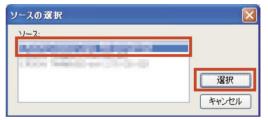
## TWAINとは・・・

TWAIN とは、Technology Without Any Interested Name の略称です。

デジタルカメラやスキャナなど、デジタルイメージング機器から簡単に画像を取り込めるようにするためのアプリケーションです。

- ① [TWAIN 入力] ボタンをクリックして下さい。
- ②「ソースの選択」ウインドウが表示されます。

設定されている機器付属のドライバをクリックで選択 し、[選択] ボタンをクリックして下さい。



③機器付属のドライバのウインドウが表示されます。ご利用機器の取扱説明書をご参考の上、画像の取り込みの操作を行って下さい。

#### d. 白紙画像の追加

白紙の画像を作成して、アルバムに 登録します。

「デイジーコラージュ」では、画像の中にしか文字を載せることは出来ません。このため、懇親会のご案内などで操作する画像上以外に文字を載せたい場合、文字を載せる場所を用意する必要があります。



このような場合は、白紙の画像を作成し、この白紙を台 紙として画像や文字を配置することが出来ます。

- ① [ 白紙画像の追加 ] ボタンをクリックして下さい。
- ②「サイズ設定」ウインドウが表示されます。

作成する画像のサイズ及び解像度を設定して、[OK] ボタンをクリックして下さい。

◉ 自由(印)	210	х	148	mm	
○自由ビク	7セル数で指定)	794	х [	560	pixel
○ A4横	○ A5横	○はがき	横		
○ A4縦	○ A5ÆÉ	○はがき	縦		
¥像度					
● 自由	96 DPI				)K
○ 解像度大	○解像度中	○解像度	₹/Is	<b>+</b> +)	ンセル

#### ・サイズ

印刷サイズ (mm × mm) または画像サイズ (pixel × pixel) を半角数字で設定することが出来ます。

また A4・A5・はがきサイズについては、項目を選択し、サイズを設定することが出来ます。



#### • 解像度

解像度 (DPI) を半角数字で設定することが出来ます。 また解像度大 (144DPI)・解像度中 (96DPI)・解像度小 (72DPI) から、何れかを選択し、解像度を設定すること が出来ます。

解像度		
●自由	96 DPI	
○解像度大	○解像度中	○解像度小

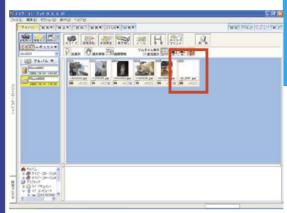


#### DPIとは・・・

DPIとは、画像サイズ÷印刷サイズ (dot per inch) から求められた数値の単位です。

画像サイズ (pixel) の数値が大きく、印刷サイズ (Inch) の数値が小さいと、密度の高い画像が作成できます。 反対に、画像サイズが小さく、印刷サイズが大きいと、画像は荒くなります。

③現在選択しているアルバムの最後尾に白紙の画像を登録し、アルバム サムネイル一覧に白紙画像を表示します。

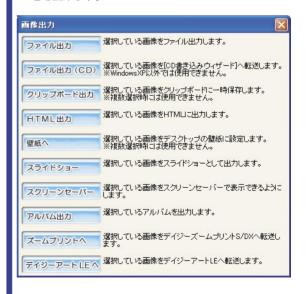


## ◎ [画像出力]ボタン

[画像出力] ボタンをクリックすると、現在 選択している画像を新たなファイルとして 保存したり、クリップボードへ貼り付けて 他のソフトウェアでも操作出来るように保 存します。



またスライドショーやスクリーンセーバーとして保存して、保存したデータをデスクトップでお楽しみいただくことも出来ます。



#### a. ファイル出力

選択している画像を新たなファイルとして出力します。 また複数の画像を選択している場合には、選択している 画像全てを出力します。

#### 一つの画像をファイル出力する場合

- ①出力する画像を選択して、[ファイル出力]ボタンを クリックして下さい。
- ②「名前を付けて保存」ウインドウが表示されます。「保存する場所」に、選択している画像を保存する場所を指定して下さい。



③「ファイル名」に、新たなファイル名を入力して下さい。



④プルダウンメニューを使って、「ファイルの種類」を 設定して下さい。



⑤[保存]ボタンをクリックすると、画像のファイル出力を実行します。





#### ファイルの種類による詳細設定について

選択したファイルの種類によって、更に詳細の設定を求められることがあります。下記の通り、代表的なファイルの種類からの詳細設定をご案内致しますので、ご参考下さい。

#### a.Bitmap(\*.BMP) ~色数指定

画像を表示する際の色数を設定します。

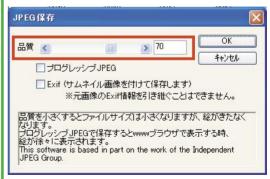
True Color(約 1670 万色) または 256 色の何れかを 選択して、[OK] ボタンをクリックして下さい。



## b.JPEG(\*.jpg / \*.jpeg)

JPEG ファイルは、ファイルサイズを抑える圧縮の処理を行うファイルとなります。このため、この圧縮に掛かる品質の数値を設定します。「品質」のバーを左右に調整するか、または半角数字で設定したい数値を入力して下さい。

「品質」の数値は小さくなるほど、ファイルサイズ は小さくなりますが、画質は劣化します。



「プログレッシブ JPEG」項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークを付けると、このファイルを「プログレッシブ JPEG」として保存します。

「プログレッシブ JPEG」を有効にして保存を行うと、ホームページなどで画像を表示する際に、まず全体をモザイク状に表示して、その後徐々に全体をはっきりと表示します。



「Exif」項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークを付けると、このファイルを「Exif」として保存します。

「Exif」を有効にして保存を行うと、ファイル出力を 行ったメーカー名 (Ichikawa Soft Laboratory) やサム ネイルなどの情報が付加されます。

※なお、元画像の Exif 情報 (デジタルカメラに関する情報)を引き継ぐことは出来ません。



#### c.Graphic Interchange Format(\*.gif)

GIF ファイルは、主にホームページ上で利用します。 「インターレス GIF」項目の左手に表示されている 「□」をクリックして、チェックマークを付けると、 このファイルを「インターレス GIF」として保存しま す。

「インターレス GIF」を有効にして保存を行うと、ホームページなどで画像を表示する際に、まず全体をモザイク状に表示して、その後徐々に全体をはっきりと表示します。

GIF保存	
□ インターレースGIF □ 白を透明色にする	OK キャンセル
インターレースGIFで保存するとwww 絵が徐々に表示されます。	ブラウザで表示する時、

「白を透明色にする」項目の左手に表示されている 「□」をクリックして、チェックマークを付けると、 この画像の完全に白い色の部分を透明にして保存し ます。



・複数の画像をファイル出力する場合

①出力する全ての画像を選択して、[ファイル出力]ボタンをクリックして下さい。

※複数の画像を選択する操作については、「 $\bigcirc$ [画像入力] ボタン - 複数の画像の選択方法について (12 ページ)」を ご覧下さい。

②「複数ファイルの出力」ウインドウが表示されます。 ウインドウ中央の画像ツリーより、「保存する場所」を 指定して下さい。



この際に、保存場所として新しいフォルダを作成する場合には、画像ツリーでフォルダを作成するドライブなどを指定してから、[新しいフォルダの作成]ボタンをクリックして下さい。



③「保存する場所」を指定すると、指定した場所が「出 力先」の項目名の下に表示されます。



④ファイル名を設定します。

複数の画像を出力する場合には、「ファイル名(共通)」に指定した文字を頭として、5桁の数字を組み合わせてファイル名を設定します。例えば、初めに設定されている「img」を使用すると、「img」から始まるファイル名が設定されます。



⑤プルダウンメニューを使って、「ファイルの種類」を 設定して下さい。

※ファイルの種類による詳細設定については、「ファイルの種類による詳細設定について (14ページ)」をご覧下さい。



⑥ [OK] ボタンをクリックすると、画像のファイル出力を実行します。



#### b. ファイル出力 (CD)

[ファイル出力 (CD)] ボタンをクリックすると、Windows の「CD 書き込みウィザード」を起動して、選択されている画像を CD-ROM に出力します。



#### 「ファイル出力 (CD)」機能について

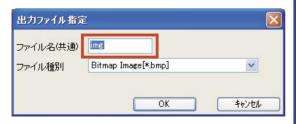
## 【操作をおこなわれる前にご確認下さい】

- 1. 本機能では、WindowsXP の CD 書き込み機能を利用します。このため、この [ファイル出力 (CD)] ボタンを利用するには、ご利用の OS が WindowsXP である必要があります。
- 2. 本機能をご利用いただくには、ご利用のパソコンから CD-R/RW 機能を持っドライブが設定されている必要があります。
- ①出力する全ての画像を選択して、[ファイル出力 (CD)] ボタンをクリックして下さい。
- ※複数の画像を選択する操作については、「◎[画像入力] ボタン - 複数の画像の選択方法について (12 ページ)」を ご覧下さい。
- ②「出力ファイル指定」ウインドウが表示されます。



③ファイル名を設定します。

複数の画像を出力する場合には、「ファイル名 (共通)」に指定した文字を頭として、5 桁の数字を組み合わせてファイル名を設定します。例えば、初めに設定されている「img」を使用すると、「img」から始まるファイル名が設定されます。



④プルダウンメニューを使って、「ファイルの種類」を 設定してから [OK] ボタンをクリックして下さい。

※ファイルの種類による詳細設定については、「ファイルの種類による詳細設定について (14ページ)」をご覧下さい。





⑥上記④で設定された「ファイルの種類」により、詳細 設定のウインドウが表示されます。

詳細を設定の上、「OKI ボタンをクリックして下さい。



② WindowsXP の「CD 書き込みウィザード」ウインドウが表示されます。

「CD名」欄を設定の上、[次へ]ボタンをクリックして下さい。



※「CD 書き込みウィザード」ウインドウからの操作の詳細につきましては、ご利用のパソコンの取扱説明書及び Windows のマニュアルをご覧下さい。

® CD-ROMへの書き込みが開始されます。 しばらくお 待ち下さい。



◎処理が終了すると、「CD書き込みウィザードの終了」 ウインドウが表示されます。

[完了] ボタンをクリックすると、ウインドウを閉じて、「デイジーコラージュ 9」のアルバム セクション画面に戻ります。





## CD-ROM に書き込めない場合には・・・

ご利用のCD-R/RWドライブの設定により、CD-R/RWへの書き込みがおこなえない場合には、CD-R/RWドライブのプロパティを開いて、「書き込み」タブ内にある「このドライブでCD書き込みを有効にする」にチェックマークを付けて、CD-ROMへの書き込みが有効になるように設定を変更して下さい。



## c. クリップボード出力

[クリップボード出力]ボタンをクリックすると、クリップボードに選択している一つの画像を貼り付けます。

なお、クリップボードへ画像の貼り付けが行えない場合には、その画像をファイル出力からファイルとして保存を行い、保存したファイルを利用して下さい。

※クリップボード出力されたデータは、パソコンを再起動すると、クリップボードからクリアされます。

#### d.HTML 出力

[HTML 出力] ボタンをクリックすると、選択している画像を貼り付けます。



## ・「画像のプレビュー表示を行う」

「画像のプレビュー表示を行う」項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークを付けると、HTMLのプレビューに選択した画像を表示します。

## ☑ 画像のプレビュー表示を行う

#### · 「出力領域設定」

作成する HTML 全体の大きさや配置する画像のコマの大きさ・位置などを設定します。

#### 1. 定型サイズの選択

プルダウンメニューを使って、作成する HTML 全体の大きさをを設定します。



#### Ⅱ.画像1枚当たりの領域の大きさ

エディットコントロールまたはスピンコントロールを使って、配置する画像の1枚当たりの大きさを設定します。



#### Ⅲ. 左上端からのオフセット

エディットコントロールまたはスピンコントロールを使って、画像を配置する開始位置となる 左上角の位置を設定します。



#### Ⅳ. 隣のコマまでの間隔

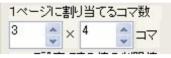
エディットコントロールまたはスピンコントロールを使って、配置する画像と画像の間隔を設定します。



例えば、「画像 1 枚当たりの領域の大きさ」を「240  $\times$  240 ピクセル」として、間隔を「20  $\times$  20 ピクセル」ずつ取る場合には、「260  $\times$  260 ピクセル」と設定して下さい。

#### V.1ページに割り当てるコマ数

エディットコントロールまたはスピンコントロールを使って、1ページに割り当てるコマ数を設定します。



なお、上記「画像 1 枚当たりの領域の大きさ」 及び「隣のコマまでの間隔」で設定した領域によっ て、コマ数が指定したい数値に出来ないことがあ ります。

この場合には、自動的に設定されたコマ数でご利用いただくか、または「画像 1 枚当たりの領域の大きさ」及び「隣のコマまでの間隔」を再度調整し直して下さい。

#### ・「ページの切り換え」

現在プレビューに表示されているページが、全体の何ページ目に当たるかを表示します。

また左右のボタンをクリックすると、左のボタンでは前ページに、右のボタンでは次ページに表示を切り換えます。



## •「画像情報」

各項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークを付けると、それぞれの情報を 画像の下に表示します。



#### 1.ファイル名

「画像情報」で設定されている、画像のファイル 名を表示します。

#### Ⅱ.日時

「画像情報」で設定されている、画像の更新日を 表示します。

#### Ⅲ タイトル

「画像情報」で設定されている、画像のタイトル を表示します。

#### ・「画像ファイル保存設定」

HTML に配置する画像のファイル形式と画像の品質を設定します。



#### Ⅰ.保存ファイルフォーマット

プルダウンメニューを使って、HTML に配置する画像のファイル形式を設定します。

※ファイルの種類による詳細設定については、「ファイルの種類による詳細設定について(14ページ)」をご覧下さい。

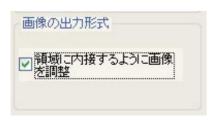
## Ⅱ.パラメータによる設定

HTML に配置する画像の品質を設定します。 パラメータを「サイズ優先」に調整すると、画 像のファイルサイズは小さくなりますが、画質が 荒くなります。反対に「品質優先」に調整すると ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化 を抑えることが出来ます。

#### ・「画像の出力形式」

「領域に内接するように画像を調整」項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークを付けると、1コマの表示領域に対して、画像全体が収まるように画像を表示します。

なお、この項目にチェックを入れた状態で、1コマの表示領域が横長の場合、縦長の画像は左に90度回転した状態で表示されます。



全ての設定が終わりましたら、[出力開始] ボタンをクリックして下さい。



「HTML の出力先指定」ウインドウを表示します。

なお、「HTML 出力」の操作を中止する場合には、[EXIT] ボタンをクリックして下さい。



#### ・「HTML の出力先指定」

「HTML 出力」ウインドウで設定した内容を元に生成した HTML データを保存する場所を指定します。

①ウインドウ中央の画像ツリーより、「保存する場所」を指定して下さい。



この際に、保存場所として新しいフォルダを作成する場合には、画像ツリーでフォルダを作成するドライブなどを指定してから、[新しいフォルダの作成]ボタンをクリックして下さい。



②「保存する場所」を指定すると、指定した場所が 「HTMI 出力先」の項目名の下に表示されます。 [OK] ボタンをクリックすると、保存を実行します。

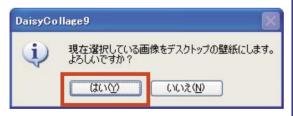


③保存先に作成された「index.html」ファイルをダ ブルクリックすると作成した HTML が開きます。

#### е 壁紙へ

[壁紙へ]ボタンをクリックすると、選択している画像 をデスクトップの壁紙として登録します。

- ①出力する画像を選択して、「壁紙へ」ボタンをクリッ クして下さい。
- ②確認メッセージが表示されますので、よろしければ [は い1ボタンをクリックして下さい。



③デスクトップの壁紙が、選択していた画像に変更され ます。

※なお、壁紙を元に戻す操作につきましては、Windows の操作となりますので、ご利用のパソコンの取扱説明書 及び Windows のマニュアルをご覧下さい。

#### f. スライドショー

[スライドショー] ボタンをクリックすると、選択して いる画像をスライドショーとして出力します。

①出力する複数の画像を全て選択して、「スライド ショー1ボタンをクリックして下さい。

「スライドショーの出力先指定」ウインドウを表示しま す。

②ウインドウ中央の画像ツリーより、「保存する場所」 を指定して下さい。





## 「スライドショー」の出力について

スライドショーの出力では、スライド ショーに使用する画像データやプログラ ムなど、複数のファイルを出力します。



このため、保存場所として新しいフォルダを作成し、 このフォルダへ出力するデータをまとめて保存する ことをお勧めします。

③「保存する場所」を指定すると、指定した場所が「ス ライドショー出力先」の項目名の下に表示されます。 [OK] ボタンをクリックすると、保存を実行します。





## 「スライドショー」の起動について

作成したスライドショーは、「デイジーコラージュ9」のインストールされていないパソコンでも、単体のプログラムとして利用することが出来ます。作成したスライドショーを起動するには、作成したスライドショーの保存場所を開き、「dcshow.exe」ファイルをダブルクリックして下さい。また、CD-ROM に保存する場合には、ここで保存した全てのファイルを CD-ROM に保存して下さい。なお、CD-ROM に保存されたスライドショーは、CD-ROM をパソコンに挿入すると自動的に起動します。

#### [CD 書き込み] ボタン

- [CD 書き込み] ボタンをクリックすると、Windows の「CD 書き込みウィザード」を起動して、選択されている画像を CD-ROM に出力します。
- ①「スライドショー出力」ウインドウより、[CD 書き込み] ボタンをクリックして下さい。



②確認メッセージが表示されます。 内容をご確認の上、[OK] ボタンをクリックして下さい。





## 「ファイル出力 (CD)」機能について

【操作をおこなわれる前にご確認下さい】

- 1. 本機能では、WindowsXPのCD書き込み機能を利用します。このため、この[ファイル出力(CD)] ボタンを利用するには、ご利用のOSがWindowsXPである必要があります。
- 2. 本機能をご利用いただくには、ご利用のパソコンから CD-R/RW 機能を持っドライブが設定されている必要があります。
- ③ WindowsXP の「CD 書き込みウィザード」ウインドウが表示されます。

「CD名」欄を設定の上、[次へ]ボタンをクリックし て下さい。



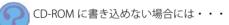
- ※「CD書き込みウィザード」ウインドウからの操作の詳細につきましては、WindowsXP及びご利用のパソコンのマニュアルをご覧下さい。
- ④ CD-ROM への書き込みが開始されます。 しばらくお 待ち下さい。



⑤処理が終了すると、「CD書き込みウィザードの終了」 ▲ a. スクリーンヤーバー ウインドウが表示されます。

[完了] ボタンをクリックすると、ウインドウを閉じて、 「デイジーコラージュ9」のアルバム セクション画面に 戻ります。



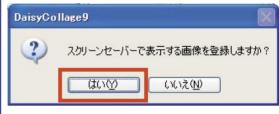


ご利用の CD-R/RW ドライブの設定により、CD-R/ RW への書き込みがおこなえない場合には、CD-R/RW ドライブのプロパティを開いて、「書き込み」タブ内 にある「このドライブで CD 書き込みを有効にする」 にチェックマークを付けて、CD-ROMへの書き込み が有効になるように設定を変更して下さい。



[スクリーンセーバー] ボタンをクリックすると、選択 している画像をスクリーンセーバーとして登録します。 ①出力する複数の画像を全て選択して、「スクリーンセー バー1ボタンをクリックして下さい。

②確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリッ クすると、保存を実行します。



#### h. アルバム出力

[アルバム出力]ボタンをクリックすると、現在選択し ている画像が含まれているアルバムの全ての画像を、指 定する保存場所へ、アルバムごとフォルダとして出力し ます。

- ①出力するアルバムを選択して、[アルバム出力]ボタ ンをクリックして下さい。
- ②「アルバムフォルダの出力先指定」 ウインドウが表示 されます。ウインドウ中央の画像ツリーより、「保存す る場所」を指定して下さい。



この際に、保存場所として新しいフォルダ を作成する場合には、画像ツリーでフォル ダを作成するドライブなどを指定してから、 [新しいフォルダの作成]ボタンをクリック して下さい。



③「保存する場所」を指定すると、指定した場所が「アルバムフォルダ出力先」の項目名の下に表示されます。 「保存する場所」が確認できましたら、[OK] ボタンをクリックして下さい。アルバム出力の処理を実行します。



## i. ズームプリントへ

ご利用のパソコンに「デイジーズームプリント DX」または「デイジーズームプリント S」がインストールされている場合には、選択している画像を「デイジーズームプリント S」へ転送することが出来ます。

この際起動された「デイジーズームプリント DX」または「デイジーズームプリント S」では、一度印刷範囲を設定する必要があります。このため、印刷範囲を指定してから、再度このボタンをクリックして下さい。

※なお、ご利用のパソコンに「デイジーズームプリントDX」と「デイジーズームプリントS」の両方がインストールされている場合には、「デイジーズームプリントDX」へ転送します。

#### i. デイジーアート LE へ

で利用のパソコンに「デイジーアート LE」がインストールされている場合には、選択している画像を「デイジーアート LE」へ転送します。

#### 操作ボタン

選択している画像に対して、操作を実行します。

#### ◎ [スライド] ボタン

[スライド]ボタンをクリックすると、選択している画像を画面いっぱいに表示します。



また、画面全体を使ったスライドショー が利用出来ます。

※スライドショーの操作方法につきましては、「スライドショーの操作について(51ページ)」をご覧下さい。

#### ◎ [画像回転]ボタン

[画像回転]ボタンをクリックすると、選択している画像を右方向へ 90 度回転します。



# 重要

## ■ 付加情報の保存について

画像回転すると、画像の付加情報(文字/フレーム/撮影情報など)は消去され、元に戻せません。 このため、下記確認メッセージが表示された際に、 選択した画像に付加情報がある場合には、[いいえ] ボタンをクリックして操作を中断して下さい。



なお、文字やフレームを付けた状態で画像を回転する場合には、[画像回転]ボタンを操作する前に、選択した画像を右クリックしてコンテキストメニューを表示し、この中の「確定」をクリックして、文字やフレームを画像に貼り付けてから画像を回転する操作を行って下さい。



#### ◎ [自動補正]ボタン

[自動補正] ボタンをクリックすると、選択している画像に「IR(Image Recognition) 自動補正」の処理を実行します。

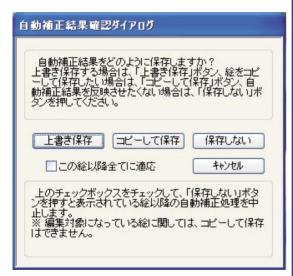




## IR自動補正とは・・・

画像の被写体を認識し、画像の色素や明るさなどの傾向から、自動的に被写体が最も美しく見える補正値を算出して、算出した補正値に補正を実行する機能です。

- ①補正を行う画像を選択して、[自動補正]ボタンをクリックします。
- ②自動補正の処理が開始され、「自動補正結果確認ダイアログ」が表示されます。



#### a. 上書き保存

現在表示されている画像に直接自動補正を実行します。

#### b. コピーして保存

現在表示されている画像のコピー画像を作成し、コピー画像に自動補正を実行します。

#### c. 保存しない

現在表示されている画像には処理を実行しないようにします。

#### d. キャンセル

自動補正の処理を中止します。

なお、「この絵以降全てに適応」項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークを付けてから、a. ~ c. までの何れかのボタンをクリックすると、複数の画像を選択している場合、現在表示されている画像以降の全ての画像に選択したボタンの操作を連続して実行します。

## □この絵以降全てに適応

③処理が終了すると、アルバム セクション画面に戻ります。

## ◎ [焼き増し]ボタン

[焼き増し]ボタンをクリックすると、選択している画像を1枚の用紙に印刷します。



- ①印刷を行う画像を選択して、[焼き増し]ボタンをクリックします。
- ②「焼き増し」ウインドウが表示されます。



#### a. プリンタ名

プルダウンメニューを使って、使用するプリン タを設定します。

#### b. 用紙サイズ

プルダウンメニューを使って、使用する用紙サイズを設定します。なお、設定できる用紙サイズは a. で設定したプリンタで指定できる用紙サイズに限ります。

#### c. 給紙方法

プルダウンメニューを使って、使用するプリンタへの給紙方法を設定します。

#### d. 用紙種類

プルダウンメニューを使って、普通紙や写真用 紙などの用紙の種類を設定します。

※なお、ご利用のプリンタによりましては、ここから直接用紙の種類を設定が行えないことがあります。

この際には、[印刷設定]ボタンより、ご利用の プリンタのプロパティを表示して、プリンタのプロパティから、設定を行って下さい。

## e.[ 一括枚数 ] ボタン

複数の画像を選択している場合、[一括枚数]ボタンをクリックすると、「焼き増し-一括枚数指定」ウインドウを表示します。





この「焼き増し - 一括枚数指定」ウインドウから、エディットコントロールまたはスピンコントロールを使って、印刷枚数を指定して、[OK] ボタンをクリックすると、全ての画像の印刷枚数が一括で設定されます。

#### f.[印刷設定] ボタン

a.~d.以外の更に細かな設定を行う場合には、[印刷設定]ボタンをすると、ご利用のプリンタのプロパティが表示されますので、ここから詳細な設定を行って下さい。



※プリンタのプロパティの設定につきましては、 で利用のプリンタの取扱説明書をご覧下さい。

#### a. 印刷品質

「はやい」を指定すると、印刷速度がはやくなります。反対に、「きれい」を指定すると、印刷速度は遅くなりますが、プリンタの印刷解像度が高く設定されるため、よりきれいに印刷します。

#### h. 印刷方向

「縦」を指定すると、設定されている用紙に対して、縦方向に画像を印刷します。反対に、「横」を指定すると、横方向に画像を印刷します。

#### i. 印刷配置

[内接]ボタンをクリックすると、設定されている印刷範囲に対して、画像を内接に配置します。 [外接]ボタンをクリックすると、画像を外接に配置します。

#### j. 自動回転

「自動回転」項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークを付けると、印刷範囲に対して画像の向きを自動的に合わせて配置します。

## k.[ 枚数] ボタン

それぞれの画像ごとに、 印刷する枚数を設定する場合には、サムネイルの下部に表示されている[+]ボタン、または[-]ボタンをクリックして、印刷する枚数を設定します。



※設定できる印刷枚数は、1~100枚までです。

③[印刷開始]ボタンをクリックすると、印刷を開始します。



※「状態」の プログレス バーの進行中



に [印刷中止] ボタンをクリックすると、印刷を中止します。

## ◎ [メール] ボタン

[メール] ボタンをクリックすると、選択している画像を、新規に作成したメールに添付します。





### 「メール送信」機能について

「デイジーコラージュ9」で、この[メール]ボタンを利用するには、Microsoft 社の「Outlook Express6」や「Outlook2000」などの MAPI に対応したメールソフトが通常使用するメールソフトとして、設定されている必要があります。



#### MAPI とは・・・

Message Application Programming Interface の略称で、メールソフトの持つメールの送受信機能を他のプログラムでも利用できるように用意されたプログラム同士の操作方法のことです。

①メールに添付する画像を選択して、[メール] ボタンをクリックします。

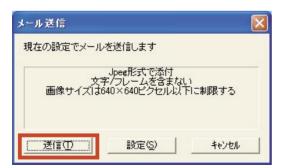
複数の画像を一度にメールへ添付する場合には、メールへ添付する全ての画像を選択してから、[メール]ボタンをクリックして下さい。

※複数の画像を選択する操作については、「◎[画像入力]ボタン - 複数の画像の選択方法について (12ページ)」をご覧下さい。

②「メール送信」ウインドウが表示されます。

## a. 添付する条件に、初期設定を利用する場合

まずプログラムで設定されている条件が表示されます。 この条件の状態で、画像をメールに添付する場合には、 [送信]ボタンをクリックして下さい。



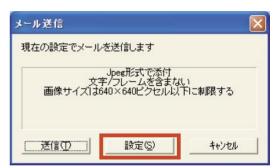
新規に作成したメールに、選択した画像を添付した状態で、メールソフトのメッセージ ウインドウを表示します。メールの「宛先」、「件名」及び「本文」など、メールの送信に必要な内容を入力して、メール送信の操作を行って下さい。



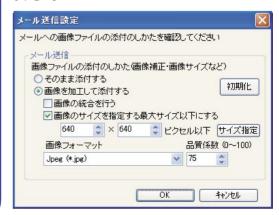
※メッセージ ウインドウからの操作につきましては、ご利用のメールソフトのマニュアルをご覧下さい。

#### b. 添付する条件を設定する場合

メールに添付する画像のサイズやファイルの種類などを 設定する場合には、[設定]ボタンをクリックして下さい。



「メール送信設定」ウインドウが表示されます。 各項目をそれぞれ設定して、[OK] ボタンをクリックして下さい。



## ・画像ファイルの添付のしかた

- そのまま添付する
- ●画像を加工して添付する
  - 1.そのまま添付する

「そのまま添付する」項目の左手に表示されている「〇」をクリックして、「・」を付けると、選択している画像のサイズや、まだ「デイジーコラージュ9」で編集を行っていない画像の場合には、ファイルの種類などをそのまま使用します。

なお「デイジーコラージュ9」で編集を行っていた場合には、その編集結果(JPEG 画像)を添付します。

#### Ⅱ.画像を加工して添付する

「画像を加工して添付する」項目の左手に表示されている「〇」をクリックして、「・」を付けると、画像のサイズやファイルの種類などを手動で設定出来るようにします。

#### イ.画像の統合を行う

「画像の統合を行う」項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークを付けると、画像に付加されている文字やフレームなどの情報を統合して、付加情報を反映した状態の画像に変換します。

## ■画像の統合を行う

## ロ. 画像のサイズを指定する最大サイズ以下に する

「画像のサイズを指定する最大サイズ以下にする」項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークを付けると、下部のエディットコントロールとスピンコントロールが有効になります。

このエディットコントロール、またはスピンコントロールを使って、数値を設定すると、選択している画像の縦と横の比率を崩さないように、設定された数値以下の画像サイズを算出し、画像サイズを変換します。

#### 

## ハ.[サイズ指定]ボタン

[サイズ指定] ボタンをク リックすると、「サイズ指定」 ウインドウが表示されます。





- 1) プルダウンメニューを使って、配信先の機器を、「PC(パソコン)」などの何れかから指定します。
- 2)配信先の機器を指定すると、指定された機器に対して用意されている、画像サイズのプルダウンメニューが指定できるようになります。プルダウンメニューを使って、指定する画像サイズを指定して下さい。
- 3)[OK] ボタンをクリックすると、指定され た画像サイズが反映されます。



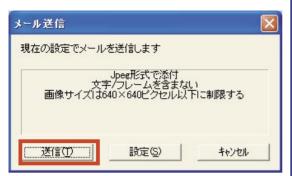
#### 二. 画像フォーマットと品質係数

プルダウンメニューを使って、画像のファイル形式を設定します。またファイルの種類を「Jpeg(\*.jpg)」した場合には、品質係数の設定が有効になります。品質係数の数値は小さくなるほど、ファイルサイズは小さくなりますが、画質は劣化します。

※なお、[初期化]ボタンを クリックすると、各項目が 設定前の状態に戻ります。

初期化

「メール送信」ウインドウに戻ります。[送信]ボタンを クリックして下さい。



新規に作成したメールに、選択した画像を添付した状態 で、メールソフトのメッセージウインドウを表示します。 メールの「宛先」、「件名」及び「本文」など、メールの 送信に必要な内容を入力して、メール送信の操作を行っ て下さい。

■ 無題 - :	メッセージ	ケキスト用	E式)				
ファイル(E)	編集(E)	表示Ѹ	挿入Φ	書式(Q)	ツール①	アクション( <u>A</u> )	ヘルプ(円)
このメッセ	-ジはまだ送	信されていま	せん。				
宛先							
CC( <u>C</u> )							
件名( <u>J</u> ):							
添付	dsc00	)283.jpg (44	KB)				
							^
1							×

※メッセージ ウインドウからの操作につきましては、ご 利用のメールソフトのマニュアルをご覧下さい。

## ◎ [現像]ボタン

RAW データの画像を 1 枚単位で現像しま す。





RAW とは・・・

RAW データとは、イメージセンサーが捉えた光工 ネルギー情報をそのまま記録する生データのこと で、ファイルサイズは大きくなるものの、様々な画 像処理を撮影後に施すことが可能となります。

デジタルカメラが記録した RAW データを処理して 画像を生成する処理を「現像」と呼びます。

※ 1 ご利用のデジタルカメラの RAW データ対応に つきましては、デジタルカメラの取扱説明書をご覧 下さい。

※ 2 RAW データの形式はデジタルカメラにより異な ります。「SILKYPIX Developer Studio 2.0 for Daisy Collage」対応機種につきましては、「RAW フォーマット 対応確認機種一覧(191ページ)|をご覧下さい。(対 応機種以外のRAWデータはご利用いただけません。)

 RAW データを 1 枚選択した状態で、「現 像]ボタンをクリックします。



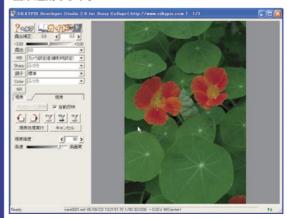
※現像する RAW データを右クリックして、

コンテキストメニューから「現像する」を選択すること も出来ます。

なお、複数の画像をまとめて現像することは出来ません。



② 「SILKYPIX Developer Studio 2.0 for Daisy Collage」画 面が起動します。

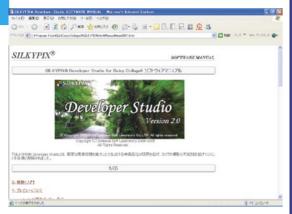


## ◎ [ ヘルプ ] ボタン

[ ヘルプ] ボタンをクリックす ると、「SILKYPIX Developer Studio 2.0 for Daisy Collage」のソフトウェ



アマニュアルが起動します。



「SILKYPIX Developer Studio 2.0 for Daisy Collage」の具体的な操作方法をご案内しておりますので、合わせてご覧下さい。

※この画面は、ブラウザ画面にて起動しますが、インターネットに接続することはありません。このため、インターネットに接続しなくても、本ヘルプはご利用いただけます。

## ◎[ガイド]ボタン

[ガイド]ボタンをクリックすると、RAWデータに関する資料をまとめたガイドが起動します。





RAW データについてのご案内や RAW データと JPEG データとの違いなどをご案内しておりますので、合わせ

#### てご覧下さい。

※この画面は、ブラウザ画面にて起動しますが、インターネットに接続することはありません。このため、インターネットに接続しなくても、本ガイドはご利用いただけます。

### コントロールパレットの操作

#### ◎露出補正

露出補正は、現像時の現像ゲインを決定します。これは、フィルムでは増減感現像に相当する処理で、カメラで露出補正をしたのとほぼ同様の結果となります。

露出補正で数値を上げると、画像全体を明るく、数値 を下げると画像全体を暗く補正します。



露出補正では、プルダウンメニューのプリセット項目から調整することも出来ます。



[露出] ボタンをクリックすると、「露出」タブが表示されます。



ここで表示される「露

出微調整」スライダーで更にこまかな調整を行うことが 出来ます。

また、[露出補正ツール] ボタンから、指定した点の明るさを一定の明るさに調整することも出来ます。

#### 

WB(ホワイトバランス) とは、白く表現する色を 調整する機能です。

調整は、プルダウンメニューのプリセット項目から撮影時のイメージに合ったシーン項目を選択することで行えます。



アルバム

[WB] ボタンをクリックすると、「WB」タブが表示されます。

ここで表示される「色温度」、「色偏差」、「暗部調整」スライダーで色味のバランスを調整することが出来ます。

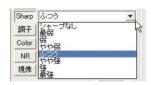
また、[グレー指定]ボ

タンから、写真のグレーにしたい部分をクリックすると、 その部分をグレーとして再現するようなホワイトバランスが設定されます。

更に[肌色指定]ボタンでは、肌色の指定する部分を「きれいな肌色と期待する色」へ調整を行います。

## $\bigcirc$ Sharp( $\forall v - \forall x \neq x$ )

Sharp(シャープネス)は、映像の輪郭を強調する機能です。調整は、プルダウンメニューのプリセット項目(シャープなし〜最強までの8段階)から選択することで行えます。



[Sharp]ボタンをクリックすると、「Sharp」タブが表示されます。

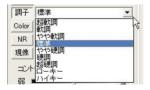
ここで表示される「輪 郭強調」、「ディテール強 調」、「黒ぶち色づき抑制」



スライダーで画像をよりくっきりと表現するように調整することが出来ます。

## ◎調子

調子では、いわゆる軟調、硬調を調整します。調整は、プルダウンメニューのプリセット項目(超軟調~超硬調までの7段階、および、ローキー、ハイキーの計9段階)から選択することで行えます。



[Sharp] ボタンをクリックすると、「Sharp」タブが表示されます。

ここで表示される「輪郭強調」、「ディテール強調」、「黒ぶち色づき抑制」スライダーで画像をよりくっきりと表現するように調整することが出来ます。



### © Collar

Collar では、全体的な色 の鮮やかさを調整します。

調整は、プルダウンメ ニューのプリセット項目 (最弱〜最強までの7段階、



およびモノクロ、モノクロ2、マニュアル指定の計10段階)から選択することで行えます。

[Collar] ボタンをクリッ クすると、「Collar」タブ が表示されます。

ここで表示される「彩度」、「カラーモード」で 画像の鮮やかさを調整することが出来ます。

※「カラーモード」は、 現在の設定状態を表示し ています。この項目は、 変更することは出来ませ ん。



## ○ NR(ノイズリダクション)

ノイズとは、画像のざら ざら感のことです。

NR では、このノイズを 除去することが出来ます。

[NR] ボタンをクリックすると、「NR」タブが表示されます。

ここで表示される「偽色 抑制」、「高周波ノイズ」、「色



ノイズ」、「キャンセラ強度」スライダーで画像のノイズ を除去することが出来ます。

## ◎現像

現像では、現像時の画像 の品質を設定したり、画像 の回転などの操作ボタンを 使った機能を利用すること が出来ます。



#### 1. プレビュー表示の自動更新

「SILKYPIX Developer Studio 2.0 for Daisy Collage」では、 各項目の変更に追従して、自動的にプレビュー更新を行います。

しかしながら、処理能力の低いパソコンでも快適な操作を優先したい場合など、プレビューを手動で更新するように設定を変更することができます。

プレビューを手動で操作する場合には、[自動反映]項目のチェックを外して、各項目を設定の後、表示される[プレビューに反映]ボタンをクリックして下さい。



## 2.[現像処理実行]ボタン

[現像処理実行]ボタンをクリックすると、設定された内容を反映して現

像を実行します。

# 現像処理実行

①全ての設定が終わりましたら、[現像処理実行]ボタンをクリックして下さい。

②現像処理が開始されます。そのまましばらくお待ち下さい。



③処理が終了すると、画面が「デイジーコラージュ9」のアルバムセクションに戻り、現像された画像が「デイジーコラージュ9」で操作できるようになります。



#### 3.[キャンセル] ボタン

[キャンセル]ボタンを クリックすると、処理を

# キャンセル

中止して、「デイジーコラージュ9」に戻ります。

① [キャンセル] ボタンをクリックして下さい。 ②確認メッセージが表示されますので、よろしければ [はい]をクリックして下さい。



③画像を処理せずに、画面が「デイジーコラージュ 9」のアルバムセクションに戻ります。

#### 4.[ - 90 度回転] ボタン

[-90 度回転] ボタンをクリックすると、 クリックするごとに画像を左方向へ 90 度 回転します。



#### 5.[ + 90 度回転] ボタン

[+90 度回転] ボタンをクリックすると、 クリックするごとに画像を右方向へ90 度 回転します。



#### 6.[露出補正ツール] ボタン

画像全体を指定した範囲を元に、一定の明るさに調整します。



まず[露出補正ツール]ボタンをクリック

すると、マウスポインタがスポイトの形に変わります。 この状態で、画像の基準にしたい部分をクリックするか、 あるいはドラッグして範囲を指定すると、指定した範囲 の明るさを元に画像全体を一定の明るさに調整します。 ※この操作は、「露出」タブの[露出補正ツール]ボタン からも行えます。

## 7.[ グレイバランスツール ] ボタン

画像全体を指定した範囲を元に、ホワイトバランスの調整を行います。





リックすると、マウスポインタの形がスポイトの形に変わります。

この状態で、画像のグレーにしたい部分をクリックするか、あるいはドラッグして範囲を指定すると、その部分をグレーとして再現するようなホワイトバランスが設定

されます。

※この操作は、「WB」タブの[グレー指定]ボタンから も行えます。

#### 8.[ 肌色指定 ] ボタン

人物の肌色を指定した範囲を元に、きれいな肌色と期待する色に調整します。 まず[肌色指定]ボタンをクリックすると、



マウスポインタがスポイトの形に変わります。

この状態で、画像の基準にしたい部分をクリックするか、 あるいはドラッグして範囲を指定すると、指定した範囲 の色を元に人物全体の肌色を調整します。

※この操作は、「WB」タブの[肌色指定]ボタンからも 行えます。

## ◎コンテキストメニュー

画像上で右クリックを すると、コンテキストメ ニューが表示されます。 このコンテキストメ

このコンテキストメニューからは、操作中の画像の拡大や縮小など、画像の表示状態を調整することが出来ます。

▼ フィット表示	
ズームツール	
ルーペツール [拡大+]	
ルーペツール [縮小-]	
手のひらツール	
拡大(±)	Shift+ ↑
縮小(-)	Shift+↓
25%(1)	
50%(2)	
100%( <u>0</u> )	Shift+→
200%(5)	
400%(7)	
全体表示(E)	Shift+←
ここをグレーバランス[WB]	
ここをハイライト「露出補正	=]
ここを肌色[肌色指定]	
現像と保存(5)	Ctrl+S

フィット表示

画像全体を表示するモードです。

このモードでは、下記の操作が行えます。

a. 左ダブルクリック・・・ 100% 表示倍率となり、ズームツールが選択されます。

b.SHIFT + 左ドラッグ・・・ズームツールが選択され、連続的な表示倍率変更を行うことができます。

・ズームツール

画像の一部を拡大縮小したり、表示する部分を変更することが出来る操作モードです。

このモードでは、下記の操作が行えます。

a. 左ドラッグ・・・写真をつかんで動かす動作が行えます。

b. 左ダブルクリック・・・100% 表示倍率の場合には全体が表示される倍率に、それ以外の表示倍率の場合は 100% 表示倍率に変更されます。

c.SHIFT + 左ドラッグ・・・ドラッグを開始した点を中心とした連続表示倍率変更が行えます。

ルーペツール [ 拡大 +]

ルーペツール [拡大+]は、クリックした場所を画面の中心に位置づけて拡大表示するマウス操作モードです。

このモードでは、下記の操作が行えます。

a. 左クリック・・・画像を拡大します。

b.ALT + 左クリック・・・画像を縮小します。

ルーペツール [ 縮小 -]

ルーペツール [縮小-]は、クリックした場所を画面の中心に位置づけて縮小表示するマウス操作モードです。

このモードでは、下記の操作が行えます。

手のひらツール

手のひらツールは、写真を掴んで位置をずらすような 動作を行うマウス操作モードです。このモードでは、 下記の操作が行えます。

a. 左ドラッグ・・・写真をつかんで動かす動作が行えます。

b.CTRL + 左クリック・・・画像を拡大します。 c.ALT + 左クリック・・・画像を縮小します。

拡大

画像を一定率に拡大します。

縮小

画像を一定率に縮小します。

. 25%

画像を元画像のサイズから 25% の大きさで表示します。

• 50%

画像を元画像のサイズから 50% の大きさで表示します。

· 100%

画像を元画像のサイズの 100% の大きさで表示します。

• 200%

画像を元画像のサイズから 200% の大きさで表示します。

#### • 400%

画像を元画像のサイズから 400% の大きさで表示します。

#### 全体表示

画像全体を表示します。

#### ・ここをグレーバランス [WB]

画像全体を指定した範囲を元に、ホワイトバランスの 調整を行います。

この項目をクリックすると、マウスポインタの形がスポイトの形に変わります。

この状態で、画像のグレーにしたい部分をクリックするか、あるいはドラッグして範囲を指定すると、その部分をグレーとして再現するようなホワイトバランスが設定されます。

#### ・ここをハイライト[露出補正]

画像全体を指定した範囲を元に、一定の明るさに調整 します。

この項目をクリックすると、マウスポインタがスポイトの形に変わります。

この状態で、画像の基準にしたい部分をクリックするか、あるいはドラッグして範囲を指定すると、指定した範囲の明るさを元に画像全体を一定の明るさに調整します。

## ・ここを肌色[肌色指定]

人物の肌色を指定した範囲を元に、きれいな肌色と期待する色に調整します。

まず[肌色指定]ボタンをクリックすると、マウスポインタがスポイトの形に変わります。

この状態で、画像の基準にしたい部分をクリックするか、あるいはドラッグして範囲を指定すると、指定した範囲の色を元に人物全体の肌色を調整します。

#### ・現像と保存

現像処理を実行します。

#### 再現像する

一度現像され た画像を右ク リックすると、 コンテキスト メニューに「再 現像する」が 表示され、こ



こから改めて現像処理を実行することが出来ます。 但し、管理できる画像は1枚のみのため、再現像を実行すると、以前の現像結果の画像は破棄されます。

## ◎ [ネットプリント]ボタン

[ネットプリント]ボタンより、「ネット プリントサービス」機能がご利用いただけ ます。



「ネットプリントサービス」機能とは、選択された画像をインターネットを使って、写真店へ「デジカメプリント」の注文をおこなうことが出来る機能です。

注文されたお写真は、「宅配メール便」または「宅配便」 で、で自宅へお届けします。

# 重要

## ■ 「ネットプリントサービス」機能について

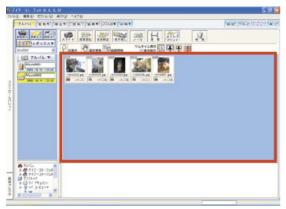
- 1. 本サービスは、「DPEgg」よりご提供いたします 有料サービスとなります。
- 2.お支払い方法は、クレジットカード決済のみとなります。
- 3.「DPEgg ログイン」サイトからの操作の詳細に つきましては、DPEgg サイト よくある質問をご 覧下さい。

4. 本サービスをご利用いただくには、予め会員登録(無料)が必要となります。

ご登録方法につきましては、「DPEgg のご登録方法について」(36ページ)をご参照下さい。

5.インターネットの接続料金や回線料金などの費用はお客様のご負担となります。予めご了承下さい。

①操作を開始する前に、インターネットへ接続する準備 が出来ていることをご確認下さい。 ②アルバム サムネイル一覧より、注文する画像のサム ネイルをクリックしてから、「ネットプリント1ボタン をクリックして下さい。



③「ネットプリントサービスのご案内」ウインドウが表 示されます。

内容をご確認の上、操作を実行する場合には、[OK] ボ タンをクリックして下さい。

※「キャンセル」ボタンをクリックすると処理を中断し、 アルバム セクション画面へ戻ります。



④注文データを作成します。 しばらくお待ち下さい。



⑤確認メッセージ(「インターネットに接続し、DPEga サーバから注文祖後設定情報を取得します。」) が表示さ れます。[OK] ボタンをクリックして下さい。

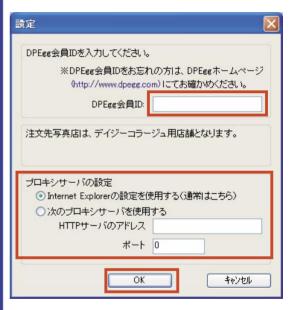


⑥お客様にご利用いただける上限サイズをご案内しま す。

内容をご確認の上、「OKI ボタンをクリックして下さい。



- ⑦「設定」画面が表示されます。
  - a. 「DPEgg 会員 ID I 欄へお客様の ID 番号を入力して 下さい。
  - b.「プロキシサーバの設定」をご確認下さい。
  - ※ご利用環境により、プロキシサーバの設定が必要 な場合があります。



- ・LAN 環境でご使用の場合には、サーバ管理責任 者などに確認して下さい。
- ・インターネットをご使用の場合には、インター ネットプロバイダの設定資料などを参照して下 さい。

HTTP サーバアドレス及びポートの設定が必要 な場合には、HTTP サーバアドレス及びポートへ 資料を確認の上、正確に入力して下さい。

※ HTTP サーバアドレス及びポートの設定が誤っ ている場合、画像をアップロードできない場合 や、HTTP アクセスが出来ないなどの障害が発生します。

- ⑧設定内容をご確認いただきましたら、[OK] ボタンをクリックして下さい。
- ⑨データを DPEgg のサーバへ転送します。しばらくお 待ち下さい。



⑩ DPEgg のログイン画面が起動します。

「DPEgg 会員 ID」と「パスワード」を入力の上、[ログイン] ボタンよりお進み下さい。





## DPEgg のご登録方法について

【ご登録をおこなわれる前にご確認下さい】

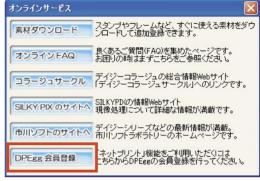
- 1.「DPEgg」の会員登録は無料です。
- 2.「DPEgg 会員登録」サイトからの操作の詳細 につきましては、DPEggサイト よくある質問 をご覧下さい。
- 3. インターネットの接続料金や回線料金などの費用はお客様のご負担となります。予めご了承下さい。

- ①操作を開始する前に、インターネットへ接続する 準備が出来ていることをご確認下さい。
- ②「DPEgg」のご登録は、「オンラインサービス」内にご用意しております。



まず、[オンラインサービス] ボタンをクリックして下さい。

③「オンラインサービス」ウインドウが表示されます。 [DPEag 会員登録] ボタンをクリックして下さい。



④「DPEgg ご登録のご案内」ウインドウが表示されます。

内容をご確認の上、操作を実行する場合には、[OK] ボタンをクリックして下さい。

※[キャンセル]ボタンをクリックすると処理を中断し、アルバム セクション画面へ戻ります。





#### ◎ [削除]ボタン

[削除]ボタンをクリックすると、選択している画像を、「削除」フォルダへ移動します。



## a. 移動してしまった画像を元に戻す場合

①誤って、画像を削除してしまった場合には、[削除] ボタンを右クリックして、表示されるコンテキストメニューから、「削除ボックスを開く」をクリックして下さい。



②「削除ボックス」ウインドウが表示されます。



③元に戻したい画像をクリックで選択して、[元に戻す]ボタンをクリックして下さい。



操作画面が、「アルバム セクション」に戻り、アルバム サムネイル一覧に削除してしまった画像が復活します。

## b. 一部の画像を「デイジーコラージュ 9」から削除する 場合

「画像を元に戻す」ウインドウの中の一部の画像のみを「デイジーコラージュ9」から削除する場合には、削除

削除

したい画像をクリックで選択して、[削除]ボタンをクリックして下さい。

選択した画像を Windows のごみ箱に移動します。

## c.「画像を元に戻す」を空にする場合

「画像を元に戻す」ウインドウに保管されている全ての画像を一度に Windows のごみ箱に移動する場合には、[削除] ボタンを右クリックして、表示されるコンテキストメニューから、「空にする」をクリックして下さい。「画像を元に戻す」ウインドウに保管していた画像を、全て Windows のごみ箱に移動します。



## サムネイル操作ボタン

選択しているサムネイルに対して、操作を実行します。

## ◎ [全選択]ボタン

[全選択]ボタンをクリックすると、アルバムサムネイル一覧に表示されている全ての画像を選択した状態にします。



## ◎ [ 選択解除 ] ボタン

[選択解除]ボタンをクリックすると、アルバムサムネイル一覧で選択されている画像の選択状態を全て解除します。



## ◎ [ 画像情報 ] ボタン

[画像情報]ボタンをクリックすると、アルバムサムネイル一覧で選択されている画像の「画像情報」を表示します。





#### a. ファイル名

画像のファイル名を表示します。

## b. タイトル

画像に対するコメントを入力して、設定することが出来ます。

#### c. 作成日

画像をパソコンに登録した年月日を表示します。

なお、作成日は手動で半角数値を入力することにより、 が 変更することが出来ます。

## /、 d. 更新日

画像の内容が最後に更新された年月日を表示します。

#### e. ファイルサイズ

画像のファイルサイズを表示します。

### f. 解像度

画像の解像度を表示します。

なお、元画像に解像度の情報が設定されていない場合には、初期値として「96DPI」を自動設定します。

## g. 保存場所

パソコン上で画像を保存している場所を表示します。

#### h. 画像サイズ

画像のサイズ (Pixel) と画像に現在設定されている印刷サイズ (mm) を表示します。

### i. 付加情報

画像に付加されている文字やフレームなどの有無を表示します。

#### i編集用ファイル

. デイジーコラージュ上で編集時に操作するファイルの 情報を表示します。

#### k. 元画像ファイル

デイジーコラージュで編集を開始する前のファイルの 情報を表示します。

#### I.付属ファイル

画像に付属しているファイルの一覧を表示します。

例えば、音声ファイル (\*.wav) の付属されている画像 の場合、この音声ファイル (\*.wav) を表示します。

## m.[ コピー] ボタン

画像のコピーを作成します。



#### n.[削除]ボタン

画像を「画像を元に戻す」へ移動します。



※ [削除] ボタンの操作方法につきましては、「操作ボタン-[削除] ボタン (37 ページ)」をご覧下さい。

## 0.[前の画像へ] ボタン

現在表示している画像の前のコマの画像情報へ内容を切り換えます。



## p.[ 次の画像へ] ボタン

現在表示している画像の次のコマの画像情報へ内容を切り換えます。



## g.[OK] ボタン

「画像情報」ウインドウの中で 変更した内容を更新して、この ウインドウを閉じます。



## r.[ キャンセル ] ボタン

「画像情報」ウインドウの中で変 更した内容を更新せずに、この ウインドウを閉じます。



## ◎サムネイル表示サイズ ボタン

それぞれのボタンをクリックすると、選択したボタンのサイズにサムネイルの表示サイズを変更します。

## a.[ カード ] ボタン

サムネイルをカード形式で表示します。画像のファイル名や付加情報の有無などを表示します。





※画像に Exif 情報が付加されている場合には、Exif 情報 も表示します。

## b.[大] ボタン

サムネイルを大サイズで表示します。





## c.[中] ボタン

サムネイルを中サイズで表示します。





### d.[小] ボタン

サムネイルを小サイズで表示します。





#### ◎番号表示

「番号表示」項目の左手に表示されている「□」をクリックして、チェックマークを付けると、それぞれのサムネイルの左上角にアルバム サムネイル一覧の先頭から通し番号を表示します。

## ✓ 番号表示

なお、この番号はサムネイルの 順番やコマ数を変更すると、随 時新しい番号に変動します。



## アルバム ボックスの操作

画像の登録されているアルバムを管理するアルバム ボックスを操作します。



## 「アルバム ボックス」機能について

アルバム ボックスは、本を収納する本棚のように、 アルバムをグループで管理する機能です。

なお、作成できるアルバム ボックスの数に制限は ありません。

## ◎ [ アルバム ボックス ] ボタン

[アルバム ボックス] ボタンをクリックすると、コンテキストメニューを表示します。

このコンテキストメニューから、アルバム ボックスに 関する操作をクリックで選択して実行します。



・コンテキストメニュー



#### a. 新規

新しいアルバムボックスを作成します。

b. 複写

選択されているアルバム ボックスの複製を作成します。 c. 削除

選択されているアルバムボックスを削除します。

| 整列

登録されているアルバム ボックスの順番を並び替えます。



①「整列」項目にマウスポインタを合わせます。 ②選択できる整列の種類がサブメニューに表示されますので、実行する整列の種類をクリックして下さい。

#### 【整列の種類】

名前順

アルバムボックス名を元に順番を並べ替えま す。

サイズ順

アルバムボックス内の総ファイルサイズを元に 順番を並べ替えます。

日付順

アルバムボックスの更新日を元に順番を並べ替 えます。

#### e. プロパティ

選択されているアルバムボックスの詳細を表示します。

ここで表示される「アルバム ボックス - 編集」ウインドウで、アルバム ボックスの名前などを編集することが出来ます。



## イ.ボックス名

アルバムボックス名を表示します。

またアルバム ボックス名を任意の名称に変更することが出来ます。

ロ.コメント

アルバム ボックスに対するコメントを入力して、 設定することが出来ます。

八.作成日

アルバム ボックスを作成した年月日を表示します。

二.更新日

アルバム ボックスの内容が最後に更新された年 月日を表示します。

木,保存場所

アルバム ボックスがパソコン上で保存されている場所を表示します。

へ. 保存アルバム数

選択しているアルバム ボックスに保存されているアルバムの数を表示します。

ト、総ファイル容量

選択しているアルバム ボックス全体のファイル容量を表示します。

#### チ.[コピー]ボタン

アルバム ボックスのコ ピーを作成します。



## リ.[BOX 出力] ボタン

現在選択しているアルバム ボックスを、指定する保存 場所へ、アルバム ボックス



ごとフォルダとして出力します。

## ヌ [削除]ボタン

アルバム ボックスを削除 します。



#### ル .[OK] ボタン

「アルバム ボックス - 編 集」ウインドウの中で変 更した内容を更新して、 このウインドウを閉じます。



## ヲ [キャンセル] ボタン

「アルバム ボックス-編集」 ウインドウの中で変更した 内容を更新せずに、このウ インドウを閉じます。



#### f. キャンセル

コンテキストメニューを閉じます。



## 「アルバムボックス」の切り換えについて

初めて「アルバム セクション」を起動した際には、 「Box0001」を表示します。

アルバム ボックスを追加した場合には、まず操作 を行うアルバム ボックスを指定するようにして下さ い。操作するアルバム ボックスは、プルダウンメ ニューから選択します。

①[▼]をクリックします。



②管理しているアルバムボックスの一覧が表示さ れます。画像を登録するアルバムボックス名をク リックして下さい。



## アルバムの操作

画像の登録されているアルバムを操作します。

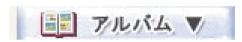


## | 「アルバム」機能について

アルバムは、写真を収納するアルバムのイメージそ のままに、画像をグループで管理する機能です。 なお、作成できるアルバムの数に制限はありません。

## ◎ [ アルバム ] ボタン

[アルバム]ボタンをクリックすると、新しいアルバム を作成します。



## ◎アルバム アイコン

アルバム アイコンをク リックすると、アルバム が選択された状態となり、



アルバムサムネイル一覧へ登録されている画像のサムネ イルが一覧表示されます。

#### 【選択前】



album0001 2003/9/25 14:59:12 album0001 2003/9/25 14:59:12

それぞれのアルバムの 表示には、「アルバム名」 と「アルバム作成日時」 が表示されます。

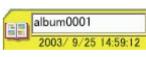




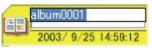
## アルバム名の変更について

アルバムを作成した直後には、作成されたアルバム 名は、「album0001」のように表示されますが、この アルバム名は、随時任意の名称へ変更することが出 来ます。

①名称を変更するア ルバムをクリックし album0001 て、選択状態にしま す。

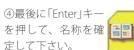


②現在設定されて いるアルバム名 (album ∼)をクリッ



クして、アルバム名が操作できる状態にして下さい。

③キーボードを使っ 動物公園にて て、名称を設定して 2003/9/25 14:59:12 下さい。





## ・コンテキストメニュー

アルバム アイコンを右クリックすると、コンテキス トメニューを表示します。このコンテキストメニューか ら、アルバムに関する操作をクリックで選択して実行し ます。



### a. 新規

新しいアルバムを作成します。

#### b. 複写

選択されているアルバムの複製を作成します。

#### c. 一括ファイル出力

アルバムに登録されている画像を、指定した場所へそれ ぞれ別ファイルとして保存します。

①「一括ファイル出力」項目をクリックすると、「アル バム一括出力」ウインドウが表示されます。ウインドウ 中央の画像ツリーより、「保存する場所」を指定して下 さい。



この際に、保存場所として新しいフォルダ を作成する場合には、画像ツリーでフォル ダを作成するドライブなどを指定してから、 [新しいフォルダの作成]ボタンをクリック して下さい。

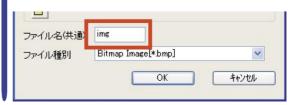


②「保存する場所」を指定すると、指定した場所が「出 力先」の項目名の下に表示されます。



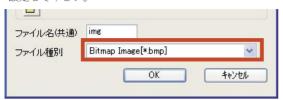
③ファイル名を設定します。

複数の画像を出力する場合には、「ファイル名(共通)」 に指定した文字を頭として、5桁の数字を組み合わせて ファイル名を設定します。例えば、初めに設定されてい る「ima」を使用すると、「ima」から始まるファイル名 が設定されます。

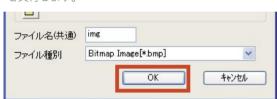


※5桁の数字は、アルバムに登録されている順番で、「00001」から自動的に付番されます。

④プルダウンメニューを使って、「ファイルの種類」を 設定して下さい。



⑤ [OK] ボタンをクリックすると、画像のファイル出力を実行します。



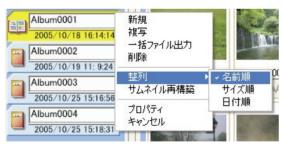
※ファイルの種類による詳細設定については、「ファイルの種類による詳細設定について (14ページ)」をご覧下さい。

#### d. 削除

選択されているアルバムを削除します。

#### e. 整列

登録されているアルバムの順番を並び替えます。



①「整列」項目にマウスポインタを合わせます。 ②選択できる整列の種類がサブメニューに表示されますので、実行する整列の種類をクリックして下さい。

#### 【整列の種類】

• 名前順

アルバム名を元に順番を並べ替えます。

サイズ順

アルバム内の総ファイルサイズを元に順番を並 べ替えます。

#### 日付順

アルバムの更新日を元に順番を並べ替えます。

#### f. サムネイル再構築

#### 登録されている画像のサムネイルを作り直します。

なお選択されている画像がある場合には、選択している 画像のみ、サムネイルを作り直します。

## g. プロパティ

選択されているアルバムの詳細を表示します。

ここで表示される「アルバム - 編集」ウインドウで、アルバムの名前などを編集することが出来ます。



#### イ.アルバム名

## アルバム名を表示します。

またアルバム名を任意の名称に変更することが出 来ます。

#### ロ.コメント

アルバムに対するコメントを入力して、設定する ことが出来ます。

## 八,作成日

アルバムを作成した年月日を表示します。

#### 二.更新日

アルバムの内容が最後に更新された年月日を表示します。

## ホ. 保存場所

アルバム ボックスがパソコン上で保存されている場所を表示します。

#### へ、保存ファイル数

選択しているアルバムに保存されているファイル の数を表示します。

## ト.総ファイル容量

選択しているアルバム全体のファイル容量を表示します。

#### チ [ スライドショー ] ボタン

現在選択しているアルバムの画像を使って、スライドショーを表示します。

※スライドショーの操作につきましては、「スライドショーの操作について  $(51 \, {^{\circ}}{^{\circ}} - {^{\circ}}{^{\circ}})$ 」をご覧下さい。

リ.[コピー]ボタン

アルバムのコピーを作成します。

ヌ.[アルバム出力]ボタン

現在選択しているアルバムを、指定する保存場所へ、アルバムごとフォルダとして出力します。

ル.[削除]ボタン

アルバムを削除します。

ヲ.[OK] ボタン

「アルバム - 編集」ウインドウの中で変更した内容を更新して、このウインドウを閉じます。 ワ.[キャンセル]ボタン

「アルバム - 編集」ウインドウの中で変更した内容を更新せずに、このウインドウを閉じます。

## h. キャンセル

コンテキストメニューを閉じます。

#### アルバム サムネイル一覧

選択したアルバムに登録されている画像の一覧を表示します。



## サムネイルとは・・・

親指の爪ほどの大きさの写真を表す言葉で、本来の 画像を縮小した画像のことです。

「デイジーコラージュ9」では、一覧表示に使われる小さな画像をサムネイル画像と呼んでいます。

なお、1 冊のアルバムへ登録できる画像の数に制限 はありません。

#### ・ 画像の選択

操作するサムネイルをクリックして選択すると、その画像に対して、「デイジーコラージュ9」の操作が行えるようになります。

#### 【選択前】



## 【選択後】



## サムネイルに表示されているアイコン

それぞれのサムネイルには、画像に付加された情報や画像のファイル形式がアイコンで表示されます。

#### イ.画像情報

このアイコンをクリックする と、「画像情報」ウインドウを 表示します。

※「画像情報」ウインドウにつきましては、「サムネイル操作ボタン-[画像情報]ボタン(37ページ)」をご覧下さい。



## ☐ .Print Image Matching

/ExifPrint 情報

- Print Image Matching 情報を 持っている画像です。
- E Exif Print 情報を持っている画 像です。



※上記情報を元に「通常印刷」セクションにて、「撮影情報」の設定を行います。

## ハ.文字/フレーム情報

- ★ 文字が付加されている画像です。
- フレームが付加されている画像です。



## 二.RAW 形式の画像

| RAW 形式の画像です。 | 現像 ] ボタンから、現像機能

を使って現像することにより、「デイジーコラージュ 9」で利用できるようになります。



## ホ.動画形式の画像

動画形式の画像です。

このアイコンをクリックすると、 関連付けされているソフトウェ アが起動されます。

なお、「デイジーコラージュ9」 で加工をすることは出来ません。



## ホ. 音声付きの静止画像

と、関連付けされているソフト ウェアが起動され、音声が再生 されます。

この画像を「デイジーコラー ジュ9」で加工することは出来 ますが、加工すると音声は失わ れます。



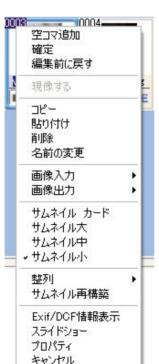


#### 関連付けとは・・・

BMP、JPEG、MPEGなどのファイル形式から、ファイルを起動するソフトウェアを登録することです。 Windows では、この関連付けを行うことで、ファイル形式を判断することにより、次回から自動的に登録されたソフトウェアでファイルを開くことが出来ます。

#### ・コンテキストメニュー

このコンテキストメ ニューから、サムネ イルに関する操作をク リックで選択して実行 します。



### a. 空コマ追加

アルバム サムネイル一覧に表示されているサムネイル の最後尾に白紙のコマを追加します。

※空コマ追加の詳細設定については、「[画像入力]ボタン-d. 白紙画像の追加(12ページ)」をご覧下さい。

#### b. サイズ変更

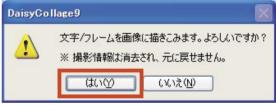
空コマ(白紙の画像)の内、コマを作成後何の加工処理 もされていないコマについて、再度サイズ変更を行うことが出来ます。

なお、既に何らかの操作を行ったコマや、空コマ以外の 画像についてはこの操作を行うことは出来ません。

※サイズ変更の詳細設定については、「[画像入力]ボタン-d. 白紙画像の追加(12ページ)|をご覧下さい。

#### c. 確定

選択されているサムネイルの画像に付加されている文字やフレーム、回転の状態などを、画像に統合します。 [確定]をクリックすると、確認メッセージが表示されます。



[はい] ボタンをクリックすると、統合の処理を実行します。



## 確定の操作の際の注意点

一度統合の処理を実行すると、統合前の状態には 戻せませんので、処理の実行の際にはご注意下さ い。

#### d. 編集前に戻す

画像を「デイジーコラージュ9」に取り込んだ直後の最初の状態に戻します。

#### e. 現像する

RAW データのサムネイルをデイジーコラージュ上で編集できるように「SILKYPIX Developer Studio 2.0 for Daisy Collage」画面が起動して、現像が行えるようにします。 ※現像の操作につきましては、「 $\bigcirc$  [ 現像 ] ボタン (29 ページ)」をご覧下さい。

#### f. コピー

選択されているサムネイルの画像をコピーします。

## g. 貼り付け

コピーされているサムネイルの画像を、現在選択されて いるアルバムに追加登録します。

#### h. 削除

選択しているサムネイルの画像を「削除ボックス」へ移動します。

※[削除]ボタンの操作方法につきましては、「操作ボタン-[削除]ボタン(37ページ)」をご覧下さい。

#### i. 名前の変更

選択した画像のファイル名を変更します。

## i. 画像入力

入出力ボタンの中の[画像入力]ボタンの操作の内、「ファイル入力」、「クリップボード」、「TWAIN 入力」の操作を起動することが出来ます。

※「ファイル入力」、「クリップボード入力」、「TWAIN 入力」の操作の詳細設定については、「入出力ボタン -  $\bigcirc$  [画像入力] ボタン (11 ページ)」をご覧下さい。

### k. 画像出力

入出力ボタンの中の[画像出力]ボタンの操作の内、「ファイル出力」、「クリップボード」、「メール送信」、「HTML」、「壁紙へ」、「スクリーンセーバー」、「スライドショー」の操作を起動することが出来ます。

※「ファイル出力」、「クリップボード」、「メール送信」、「HTML」、「壁紙へ」、「スクリーンセーバー」、「スライドショー」の操作の詳細設定については、「入出力ボタン・◎[画像出力]ボタン (13ページ)」をご覧下さい。

#### 1. サムネイル カード

サムネイルをカード形式で表示します。画像のファイル 名や付加情報の有無などを表示します。



※画像に Exif 情報が付加されている場合には、Exif 情報も表示します。

## m. サムネイル大

サムネイルを大サイズで表示します。



## n. サムネイル中

サムネイルを中サイズで表示します。



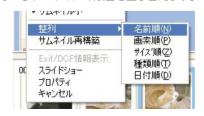
#### o. サムネイル小

サムネイルを小サイズで表示します。



#### p. 整列

登録されているサムネイルの順番を並び替えます。



①「整列」項目にマウスポインタを合わせます。 ②選択できる整列の種類がサブメニューに表示されますので、実行する整列の種類をクリックして下さい。

#### 【整列の種類】

- 名前順
  - 画像のファイル名を元に順番を並べ替えます。
- ・ 画素順 画像の画素数を元に順番を並べ替えます。
- サイズ順 画像のファイルサイズを元に順番を並べ替えます。
- ・種類順 画像のファイルの種類を元に順番を並べ替えます。
- ・日付順 画像の更新日を元に順番を並べ替えます。

## g. サムネイルの再構築

登録されている画像のサムネイルを作り直します。

#### r.Fxif/DCF 情報

選択されているサムネイルの画像に、Exif 情報が付加されている場合、その情報を表示します。

※サムネイルの付加情報については、「サムネイルに表示されているアイコン (44ページ)」をご覧下さい。[Exif/DCF 情報]をクリックすると、「Exif/DCF 画像情報」ウインドウが表示されます。

[EXIT] ボタンをクリックすると、ウインドウを閉じます。



5. スライドショー

選択されているサムネイルの画像を画面いっぱいに表示し、この画像からスライドショー機能を利用することが出来ます。

※スライドショーの操作方法につきましては、「スライドショーの操作について (51 ページ)」をご覧下さい。 t. プロパティ

選択されているサムネイル画像の「画像情報」ウインドウを表示します。

※「画像情報」ウインドウにつきましては、「サムネイル操作ボタン-[画像情報]ボタン(37ページ)」をご覧下さい。

ロキャンセル

コンテキストメニューを閉じます。

※複数の画像を選択する操作については、「 $\bigcirc$ [画像入力] ボタン - 複数の画像の選択方法について (12 ページ)」を ご覧下さい。

## 画像ツリー

デイジーシリーズのアルバムとパソコンにセットされているドライブのツリーを表示します。

またここから「デイジーコラージュ9」へ登録したい画像の保存されている場所を指定することが出来ます。

## ◎デイジーシリーズのアルバムを指定する

①デイジーシリーズ の製品のアイコンの 左手に表示されてい る「+」をクリック して下さい。



②選択された製品に 登録されているアル バムの一覧が表示さ れます。

操作したい画像の 登録されているアル バムのアイコンをク リックして下さい。



◎パソコンにセットされているドライブのツリーから指 定する

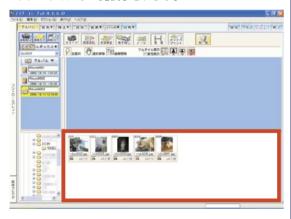
①ドライブまたは フォルダ アイコンの 左手に表示されてい る[+]をクリックし て、画像の保存され ているフォルダを表 示して下さい。



②操作したい画像の 登録されているフォ ルダが表示されたら、 このフォルダのアイ コンをクリックして 下さい。



③画像一覧に選択されたフォルダに登録されている画像 のサムネイルが一覧表示されます。



#### 画像一覧

画像ツリーで指定したデイジーシリーズのアルバムの画像や、パソコンにセットされているドライブのツリーから指定した場所の画像をサムネイルで一覧表示します。 ここからアルバム サムネイル一覧へ直接画像をドラッグ&ドロップして登録することも出来ます。



## ・コンテキストメニュー

選択したサムネイルを 右クリックすると、コン テキストメニューを表示 します。

このコンテキストメニューから、サムネイルに関する操作をクリックで選択して実行します。



#### a. サムネイル カード

サムネイルをカード形式で表示します。画像のファイル 名や付加情報の有無などを表示します。



**※**画像に Exif 情報が付加されている場合には、Exif 情報 も表示します。

#### b. サムネイル大

サムネイルを大サイズで表示します。



## c. サムネイル中

サムネイルを中サイズで表示します。



#### d. サムネイル小

サムネイルを小サイズで表示します。



## e. サムネイルの再構築

登録されている画像のサムネイルを作り直します。

#### f.Fxif/DCF 情報

選択されているサムネイルの画像に、Exif 情報が付加されている場合、その情報を表示します。

※サムネイルの付加情報については、「サムネイルに表示されているアイコン(44ページ)」をご覧下さい。

[Exif/DCF 情報] をクリックすると、「Exif/DCF 画像情報」 ウインドウが表示されます。

「EXITI ボタンをクリックすると、ウインドウを閉じます。



### α. スライドショー

選択されているサムネイルの画像を画面いっぱいに表示し、この画像からスライドショー機能を利用することが出来ます。

※スライドショーの操作方法につきましては、「スライドショーの操作について (51 ページ)」をご覧下さい。 h. キャンセル

コンテキストメニューを閉じます。

## 「画像ツリー」から画像を登録する

「デイジーコラージュ9」では、画像ツリーで指定したデイジーシリーズのアルバムの画像やパソコンにセットされているドライブのツリーから指定した場所の画像をサムネイルで一覧表示し、ここからアルバムサムネイル一覧へ画像を確認しながら、直接画像をドラッグ&ドロップして登録することも出来ます。

①アルバムを管理するアルバムボックスを、プルダウンメニューを使って指定します。



②画像を登録するためのアルバムを用意します。

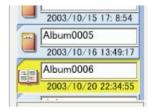
#### アルバムを新規に用意する場合

[新規アルバム]ボタンをクリックすると、新しいアルバムを作成します。



・既存のアルバムに画像を追加する場合

画像を追加登録する アルバムのアイコンを クリックして、画像を 登録するアルバムを選 択状態にして下さい。

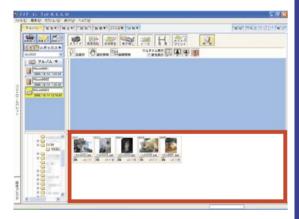


③画像ツリーから、「ディジーコラージュ9」に 登録したい画像の保存されている場所を指定します。

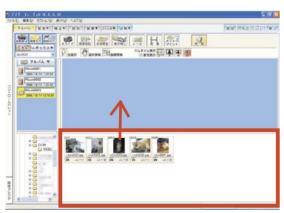


④画像一覧に指定された保存場所に登録されている画像が、サムネイルで一覧表示されます。

表示された一覧から、登録したい画像を全て選択して下さい。



③選択した画像をアルバム サムネイルヘドラッグ & ドロップします。





## ドラッグ&ドロップとは・・・

マウスの操作方法のひとつで、ファイルやフォルダ などをマウスポインタで引きずって(ドラッグ)、他 の場所に落とす(ドロップ)のように動作する操作です。

ここではまず画像一覧で選択された画像の上にマウスポインタを合わせて、マウスの左ボタンを押さえます。次にマウスの左ボタンを押さえたままの状態で、マウスポインタを引きずるようにアルバム サムネイルへ移動します。マウスポインタがアルバム サムネイルまで移動できましたら、マウスから指を離します。

⑥アルバム サムネイル一覧に登録された画像のサムネイルが表示されます。



## スライドショーの操作について

例えばデジタルカメラの連続撮影モードで撮影された画像は、サムネイル大の状態でもその比較が難しいことがあります。このような場合には、「スライド」機能を使って画面いっぱいまで画像を拡大します。

この「スライド」機能では画像の確認だけでなく、複数 の画像の連続再生やコマ送りでの再生も行えます。

大きく表示したい画像をダブルクリックする と、スライドショー画面に切り替わり、選択



された画像が画面いっぱいに大きく表示されます。 また大きくしたい画像をクリックして選択状態にしてから、[スライド] ボタンをクリックしても同様に画面が切り替わります。



#### スライドショー ボタン

スライドショーには、自動再生や音声付加機能などの機 能があります。



ファイル名

現在表示している画像のファイル名を表示します。

## 3/21: image.jpg

#### 再牛間隔

自動再生の際の画像と画像の再生 間隔を、半角数字を入力して設定 します。



#### • BGM

スライドショーへ付加された音声ファイルを表示しま す。

音声ファイルは、[参照]ボタンをクリックすると、音声ファイルを指定することが出来ます。

※指定できる音声ファイル形式は、「\*.WAV」のみです。「\*.WAV」データは別途ご用意いただく必要があります。



## ・BGM を聴く

この項目にチェックマー クをつけると、[自動再生]



時に付加された音声ファイルを再生します。

## ・[FIT] ボタン

画像の表示サイズを変更した際に、このボタンをクリックすると、画面全体に画像の表示サイズを再調整します。



## ・[ 逆再生] ボタン

このボタンをクリックする毎に、紙芝居のように、選択画像から登録されている順番を遡って 再生します。



## ・[自動逆再生] ボタン

このボタンをクリックすると、現在再生間隔に 設定されている秒数で、選択画像から登録され ている順番を遡って自動再生します。



#### 「自動再牛停止」ボタン

このボタンをクリックすると、自動再生を停止 します。



#### • [ 自動順再牛 ] ボタン

このボタンをクリックすると、現在再生間隔に 設定されている秒数で、選択画像から登録され ている順番で自動再生します。



#### • [順再生] ボタン

このボタンをクリックする毎に、紙芝居のよう に、選択画像から登録されている順番で再生し ます。



#### • 実行時間

自動再生中に、現在表示している画像 の表示経過時間を表示します。

## 再牛パターンの設定

「再生効果」のプルダウンメニューを使って、画像を再 生するパターンを設定します。



④再生が終わりましたら、[×(閉じる)] ボタンをクリックして下さい。アルバムセクションへ戻ります。



## 画像表示の切り替え

## ・操作ボタンの表示・非表示

画像上をクリックすると、操作ボタンを非表示にすることが出来ます。また再び画像上をクリックすると、操作ボタンを表示します。



#### 画像サイズの調整

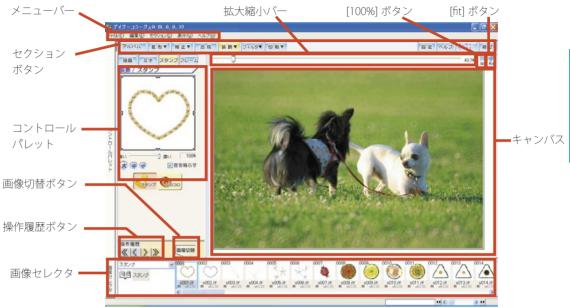
画像をドラッグすると、画像の表示位置を調整することが出来ます。また、画像を右ドラッグすると、画像のサイズを調整することが出来ます。

## ・画像を原寸サイズで表示する

操作ボタンが表示されている状態で画像をダブルクリックすると、画像を原寸サイズで表示します。

## セクション共涌操作

「デイジーコラージュ9」の各セクションで、共通してご利用いただける機能についてご案内します。 ※下記参考画面は、「装飾 - スタンプ セクション」画面です。各セクション画面の詳細につきましては、それぞれ のセクションにてご案内します。



## メニューバー

「デイジーコラージュ9」では、各セクションの上部に 常に「メニューバー」を表示します。

「メニューバー」では、各セクションへの切り替えや「へ ルプ」の表示などが操作出来ます。



## ◎ファイル

デイジーコラージュの終了 「デイジーコラージュ9」を終了します。

#### ◎編集

- 元に戻す 操作をひとつ前の状態に戻します。
- ・やり直し 各セクションへ移動します。

#### ◎セクション

「アルバムセクション」、「変形セクション」など、各セ クションに移動します。

#### ◎編集

・コントロールパレット

各セクションで操作する機能を表示します。クリックす ると、コントロールパレットを非表示にしてキャンバス が大きく表示できるようになります。

もう一度クリックすると、再びコントロールパレットを 表示します。

画像ヤレクタ

スタンプなどの素材を表示します。クリックすると、画 像セレクタを非表示にしてキャンバスが大きく表示でき るようになります。もう一度クリックすると、再び画像 セレクタを表示します。

### ◎ヘルプ

- ヘルプ表示
- ヘルプを表示します。
- バージョン情報

ご利用の「デイジーコラージュ」のバージョンを表示し ます。

### セクションボタン

「アルバムセクション」、「変形セクション」など、各セ クションに移動します。

### コントロールパレット

各セクションで操作する機能を表示します。左端に表示されている[コントロールパレット]ボタンをクリックすると、コントロールパレットを非表示にしてキャンバスが大きく表示できるようになります。

※[アルバム]・[設定]セクションでは表示されません。

## ◎表示時



#### ◎非表示時



## 画像セレクタ

スタンプなどの素材を表示します。左端に表示されている[画像セレクタ]ボタンをクリックすると、画像セレクタを非表示にしてキャンバスが大きく表示できるようになります。

※[合成]・[装飾(スタンプ・フレーム)]・[印刷]のセクションで表示します。

#### ◎表示時



#### ◎非表示時



#### 操作履歷

実行した操作がイメージと異なっていたり、誤った操作 を実行してしまった場合には、「操作履歴」機能で現在 の操作画面の中で行われた操作の状態を戻すことが出来 ます。



[全アンドゥ] 操作を現在の操作画面に移動した直後の状態に戻します。



[アンドゥ]

操作をひとつ前の状態に戻しま す。



[リドゥ]

戻した操作をひとつ後の状態に 進めます。



[全リドゥ]

現在の操作画面で行った最後の 状態に進めます。



## 操作履歴について

他のセクションに移動しますと、これまでの操作 は確定されます。操作画面を移動する前の履歴は 利用できなくなりますのでご注意下さい。

※但し、文字セクションで操作した文字及びフレームセクションで設定したフレームは、アルバムセクションで確定の操作を行わない限り、再度そのセクションで変更の操作を行うことが出来ます。

## [画像切替]ボタン

このボタンをクリックすると「画像切替」ウインドウが 起動します。キャンバスの画像を、この「画像切替」ウ インドウから画像を選択して切り換えることが出来ま す。

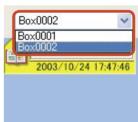
①[画像切替]ボタンをクリックして下さい。



②「画像切替」ウインドウが起動します。



③使用する画像の登録されているアルバムボックスを、プルダウンメニューからクリックで選択します。



④使用する画像の登録されているアルバムをクリックで選択します。



⑤設定する画像をク リックで選択して下さ い。



⑥ [OK] ボタンをクリックすると、キャンバス上の画像が 選択した画像に切り換わります。



#### 拡大縮小バー

このツマミを右方向にドラッグすると、画像の表示倍率が上がり、画像が拡大されます。反対に左方向にドラッグすると、画像の表示倍率が下がり、画像が縮小されます。



## [100(%)] ボタン

[100(%)] ボタンをクリックすると、画像が100%の状態に表示されます。



## [fit] ボタン

[fit] ボタンをクリックすると、それぞれのキャンバス内に画像全体が収まるように画像が表示されます。



### キャンバス

選択した画像を表示します。

## 選択領域枠の設定方法について

ここでは、各セクションの中で利用する「領域設定」の 操作方法をご案内します。

- ◎領域選択枠の種類の設定
- ① [領域選択 (矩形)] ボタンをクリックして下 | さい。
- ②「領域選択」ウインドウが表示されます。利用する領域選択をクリックして、領域選択枠を選択して下さい。





プルダウンメニューから選択する

領域選択枠の種類をプルダウンメニューから選択することも出来ます。

また「領域選択」ウインドウから領域選択枠の種類を選択した際にも、ここに選択した領域選択枠の種類を表示します。

なお、設定出来る領域選択枠の種類は、セクション によって異なります。 ◎領域選択枠の範囲の設定 主な領域選択の設定方法をご案内します。



[多角形]



[ 閉スプライン]

①まず設定する範囲の起点となる位置をクリックしま す。



②続けて、設定する範囲を縁取るように、1点1点ポイ ントとなる位置をクリックしていきます。

「多角形」では、クリックしたポイントとポイントは直 線で結ばれます。「閉スプライン」では、ポイントとポ イントが曲線で結ばれます。



③終点となる位置でクリックをしたら、その場所で更に 右クリックします。

コンテキストメニューが表示されますので、この中の 「確定」をクリックで選択して下さい。



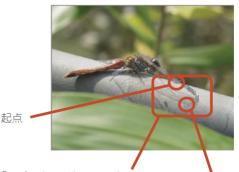
④設定した領域が確定されます。



①まず設定する範囲の起点となる位置をクリックしま す。



②基本的な操作は、「多角形・閉スプライン」と同じです。 「マジックワイヤー」では、被写体と背景の境界を認識 しながら操作を行うことが出来るため、ポイントとなる 位置を省略しながら操作することが出来ます。方向を変 えるようなポイントとなる位置までマウスポインタを移 動して、そのポイントをクリックしていきます。



「マジックワイヤー」で自 動抽出されたポイント

方向を変えるポイ ント

③終点となる位置でクリックをしたら、その場所で更に ▲ 右クリックします。

コンテキストメニューが表示されますので、この中の「確 定しをクリックで選択して下さい。



④設定した領域が確定されます。





①まず設定する範囲の中心にマウスポインタを合わせま す。



②ここでマウスの左ボタンを押さえて、そのまま円の縁 とする位置までマウスポインタをドラッグします。ド ラッグを開始すると、黒い線が目安として表示されます ので、マウスポインタを設定したい範囲の位置まで移動 しましたら、マウスから指を離して下さい。



## [その他]

①まず設定する範囲の起点となる位置にマウスポインタ を合わせます。



②ここでマウスの左ボタンを押さえて、そのまま四角形 の対角線を描くように、終点とする位置までマウスポイ ンタをドラッグします。ドラッグを開始すると、黒い線 が目安として表示されますので、マウスポインタを設定 したい範囲の位置まで移動しましたら、マウスから指を 離して下さい。

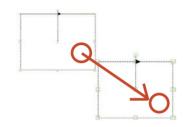


## ◎領域選択枠の位置と大きさの設定

設定した領域選択枠の位置や大きさを調整します。

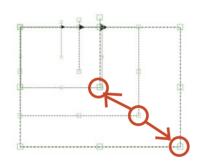
#### a. 位置の調整

領域選択枠内にマウスポインタを合わせて、領域選択枠を移動したい位置へドラッグすると、領域選択枠を移動します。



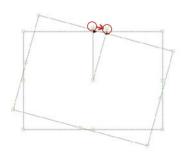
### b. 大きさの調整

領域選択枠の四つ角及び各辺の中央の「□」にマウスポインタを合わせて、領域選択枠を拡大・縮小したい位置へドラッグすると、領域選択枠の大きさを変更します。



## c. 回転角度の調整

領域選択枠の上辺の真上にある「□」にマウスポインタを合わせてドラッグすると、領域選択枠の角度が調整出来ます。

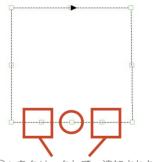


### d. ポイントの位置の調整

「多角形」・「閉スプライン」など、細かな領域選択枠の 枠線上にある「□」にマウスポインタを合わせてドラッ グすると、その「□」を中心に位置の調整が出来ます。



また「□」をクリックすると、クリックした「□」の左右に「□」を追加することが出来ます。追加した「□」を操作することによって、より細かな範囲を調整し直すことも出来ます。



中央の「○」をクリックして、追加された「□」

#### ◎領域選択枠の破棄

設定した領域選択枠を破棄します。

## a. ボタンによる操作

領域選択枠が設定されている状態で、[破棄] ボタンをクリックして、領域を破棄します。



## b. コンテキストメニューによる操作

領域選択枠が設定されている状態で、枠内で右クリック すると、コンテキストメニューが表示されます。この中 の「領域の破棄」をクリックすると、領域を破棄します。



また「多角形」・「閉スプライン」など、細かな領域選択 枠の設定中に右クリックから、コンテキストメニューが 表示した際には、直前にクリックした「□」のみを破棄 する「一つ前の状態」を選択することが出来ます。



#### ◎領域の反転

効果を掛ける範囲を設定します。

選択領域枠の外側に効果を掛ける場合には、「領域の反 転 | 項目の左手に表示されている「□ | をクリックして、 チェックマークを付けて有効にして下さい。選択領域枠 の内側に効果を掛ける場合には、「□」は空欄のままに して設定を無効にして下さい。



「領域の反転」が有効な場合「領域の反転」が無効な場合

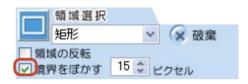




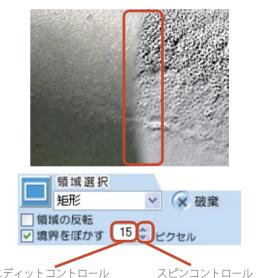
### ◎境界をぼかす

選択した領域と周りの部分の境界をぼかします。

境界をぼかす場合には、「境界をぼかす」項目の左手に 表示されている「□」をクリックして、チェックマーク を付けて有効にして下さい。境界をぼかさない場合には、 「□」は空欄のままにして設定を無効にして下さい。



境界をぼかす際に、エディットコントロールまたはスピ ンコントロールで、ぼかしを掛ける範囲の幅を設定する ことが出来ます。



エディットコントロール

半角数字で数値を設定す ることにより、効果を調 整します。

**[▲]**ボタン・**[▼]**ボタ ンを操作することによ

り、効果を調整します。

## 変形共通操作

「変形」では、3種類のセクションを利用できます。 ここでは、この3種類のセクションを操作する中で共 通して利用できる操作をご案内します。

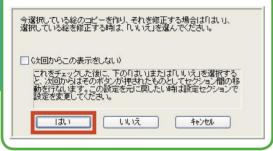


セクション移動時の注意点

画像の加工・編集を目的としたセクションに移動する際に、設定により下記メッセージが表示されます。

「デイジーコラージュ9」では、画像に操作を行う とその内容は自動的に上書きして保存します。

そのため、原画を残す場合には、下記メッセージにて[はい]を選択し、コピー画像を作成して操作を行うようにして下さい。



◎各セクションへの移動

①アルバムサムネイル一覧から、操作を行うサムネイル(画像)をクリックして下さい。

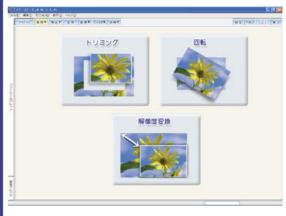


② [変形] ボタンをクリックして下さい。

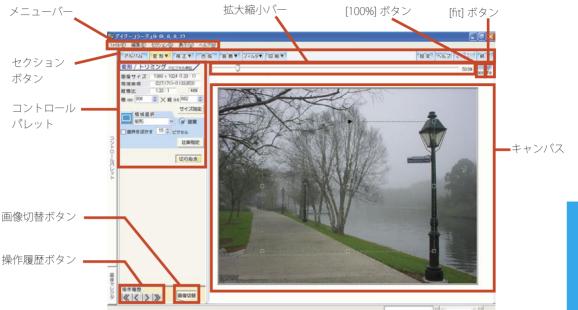


③「セクション選択」画面が表示されます。

操作を行うセクションのボタンをクリックすると、 各セクションへ移動します。



## ◎各項目の名称



## ◎サイズ指定

「サイズ指定」機能では、選択されている領域枠を VGA(640 × 480) や XGA(1024 × 768) などの定形サイズ に指定することが出来ます。

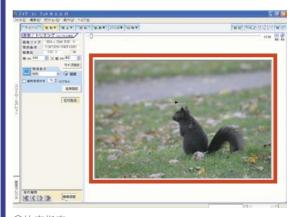
① [サイズ指定] ボタンをクリックして下さい。



②「サイズ指定」ウインドウが表示されます。 プルダウンメニューを使って、「PC」または「PCD など」 の何れかの項目へ設定の上、使用するサイズを指定して、 [OK] ボタンをクリックして下さい。



③キャンバスの画像上の領域枠が、指定されたサイズに 変換されます。



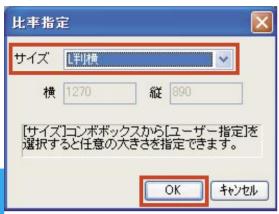
## ◎比率指定

「比率指定」機能では、選択されている領域枠を A4 やはがき、L 判などの定型用紙の縦横比率に指定することが出来ます。

①[比率指定]ボタンをクリックして下さい。

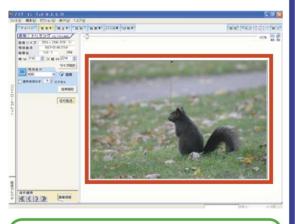


プルダウンメニューを使って、「サイズ」項目へ使用す る用紙サイズを指定して、[OK] ボタンをクリックして下 さい。



※「サイズ」項目に「ユーザー指定」を選択すると、「横」 及び「縦」に任意の数値(ミリ単位)を指定できるよう になります。

③キャンバスの画像上の領域枠が、指定された比率に変 換されます。





■セクション共通操作 (53 ページ)

「トリミングセクション」では、画像の必要のない部分を切り落としたり、画像の一部をハート型や星型などの形に 切り抜くことが出来ます。

## 画像と領域選択の情報

画像の情報と操作した領域選択の情報を表示します。

## ◎画像サイズ

画像の画像サイズと縦横比を表示します。

# 画像サイズ 3504 x 2336 (1.50:1)

画像の画像サイズを表示 します。

この場合の画像サイズの 内容は、「横3504×縦 2336ピクセル」となりま す。

画像の縦横比を表示し

この場合の縦横比の内 容は、「横 1.50: 縦 1」 となります。

#### ◎領域座標

領域選択された際に、その領域の起点と終点の座標を 表示します。

「トリミング セクション」へ移動した直後には、キャン バスの画像上に矩形の領域選択の枠が選択された状態で 表示されます。

このため、「トリミング セクション」へ移動した直後に は、この最初に設定されている矩形の領域選択の枠の起 点と終点が表示されます。



○選択されている領域の縦横比 選択されている領域の縦横比を表示します。

維構比

1.50:1

44%

○選択した領域の画像全体に対する割合

選択されている領域の画像全体に対する割合を表示しま す。

縦横比

1.50:1

#### サイズ設定

領域選択された際に、その領域の画像サイズを「ピクセ ル」単位で表示します。

またエディットコントロールまたはスピンコントロール で、その領域の画像サイズを設定することが出来ます。

## [エディット コントロール]

半角数字で数値を設定することにより、領域サイズを調 整します。

横 (W) 2336

\$ × 縦 (H) 1556



[スピンコントロール]

[▲]ボタン・[▼]ボタンを操作することにより、領域 サイズを調整します。

\$ × 縱 (H) 1556



## [切り抜き]ボタン

[切り抜き]ボタンをクリック すると、画像の切り抜きを実行 します。

切り抜き



- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■変形共通操作 サイズ指定(61ページ) 比率指定(61ページ)
- ■トリミング セクションを使った具体的な操作例 につきましては、合わせて活用ガイドブック 18 ペー ジをご覧下さい。

## 変形 - 回転セクション

「回転セクション」では、角度を指定して画像を360度、任意の角度に回転することが出来ます。

## 画像と領域選択の情報

画像の情報と操作した領域選択の情報を表示します。

#### ◎画像サイズ

画像の画像サイズと縦横比を表示します。

# 画像サイズ 3504 x 2336 (1.50:1)

画像の画像サイズを表示 します。

この場合の画像サイズの 内容は、「横3504×縦 2336 ピクセル」となりま す。

画像の縦横比を表示し ます。

この場合の縦横比の内 容は、「横1.50:縦1」 となります。

## [回転]ボタンと角度の設定

画像を回転させる角度を設定します。

## ◎ [回転]ボタン

それぞれのボタンをクリックすると、指定されている角 度を設定します。



上下反転するよう設定します。



左右反転するよう設定します。



右方向への回転角度「90度」を設定します。



左方向への回転角度「90度」を設定します。

#### ◎角度の設定

エディットコントロールまたはスピンコントロールを設 定することにより、任意の角度を設定します。

角度を設定の後、キャンバスの画像上にマウスポインタ を合わせると、回転後の状態が確認できます。

#### [エディット コントロール]

半角数字で数値を設定することにより、回転する角度を 調整します。

角度

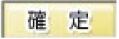
## [スピンコントロール]

[▲]ボタン・[▼]ボタンを操作することにより、回転 する角度を調整します。



## [確定]ボタン

設定した角度を確定します。 [確定]ボタンをクリックする と、画像の回転を実行します。





- ■セクション共涌操作(53ページ)
- ■回転セクションを使った具体的な操作例につきま しては、合わせて活用ガイドブック 20ページをご覧 下さい。

変

## 変形 - 解像度変換セクション

「解像度変換セクション」では、画像サイズを変換することが出来ます。

#### 画像と領域選択の情報

画像の情報と操作した領域選択の情報を表示します。

## ◎画像サイズ

画像の画像サイズと縦横比を表示します。

## 画像サイズ

3504 × 2336 (1.50 : 1)

画像の画像サイズを表示 します。

この場合の画像サイズの 内容は、「横3504×縦 2336ピクセル」となりま

画像の縦横比を表示し

この場合の縦横比の内 容は、「横1.50:縦1」 となります。

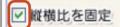
## サイズ設定

す。

変換する画像のサイズを設定します。

## ◎縦横比を固定

変換する画像の縦と横の比率 を固定します。



画像の縦横比を固定する場合

には、「縦横比を固定」項目の左手に表示されている「ロ」 をクリックして、チェックマークを付けて有効にして下 さい。画像の縦横比を固定せずに、それぞれのサイズを 指定して設定する場合には、「ロ」は空欄のままにして 設定を無効にして下さい。

#### ◎変換する画像サイズの設定

変換する画像サイズを「ピクセル」単位で設定します。 画像サイズは、エディットコントロールまたはスピンコ ントロールで設定することが出来ます。

なお、「縦横比を固定」項目を有効にしている場合には、 何れか一方のサイズを変更後にもう一方のエディットコ ントロールをクリックすると、もう一方のサイズが自動 的に計算されます。

## [エディット コントロール]

半角数字で数値を設定することにより、領域サイズを調 整します。



\$ × 縱 (H) 1556



## [スピンコントロール]

[▲] ボタン・[▼] ボタンを操作することにより、領域 サイズを調整します。











## [確定]ボタン

設定した角度を確定します。 [確定]ボタンをクリックする と、画像の回転を実行します。





- ■セクション共涌操作(53ページ)
- ■変形共涌操作 サイズ指定 (61 ページ) 比率指定 (61 ページ)
- ■解像度変換セクションを使った具体的な操作例に つきましては、合わせて活用ガイドブック 21 ページ をご覧下さい。

## 補下共通操作

「補正」では、14種類のセクションを利用できます。 ここでは、この14種類のセクションを操作する中で共 通して利用できる操作をご案内します。

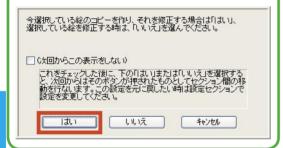
重要

セクション移動時の注意点

画像の加工・編集を目的としたセクションに移動する際に、設定により下記メッセージが表示されます。

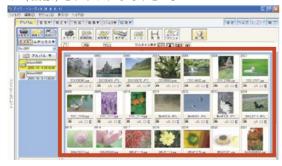
「デイジーコラージュ9」では、画像に操作を行う とその内容は自動的に上書きして保存します。

そのため、原画を残す場合には、下記メッセージにて[はい]を選択し、コピー画像を作成して操作を行うようにして下さい。



◎各セクションへの移動

①アルバムサムネイル一覧から、操作を行うサムネイル(画像)をクリックして下さい。



② [補正] ボタンをクリックして下さい。



③「セクション選択」画面が表示されます。

操作を行うセクションのボタンをクリックすると、 各セクションへ移動します。



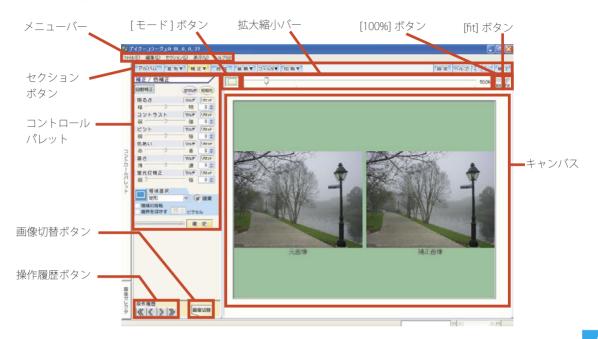
④選択したセクションへ移動します。

補正カテゴリの各セクションへ移動した直後は、ここで操作した画像の状態を比較できるよう、「元画像」と「補正画像」が並んで表示されます。



補

## ◎各項目の名称



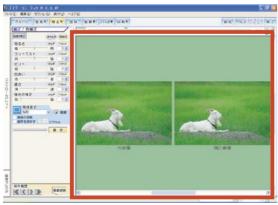
## ◎キャンバス

「補正」の各セクションでは、元画像と編集画像を比較しながら操作を行う「並列モード」と、編集画像のみを表示して操作を行う「1 枚モード」があります。

#### ◎並列モード



「並列モード」の際には、「1枚モード」への切り替えボタンが表示されます。



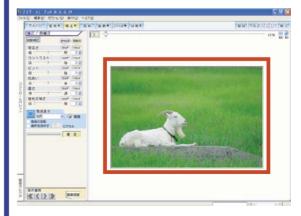
※なお、「並列モード」では、拡大縮小バー・[100%] ボタン・ [fit] ボタンは利用できません。

また、「並列モード」の状態では、領域選択は行えません。 領域選択を操作する際には、「1枚モード」に切り替えて 下さい。

## ◎ 1 枚モード



「1 枚モード」の際には、「並列モード」 への切り替えボタンが表示されます。





## ◎パラメータ

「補正」の殆どのセクションにパラメータが装備されており、このパラメータを操作することによって、より細かな色補正の効果を設定することが出来ます。

スライダー [マルチ]ボタン [リセット]ボタン



・スライダー

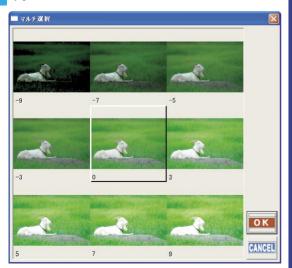
中央のツマミを左右にドラッグすることにより、効果を 調整します。

・[マルチ]ボタン

選択したパラメータから、9つのパターンを表示する「マルチ選択」ウインドウを起動します。

表示されたパターンから、お好みの状態をクリックで選択することが出来ます。パターン選択後、[OK] ボタンをクリックすると、選択したパターンを設定します。

※各パターンの左下角にそのパターンの設定値が標記されていますので、この設定値を参考にすることも出来ます。



・[リセット]ボタン

スライダー・エディットコントロール・スピンコントロールを操作する前の状態に設定を戻します。

- ・エディットコントロール半角数字で数値を設定することにより、効果を調整します。
- ・スピンコントロール

[ $\blacktriangle$ ] ボタン・[ $\blacktriangledown$ ] ボタンを操作することにより、効果を調整します。

## ◎補正の確定

パラメータの調整を行うと、随時キャンバス上の補正画 像に設定した補正値が反映されます。

表示された補正状態を確定するには、[確定]ボタンをクリックして下さい。

①各パラメータを調整すると、設定された補正値で補正 画像に効果を反映します。

このとき、処理の進行状態がプログレスバーに表示されます。



プログレスバー

確定した処理の進捗状態を表示します。

※効果の反映には、設定した補正の内容や編集画像の大きさにより時間の掛かることがあります。

②キャンバス上の補正画像にて、設定された補正値の結果を確認して下さい。



③表示された補正状態を確定するには、[確定]ボタンをクリックして下さい。



補



- ■セクション共通操作 (53 ページ )
- それぞれの補正イメージについては、巻末の「付録~補正の種類 (179ページ)」をご覧下さい。

## 補正 - 色補正セクション

「色補正セクション」では、画像に対して基本的な補正効果を総合的に実行することが出来ます。

## 色補正操作ボタン

IR 自動補正、及び6種類のパラメータを使った総合的な補正を操作します。

## ◎ [自動補正]ボタン

[自動補正] ボタンをクリックすると、選択した画像へ「IR(Image Recognition) 自動補正」を実行します。





## IR自動補正とは・・・

画像の被写体を認識し、画像の色素や明るさなどの傾向から、自動的に被写体が最も美しく見える補正値を算出して、算出した補正値に補正を実行する機能です。

## ◎ [全マルチ] ボタン

「色補正セクション」で設定が可能な6種類のパラメータを使って、9つのパターンを算出した「マルチ選択」ウインドウを表示します。表示されたパターンから、お好みの状態をクリックで選択することが出来ます。パターン選択後、[OK] ボタンをクリックすると、選択したパターンを設定します。

また初めて補正を行う際には、出来上がりの状態を想像することはなかなか難しいことです。そのような場合に 色補正の操作の目安としても利用することが出来ます。



#### パラメータ

それぞれのパラメータ毎に詳細を設定します。



画像の明るさを設定します。中央のツマミを左方向[暗] へ調整すると画像を暗く、ツマミを右方向[明]へ調整 すると画像を明るくします。



画像のコントラストを設定します。中央のツマミを左方向[弱]へ調整するとコントラストを弱く、ツマミを右方向[強]へ調整するとコントラストを強くします。



## コントラストとは・・・

画像の明るさと暗さの比率のことです。コントラストを弱く設定すると、画像が平板になり、反対に強く設定すると明るい部分と暗い部分の差がはっきりとするようになります。



画像のピントを設定します。中央のツマミを左方向[弱] へ調整すると画像がぼやけたように、ツマミを右方向 [強]へ調整すると被写体の輪郭がくっきりとなるよう にします。



画像の色合いを設定します。中央のツマミを左方向[赤] へ調整すると画像全体を赤く、ツマミを右方向[青]へ 調整すると画像全体を青くします。

補



画像の濃さを設定します。中央のツマミを左方向[薄] へ調整すると画像全体の色合いを薄く、ツマミを右方向 [濃]へ調整すると画像全体の色合いを濃くします。



蛍光灯下で撮影された写真に対する補正値を設定します。中央のツマミを左方向[弱]へ調整すると補正を弱く、ツマミを右方向[強]へ調整すると補正を強く掛けます。 蛍光灯下で撮影された写真は、全体に青白くなることがあります。この状態を補正するため、補正を強く設定すると、画像に赤みを増すようにします。



- ■セクション共通操作 (53 ページ)
- ■補正共通操作 [初期化]ボタン(68ページ) パラメータ(68ページ) 補正の確定(68ページ)
- ■色補正セクションを使った具体的な操作例につきましては、合わせて活用ガイドブック 23 ページをご覧下さい。

## 補正 - 明るさ・コントラスト セクション

「明るさ・コントラストセクション」では、画像に対して明るさとコントラストの補正を実行することが出来ます。

## パラメータ

それぞれのパラメータ毎に詳細を設定します。



画像の明るさを設定します。中央のツマミを左方向[暗] へ調整すると画像を暗く、ツマミを右方向[明]へ調整 すると画像を明るくします。



画像のコントラストを設定します。中央のツマミを左方向[弱]へ調整するとコントラストを弱く、ツマミを右方向[強]へ調整するとコントラストを強くします。



参照ページのご案内

- ■セクション共通操作 (53 ページ)
- ■補正共通操作 [初期化]ボタン(68ページ) パラメータ(68ページ)

補正の確定 (68 ページ)

## 補

## 補正 - 色調・彩度・明度セクション

「色調・彩度・明度セクション」では、画像に対して色調・彩度及び明度の補正を実行することが出来ます。

## パラメータ

それぞれのパラメータ毎に詳細を設定します。



変換する色調を設定します。スライダーの上のカラー バーのそれぞれの色の範囲へ中央のツマミの位置を調整 すると画像の色調をツマミの位置の色調に変換します。



画像の彩度を設定します。中央のツマミを左方向[-] へ調整すると彩度が下がり、画像は灰色に近くなります。 反対にツマミを右方向[+]へ調整すると彩度が上がり ます。



画像の明度を設定します。中央のツマミを左方向[-] へ調整すると明度が下がり、画像が暗くなります。反対 にツマミを右方向[+]へ調整すると明度が上がり、画 像は白っぽくなります。



参照ページのご案内

- ■セクション共涌操作(53ページ)
- ■補正共通操作

[初期化]ボタン(68ページ)

パラメータ (68 ページ)

補正の確定 (68 ページ)

# 補正 - カラーバランス セクション

「カラーバランス セクション」では、画像に対してカラーバランス (CMY ~ RGB) の補正を実行することが出来ます。

#### 輝度維持

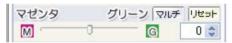
「□」をクリックしてチェックマークを付けると、画像の輝度(明るさの度合い)を維持します。

#### パラメータ

それぞれのパラメータ毎に詳細を設定します。



中央のツマミを左方向[シアン]へ調整するとシアン(青緑色)を強調し、ツマミを右方向[レッド]へ調整するとレッド(赤)を強調します。



中央のツマミを左方向[マゼンタ]へ調整するとマゼンダ(赤紫色)を強調し、ツマミを右方向[グリーン]へ調整するとグリーン(緑)を強調します。



中央のツマミを左方向[イエロー]へ調整するとイエロー(黄色)を強調し、ツマミを右方向[ブルー]へ調整するとブルー(青)を強調します。



参照ページのご案内

- ■セクション共通操作 (53 ページ)
- ■補正共通操作

[初期化] ボタン (68 ページ) パラメータ (68 ページ)

補正の確定 (68 ページ)

# 補正 ー レベル補正セクション

「レベル補正セクション」では、画像に対して色の三原色である  $R(\pi) \cdot G(\Re) \cdot B(\pi)$  のレベルをそれぞれ調整して、設定することが出来ます。

#### チャンネル

調整を行うチャンネルを、プルダウンメニューから選択します。



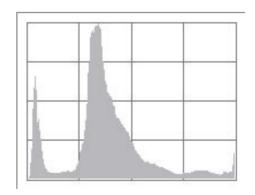


チャンネルとは・・・

画像を構成する色 (RGB) や明るさなどを管理する場所のことです。

### <u>ヒストグラム</u>

選択した画像のヒストグラムを表示します。 「レベル補正セクション」では、ヒストグラムを目安に、 階調の分布をコントロールします。

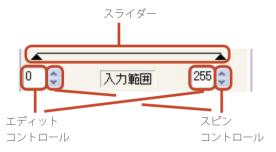


#### ヒストグラムとは・・・

画像に含まれる画素(画像を構成する色の付いた点) を、その明るさの度合いによってグラフ化したもの で、横軸が明るさを、縦軸が画素の数を表します。 画像が暗い場合にはグラフが左側に、明るい場合に は右側に分布されます。

#### パラメータ

それぞれのパラメータ毎に詳細を設定します。



・スライダー

左のツマミを右に、右のツマミを左にドラッグすること により、効果を調整します。

エディットコントロール半角数字で数値を設定することにより、効果を調整します。

・スピンコントロール

[ $\blacktriangle$ ] ボタン・[ $\blacktriangledown$ ] ボタンを操作することにより、効果を調整します。



左の [ $\blacktriangle$ ] で「シャドウ」を、右の [ $\blacktriangle$ ] で「ハイライト」 を調整します。

例えば、「出力範囲」が初期値 (0 ~ 255) に設定されている場合、左の [▲(シャドウ)]を「10」にすると、明るさ「10」の位置が「0」になるため、画像全体が暗めに補正されるようになります。

反対に、右の [ $\blacktriangle$ (ハイライト)] を「200」にすると、明るさ「200」の位置が「255」になるため、画像全体が明るく補正されるようになります。



出力結果の階調を設定します。 通常は、変更する必要はありません。



明るさを調整します。

◎[リセット]ボタン

[リセット] ボタンをクリックすると、設定している全てのグラフ上の補正値を、設定前の状態に戻します。



#### 色指定ボタン

R、G、Bチャンネルのグラフを構成する3色を設定します。

「色指定ボタン」を操作することにより、撮影時の条件により、実際とは異なった色になってしまった画像を実際の色に近づけるようにします。



黒くしたい部分を指定します。



灰色にしたい部分を指定します。



白くしたい部分を指定します。



参照ページのご案内

- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■補正共通操作

[初期化]ボタン(68ページ)

パラメータ (68 ページ)

補正の確定 (68 ページ)

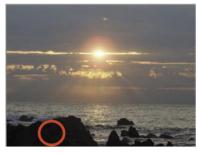
補

#### 色指定ボタンの操作について

ここでは、「色指定ボタン」の操作についてご案内します。 ※なお、操作の際にはキャンバスを「1枚モード」にし て下さい。また「色指定ボタン」で設定される「モード」 は自動的に「スプライン曲線」になります。

①[シャドウ]ボタンをクリックしてから、キャ ンバスの画像上で、黒くしたい部分をクリック します。





②[ハイライト]ボタンをクリックしてから、 キャンバスの画像上で、白くしたい部分をク リックします。





③[中間色]ボタンをクリックしてから、キャ ンバスの画像上で、中間色に指定したい部分を クリックします。





④グラフに指定された3色が反映され、キャンバスの画 像上に算出された補正が反映されます。



補

補

「トーンカーブセクション」では、画像に対してトーンカーブを使った補正を実行することが出来ます。

#### 操作モードの切り替え

「チャンネル | 及び「モード | の切り替えなどを行います。

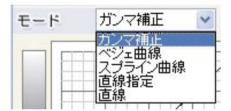
#### ◎チャンネル

操作を行うチャンネルを指定します。



#### ◎モード

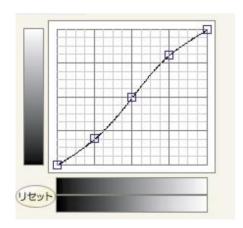
グラフの種類を指定します。



#### グラフ

選択した画像のヒストグラムの表示と、補正値の設定を 行います。

「グラフ」の基準となる3点は、「色指定ボタン」を使っ て、キャンバスの画像上から指定することが出来ますが、 直接ドラッグで操作することも出来ます。



#### ◎[リセット]ボタン

- [リセット] ボタンをクリックすると、設定 **リセット** している全てのグラフトの補正値を、設定前 の状態に戻します。

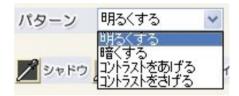


#### 自動設定

行いたい補正イメージから、「RGBチャンネル」を自動 的に算出します。

#### ◎パターン

行いたい補正イメージを指定すると、「RGB チャンネル」 を自動的に算出します。



#### ◎ [自動設定]ボタン

「モード」で「スプライン曲線」、「直線 指定」及び「直線」を指定した状態で、[自 動設定1ボタンをクリックすると、「RGB チャンネル」を自動的に算出します。



#### 色指定ボタン

R、G、Bチャンネルのグラフを構成する3色を設定し ます。

「色指定ボタン」を操作することにより、撮影時の条件 により、実際とは異なった色になってしまった画像を実 際の色に近づけるようにします。



黒くしたい部分を指定します。



灰色にしたい部分を指定します。



白くしたい部分を指定します。



#### 参照ページのご案内

- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■補下共诵操作 [初期化]ボタン(68ページ) パラメータ (68 ページ) 補正の確定 (68ページ)
- ■トーンカーブ セクションを使ったホワイトバラ ンスの調整方法につきましては、合わせて活用ガイ ドブック 26ページをご覧下さい。

#### 色指定ボタンの操作について

ここでは、「色指定ボタン」の操作についてご案内します。 ※なお、操作の際にはキャンバスを「1枚モード」にし て下さい。また「色指定ボタン」で設定される「モード」 は自動的に「スプライン曲線」になります。

①[シャドウ]ボタンをクリックしてから、キャ ンバスの画像上で、黒くしたい部分をクリック します。





②[ハイライト]ボタンをクリックしてから、 キャンバスの画像上で、白くしたい部分をク リックします。





③[中間色]ボタンをクリックしてから、キャ ンバスの画像上で、中間色に指定したい部分を クリックします。





④グラフに指定された3色が反映され、キャンバスの画 像上に算出された補正が反映されます。



# 補正 - ぼかし・シャープ セクション

「ぼかし・シャープセクション」では、画像に対してぼかし・シャープの補正を実行することが出来ます。

#### 操作モードの切り替え

「ぼかし」・「シャープ」の切り替えなどを行います。



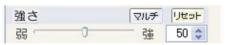
[ぼかし] ボタンがクリックされた状態でパラメータを設定すると、その内容はぼかしの効果として設定されます。



[シャープ] ボタンがクリックされた状態 でパラメータを設定すると、その内容は シャープの効果として設定されます。

#### パラメータ

それぞれのパラメータ毎に詳細を設定します。



効果の強さを設定します。中央のツマミを左方向[弱] へ調整すると弱く、ツマミを右方向[強]へ調整すると 強く効果を掛けます。



効果を掛ける範囲の大きさを設定します。中央のツマミを左方向[小]へ調整すると効果を掛ける範囲を小さく、ツマミを右方向[大]へ調整すると効果を掛ける範囲を大きくします。



参照ページのご案内

- ■セクション共通操作 (53 ページ)
- ■補正共通操作 [初期化]ボタン(68ページ)

パラメータ (68 ページ) 補正の確定 (68 ページ)

補

# 補正 - ノイズ除去セクション

「ノイズ除去セクション」では、画像に発生しているノイズを除去します。

#### パラメータ

ノイズを除去する効果の度合いを設定します。



効果の強さを設定します。中央のツマミを左方向[弱] へ調整すると弱く、ツマミを右方向[強]へ調整すると 強く効果を掛けます。



参照ページのご案内

- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■補正共通操作

[初期化]ボタン(68ページ)

パラメータ (68 ページ)

補正の確定 (68 ページ)

「美肌補正セクション」では、画像の中の肌の部分に対して、補正を実行することが出来ます。



「美肌補正セクション」について

「美肌補正セクション」では、セクションに移動す る際に、各パラメータの補正の準備を行います。 このため、画面左上部に表示される案内が、「準備 が完了しました。」という表示に変わるまでしばらく お待ち下さい。

#### パラメータ

それぞれのパラメータ毎に詳細を設定します。



肌のシミやそばかすやくすみなど、気になる部分を補正 します。

中央のツマミを左方向[弱]へ調整すると弱く、ツマミ を右方向[強]へ調整すると強く効果を掛けます。



肌全体を白く補正します。

中央のツマミを左方向[弱]へ調整すると弱く、ツマミ を右方向[強]へ調整すると強く効果を掛けます。



肌の凹凸をぼかして補正します。

中央のツマミを左方向[弱]へ調整すると弱く、ツマミ を右方向[強]へ調整すると強く効果を掛けます。



肌全体画像に「美白」効果を掛けるとともに、明るくソ フトに補正します。

中央のツマミを左方向[弱]へ調整すると弱く、ツマミ を右方向[強]へ調整すると強く効果を掛けます。



参照ページのご案内

- ■セクション共涌操作(53ページ)
- ■補正共涌操作

[初期化]ボタン(68ページ)

パラメータ (68 ページ)

補正の確定(68ページ)

# 補正 - 赤目補正セクション

「赤目補正セクション」では、画像の赤目部分に対しての補正を実行することが出来ます。

#### 赤目補正の操作について

キャンバスの中央に表示さ れている緑色の領域の中心を 赤目部分に合わせます。

次に[確定]ボタンをクリッ クすると、補正効果が適用さ れます。





参照ページのご案内

- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■補正共通操作 補正の確定 (68ページ)
- ■赤眼補正セクションを使った具体的な操作例につ きましては、合わせて活用ガイドブック 27 ページを ご覧下さい。

# 補正 - コピー修正セクション

「コピー修正セクション」では、画像の中に写り込んでしまった電線などの不要な対象物をその周りの画像を使い、修正ペンで修正するように転写することが出来ます。

#### ◎各項目の名称



#### ペン設定

ペンの種類・形状及びコピー元の画像を認識する感度を設定します。

### ◎ペンの種類

ペンの種類を設定します。



コピーの操作を開始した際に、 コピー元の円が配置されていた範 囲をそのままコピー先へ描画しま す。



コピーの操作を開始した際に、 コピー元の円が配置されていた 範囲をプログラムが判別し、そ の範囲だけをコピー先へ描画し ます。

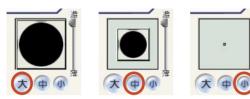


消しゴム

コピーの操作で描画した画像を 消去します。

#### ◎ペンの大きさ

それぞれのボタンをクリックすると、ペンの大きさを変 更します。



中央のペン先を直接ドラッグすると、ペンの大きさと形 状が手動で調整できます。

またこの時に、「SHIFT」キーを押さえながらドラッグすると、縦と横の長さが同じ状態で大きさのみを調整出来ます。



#### ◎色の濃さ

スライダーを上へドラッグすると色を濃く、下へドラッグすると薄く描画します。





#### ◎ペンの感度

ペンの種類で「ニューロペン」を選択した際に、コピー元の円の配置されている範囲を判別する感度を設定します。



中央のツマミを左方向[弱]へ調整すると感度が弱まり、 範囲の判別が甘くなります。反対にツマミを右方向[強] へ調整すると感度が強まり、範囲の判別が厳しくなりま す。

#### コピーペンの操作について

#### ◎ [操作について] ボタン

[操作について] ボタンをクリックすると、コピーペンの操作方法をご案内する「コピーペンの操作について」 ウインドウを表示します。

※このウインドウを閉じる場合には、ウインドウ 右上角の[×(閉じる)] ボタンをクリックして下 さい。





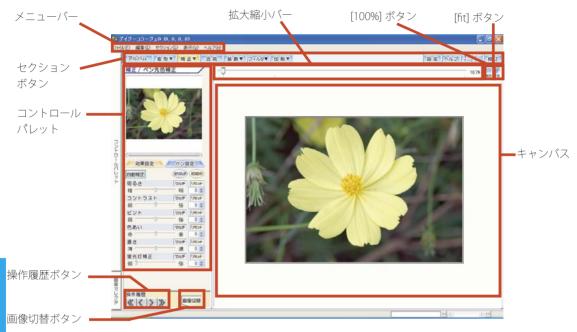
### 参照ページのご案内

■コピー修正セクションを使った具体的な操作例につきましては、合わせて活用ガイドブック 29 ページをご覧下さい。

# 補正 - ペン先色補正セクション

「ペン先色補正セクション」では、ペンで補正を掛けたい部分をドラッグすることにより、部分的な色補正を実行することが出来ます。

#### ◎各項目の名称(効果設定)



#### 効果設定

補

#### プレビュー

効果設定で設定した内容を表示します。



#### 設定の切り替え

効果設定とペン設定の操作表示を切り替えます。



[効果設定]ボタンをクリックすると、「効果設定」画面に切り替わります。

#### ◎キャンバス

選択した画像を表示します。



参照ページのご案内

- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■補正共通操作

[初期化]ボタン(68ページ)

パラメータ (68 ページ)

 $[ \forall n \neq 1 ] \vec{x} \neq \lambda$  (68  $\% - \vec{y}$ )  $[ y + y + 1 ] \vec{x} \neq \lambda$  (68  $\% - \vec{y}$ )

■色補正セクション

[自動補正]ボタン(70ページ)

[全マルチ]ボタン(70ページ)

### ◎各項目の名称(ペン設定)



#### ペン設定

#### プレビュー

効果設定で設定した内容を表示します。



#### 設定の切り替え

効果設定とペン設定の操作表示を切り替えます。



[ペン設定] ボタンをクリックすると、「ペン設定」画面に切り替わります。

#### 操作ボタン

一発消去、一発転送及びキャンバス上で行った操作の内容の確定を行います。

一発消去

キャンバス上で行った操作を全て消去し ます。

一発転送

「効果設定」画面で設定した内容を画像 全体に反映します。 ◎キャンバス

選択した画像を表示します。



参照ページのご案内

- ■セクション共通操作 (53 ページ)
- ■補正共通操作 パラメータ (68 ページ) [リセット] ボタン (68 ページ) 補正の確定 (68 ページ)
- ■コピー修正セクション ペン設定 (80 ページ)
- ■ペン先色補正セクションを使った具体的な操作例につきましては、合わせて活用ガイドブック 30ページをご覧下さい。

# 補正 - ペン先色変換セクション

「ペン先色変換セクション」では、ペンで色を変換したい部分をドラッグすることにより、部分的な色変換を実行することが出来ます。

#### ◎各項目の名称 (効果設定)



#### 下 効果設定

補

#### プレビュー

効果設定で設定した内容を表示します。



#### 設定の切り替え

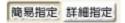
効果設定とペン設定の操作表示を切り替えます。



[効果設定]ボタンをクリックすると、「効果設定」画面に切り替わります。

#### 指定の切り替え

簡易指定と詳細指定の操作表示を切り替えます。



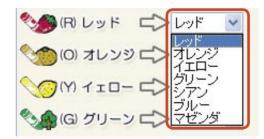
[詳細指定]ボタンをクリックすると、「詳細指定」画面に切り替わります。

#### 色変換指定

簡易指定または詳細指定の操作画面を表示します。

#### ◎簡易指定

色ごとに変換後の色をプルダウンメニューで指定します。



例えば、「レッド」項目のプルダウンメニューから変換後の色を設定した場合には、画像の赤い色の部分を設定後の色に変換するようになります。

#### ◎詳細指定

パラメータを使って、変換後の色の状態を詳細に設定します。



変換する色の明るさを設定します。中央のツマミを左方向[暗]へ調整すると画像を暗く、ツマミを右方向[明]へ調整すると画像を明るくします。



変換する色の明るさのコントラストを設定します。中央のツマミを左方向[弱]へ調整するとコントラストを弱く、ツマミを右方向[強]へ調整するとコントラストを強くします。



変換する色の濃さを設定します。中央のツマミを左方向 [薄]へ調整すると画像全体の色合いを薄く、ツマミを右方向[濃]へ調整すると画像全体の色合いを濃くします。



変換する色の濃さのコントラストを設定します。中央の ツマミを左方向[弱]へ調整するとコントラストを弱く、 ツマミを右方向[強]へ調整するとコントラストを強く します。



変換する色を設定します。スライダーの下のカラーバーのそれぞれの色の範囲へ中央のツマミの位置を調整すると変換する色をツマミの位置の色に設定します。

#### ◎キャンバス

選択した画像を表示します。

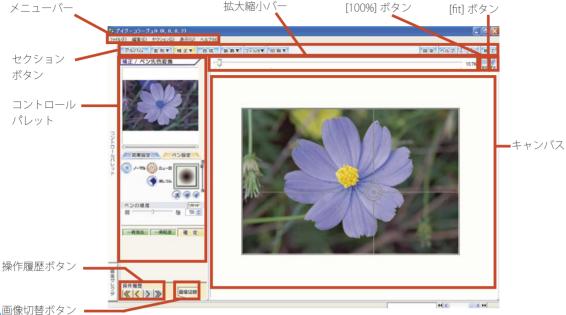


参照ページのご案内

- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■補正共通操作
  [初期化] ボタン (68 ページ)
  パラメータ (68 ページ)
  [マルチ] ボタン (68 ページ)
  [リセット] ボタン (68 ページ)

#### 86 補正カテゴリ

#### ◎各項目の名称(効果設定)



### ペン設定

#### プレビュー

効果設定で設定した内容を表示します。



#### 設定の切り替え

効果設定とペン設定の操作表示を切り替えます。



「ペン設定」ボタンをクリックすると、「ペン設定」画面 に切り替わります。

#### 操作ボタン

一発消去、一発転送及びキャンバストで行った操作の内 容の確定を行います。

キャンバス上で行った操作を全て消去し 一発消去

「効果設定」画面で設定した内容を画像 -発転送 全体に反映します。

◎キャンバス

選択した画像を表示します。



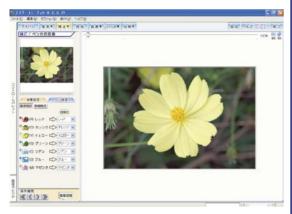
参照ページのご案内

- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■補正共通操作 パラメータ (68 ページ) [リセット]ボタン(68ページ) 補正の確定 (68ページ)
- ■コピー修正セクション ペン設定 (80ページ)

補

#### ペン先色変換の操作について

ここでは、ペン先色変換の基本的な操作をご案内します。 プレビューを参照しながら、「効果設定」画面で色変換 の内容が設定できましたら、①へ進んで下さい。



①[ペン設定]ボタンをクリックして、コントロールパレットを「ペン設定」画面に切り換えて下さい。



②今回は部分的な被写体である薔薇の部分だけを補正しますので、ペンの種類に「ニューロペン」が設定されていることを確認して下さい。



③補正の濃度とペンの大きさを設定して 下さい。



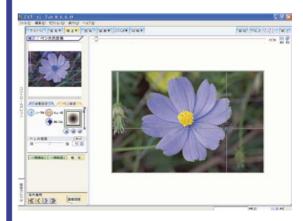
④変換を行うコスモスの部分にマウスポインタを合わせてると、マウスポインタを囲むように◎が表示されます。 この◎がペン先となり、このペン先の中心から半紙に墨汁が滲んでいくように、補正が行われます。

「ニューロペン」では、このようにプログラムがその範囲を判別しながら処理が行われますので、コスモスの部分全体をなぞるようにややゆっくりとドラッグをして下さい。



⑤また「ニューロペン」では、右ドラッグをすることで、 行われた処理を元に戻すことが出来ます。

そこで被写体からはみ出した部分にも色の変換を行ってしまった場合には、まず一度マウスから指を離してそのはみ出してしまった部分にマウスポインタを合わせ直して下さい。ここから右ドラッグをすると、被写体の背景を新たに処理範囲となり、はみ出した部分の色を元の色に戻します。



「偽色抑制セクション」では、偽色を抑える処理の強度を調整します。

#### パラメータ

偽色を抑制する効果の度合いを設定します。



効果の強さを設定します。中央のツマミを左方向[小] へ調整すると弱く、ツマミを右方向[大]へ調整すると 強く効果を掛けます。

本機能では、細かな構造の部分(高周波部分)に発生す る偽色と、ノイズによって発生する色ノイズ偽色の双方 を同時に抑えることができます。

高感度撮影時に発生する色ノイズや、細かな構造の部分 に発生する偽色が気になる場合に、抑制強度を強めて下 さい。

但し、抑制強度を強めれば強めるほど、色の分離が低下 し、色境界で色がぼやけていきます。また、彩度の高い 部分の色がその周囲に漏れてくる「色漏れ」という現象 を引き起こします。

このため、抑制強度を強めすぎると、かえって映像品質 を低下させてしまうことがありますのでご注意下さい。



参照ページのご案内

- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■補正共通操作

[初期化]ボタン(68ページ)

パラメータ (68 ページ)

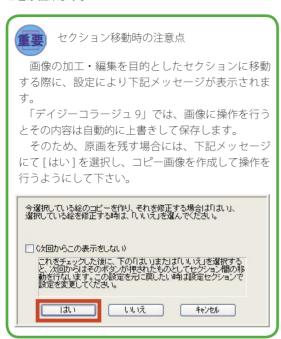
[マルチ]ボタン(68ページ)

[リセット]ボタン(68ページ)

補正の確定 (68 ページ)

補

「合成セクション」では、1枚の画像を背景としてこの画像の上に複数の画像を描画するように、合成の操作を行う ことが出来ます。



#### ◎各セクションへの移動

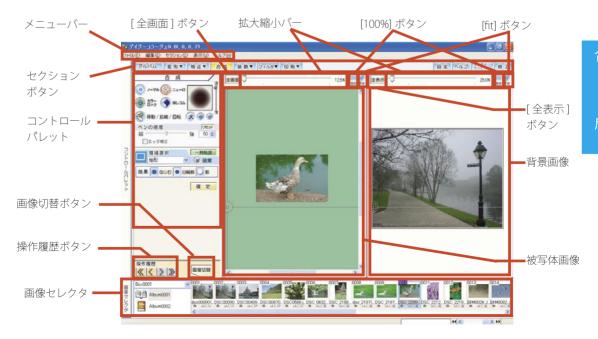
①アルバムサムネイル一覧から、背景とするサムネイ ル(画像)をクリックして下さい。



②[合成]ボタンをクリックすると、合成セ クションへ移動します。

合成

#### ◎各項目の名称



#### コントロールパレット

ペンの種類や領域設定など合成の機能を操作します。

#### ◎ペンの設定

ペンの種類・形状及び被写体の範囲を認識する感度を設定します。

#### a. ペンの種類

ペンの種類を設定します。



合成の操作を開始した際に、範囲を判別することなく、ドラッグ された範囲を合成します。



合成の操作を開始した際に、ペン先の円が配置されていた範囲をプログラムが判別し、その範囲だけを合成します。



合成の操作を開始した際に、ペン先の円が配置されていた部分の色をプログラムが判別し、その色の部分だけを合成します。



成

消しゴム

合成した被写体画像を消去します。

#### b. ペンの大きさ

それぞれのボタンをクリックすると、ペンの大きさを変 更します。







中央のペン先を直接ドラッグすると、ペンの大きさと形 状が手動で調整できます。

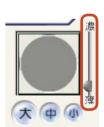
またこの時に、「SHIFT」キーを押さえながらドラッグすると、縦と横の長さが同じ状態で大きさのみを調整出来ます。



#### c. 色の濃さ

スライダーを上へドラッグすると色を濃く、下へドラッグすると薄く合成します。





#### d.ペンの感度

ペンの種類で「ニューロペン」を選択した際に、コピー元の円の配置されている範囲を判別する感度を設定します。



中央のツマミを左方向[弱]へ調整すると感度が弱まり、 範囲の判別が甘くなります。反対にツマミを右方向[強] へ調整すると感度が強まり、範囲の判別が厳しくなりま す。

リセット また「エッジ補正」項目の左手に表示されている「□」

をクリックして、チェックマークを付けると、 合成の際に描画された線のフチを滑らかにします。

#### ◎移動·拡縮·回転

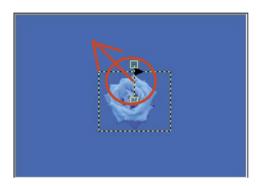
背景に合成した被写体の位置・大きさ・角度 などを調整します。



[移動・拡縮・回転]ボタンをクリックすると、 背景に合成した被写体画像が黄色い点線で囲 まれて、操作が出来るようになります。

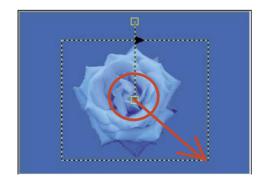
#### a. 被写体画像の移動

黄色い点線の中の被写体画像にマウスポインタを合 わせて、移動したい位置へドラッグして下さい。



#### b. 被写体画像の拡縮(拡大と縮小)

黄色い点線の中の被写体画像にマウスポインタを合わ せて、画像を拡大する場合には、黄色い点線の外側に向 かって、マウスの右ボタンを押さえ、そのまま右ドラッ グをして下さい。反対に、画像を縮小する場合には、黄 色い点線の中心に向かって、マウスの右ボタンを押さえ、 そのまま右ドラッグをして下さい。



#### c. 被写体画像の複製・消去

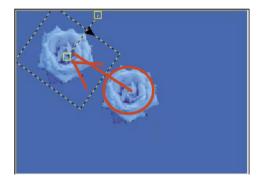
被写体画像をスタンプのように、複製して並べることが 出来ます。

① [複製]ボタンをクリックします。

②複製の対象となる被写体画像が点滅し、「選択されて いる合成結果を複製します。よろしいですか? 」という確認メッセージが表示されます。[はい]ボタ ンをクリックすると、画像を複製します。



③複製した画像は、元の被写体画像と重なって作成され ます。表示されている画像にマウスポインタを合わせて ドラッグを行い、複製画像を移動して下さい。



※なお、複製した画像を削除する場合に は、削除する画像をクリックで選択して から、「消去」ボタンをクリックして下さ い。

消去

成

#### d. 被写体画像の回転

黄色い点線の上部中央にある「□」にマウスポインタを合わせてドラッグをすると、画像が回転します。回転させたい角度までドラッグを行って下さい。



また、「角度」項目に変更したい角度を指定することに よって、角度を変更することも出来ます。



半角数字で数値を設定することにより、効果を調整します。

[▲] ボタン・[▼] ボタンを操作することにより、効果を調整します。

#### e. 被写体画像の順番の入れ替え

選択している合成後の被写体画像の順番を入れ替えることが出来ます。

配置 最前面 前面 背面 最背面

①例えば、下の画像の内月の画像を鳥の画像より下に順番を入れ替える場合には、まず月の画像をクリックで選択します。



成



②[背面]ボタンをクリックすると、月の画像が鳥の画像の下に下がります。



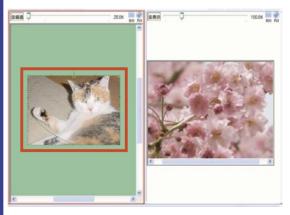
#### f. 領域選択と[一発転送]ボタン

例えば合成したい部分を、ハート型や星型などの形で操作する場合には、領域選択を使ってその範囲を指定する ことが出来ます。

①操作する範囲の形を領域選択から指定します。



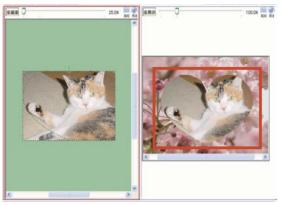
②操作画面中央の被写体画像の上で、領域選択を行います。



③[一発転送]ボタンをクリックして下さい。

一発転送

④被写体画像の選択された範囲が、右手側の背景画像の 上に合成されます。



⑤合成が終わりましたら、[破棄]ボタンをクリックして選択した領域を破棄します。



#### a. 効果ボタン

合成した被写体画像と背景画像の縁をなじませたり、被 写体画像に影を付けたりします。



背景画像と合成した被写体画像の対象の輪郭をなじませ、ギザギザを目立たなくさせます。1回だけではあまり効果は見られませんが、数回クリックすると、クリックする毎に輪郭がなじんでいくように変化していきます。



合成した被写体画像に白い縁取りを行います。

合成した被写体画像を背景画像から浮き立たせたいときなどに有効です。



合成した被写体画像に影を付けます。 合成した画像に奥行きを持たせたいときな どに有効です。

#### h.[確定]ボタン

確定

複数の被写体画像の合成を行う際には、新たな合成を 開始する前にこのボタンをクリックすると、それ以前に 行った操作が確定され、誤って位置や大きさを変更して しまうことを防ぐことができます。

なお、誤って画像を確定してしまった場合には、「操作履歴」の中の[戻る(アンドゥ)]ボタンをクリックして、画像を確定する前の状態に戻して下さい。

#### 背景画像

「合成セクション」へ移動する際に選択されていた画像 を表示します。

「合成セクション」では、この画像を背景画像として、 操作を行います。



背景画像の切り換えについて

誤って背景画像に他の画像が表示された場合には、[画像切替]ボタンより画像の切り換えを行う ことが出来ます。

①[画像切替]ボタンをクリックして下さい。



- ②「画像切替」ウインドウが表示されますので、操作する画像の登録されている「アルバムボックス」と「アルバム」を指定して下さい。
- ③サムネイルの一覧が表示されますので、操作する 画像をクリックで選択して、[OK] ボタンをクリック して下さい。



④「画像切替」ウインドウを閉じて、背景画像を選択した画像に切り替えます。

#### ◎ [全表示] ボタン

合成の操作中、または合成の終了時に[全表示]ボタンをクリックすると、現時点での合成結果を画面全体を使って表示します。



なお操作画面を再度表示する時には、表示されている画 ▲ ◎ [全画面]ボタン 面を左クリックして下さい。

#### 被写体画像

背景画像へ合成する被写体画像を表示します。

ニューロペン機能を使って、プログラムで被写体の範囲 を認識しながら合成を行うことも出来ますが、この被写 体画像へ領域を選択を行ってその部分だけを合成するこ とも出来ます。

#### ◎画像の選択について

被写体画像の選択は、画面下部の「画像セレクタ」より 行います。

①画面下部の「画像セレクタ」から、使用する画像の登 録されているアルバムボックスをプルダウンメニューか ら選択します。



②使用する画像の登録されているアルバムをクリックで 選択します。



③操作する画像のマス目をクリックで選択して下さい。



④被写体画像を選択した画像に切り替えます。

合成の操作中に[全画面]ボタンをク リックすると、「コントロールパレット」 と「画像セレクタ」を画面から隠します。 移動・拡縮・回転など、画像を操作す る範囲をなるべく広くしたい時には、こ のボタンをクリックして下さい。



なお、「コントロールパレット」と「画 像セレクタ | を再度表示する時には、「戻 る1ボタンをクリックして下さい。





参照ページのご案内

- ■セクション共涌操作(53ページ)
- ■合成セクションを使った具体的な操作例につきま しては、合わせて活用ガイドブック 32 ページをご覧 下さい。

成

# 装飾共涌操作

「装飾」では、画像にフレームやスタンプを付けたり、 文字を入力したり、画像に絵を描くことが出来ます。 ここでは、この装飾セクションを操作する中で共通し て利用できる操作をご案内します。

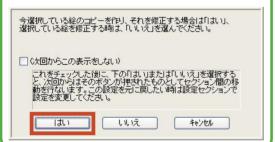


### セクション移動時の注意点

画像の加工・編集を目的としたセクションに移動 する際に、設定により下記メッセージが表示されま す。

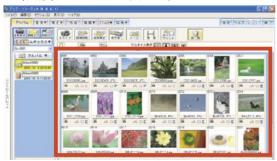
「デイジーコラージュ9」では、画像に操作を行う とその内容は自動的に上書きして保存します。

そのため、原画を残す場合には、下記メッセージ にて[はい]を選択し、コピー画像を作成して操作を 行うようにして下さい。



#### ◎各セクションへの移動

①アルバムサムネイル一覧から、操作を行うサムネイ ル(画像)をクリックして下さい。



②[装飾]ボタンをクリックして下さい。



③「セクション選択」画面が表示されます。 操作を行うセクションのボタンをクリックすると、

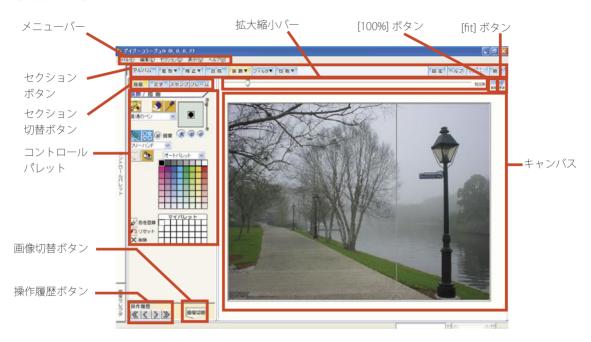
各セクションへ移動します。 WY NOT LET WY abc ARC



# 装飾 - 描画セクション

「描画セクション」は、簡単なペイントが行えるセクションです。手書きのメッセージやマークを描き込んだり、ハート型や星型などの枠線を描画することが出来ます。

#### ◎各項目の名称



#### ペン選択

ペンの種類を設定します。

① [ペン選択] ボタンをクリックして下さい。



②「ペン選択」ウインドウを表示します。使用するペンのボタンをクリックで選択して下さい。



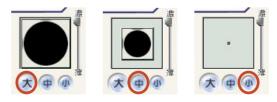
③ 使用するペンのボタンをクリックすると、このウインドウは自動的に閉じられます。

### ペン先の形状と色の濃さ

ペン先の形状と色の濃さを設定します。

◎ペン先の形状

それぞれのボタンをクリックすると、ペンの大きさを変更します。



中央のペン先を直接ドラッグすると、ペンの大きさと形 状が手動で調整できます。

装

飾

またこの時に、「SHIFT」キーを押 ■ さえながらドラッグすると、縦と 構の長さが同じ状態で大きさのみ を調整出来ます。



#### ◎色の濃さ

スライダーを上へドラッグすると色を濃く、下へドラッ グすると薄く描画します。





#### 色指定の切り換え

ペンの種類に縁取りペンを選択した際に、縁取りペンの 中心と縁の色の指定先を切り換えます。



①まずペンの中心の色を設定します。 [ぬり]ボタンをクリックして下さい。



②パレットから利用する 色をクリックで選択しま す。



③次にペンの縁の色を設定します。 [フチ]ボタンをクリックして下さい。



④パレットから利用する 色をクリックで選択しま す。



#### パレット

利用する色を選択するパレットは、3種類あります。こ の3種類のパレットの切り換えは、プルダウンメニュー で行います。



#### ◎オートパレット

64 色のパレットから利用する色のマス目をクリックし て、色を選択します。

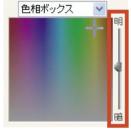


#### ◎色相ボックス

オーロラのように表示された色相から、利用する色の部分をクリックして色を選択します。明暗バーを調整することにより、同じ部分でも異なった色を設定することが出来ます。









#### ◎縁取りプリセット

ペンの種類で「縁取りペン」を設定された際に限り、用意されたフチとぬりの組み合わせの一覧から、ペン先の色を選択して設定することが出来ます。



①ペンの種類を「縁取りペン」 に設定して下さい。



②プルダウンメニューを使って、「縁取りプリセット」を選択して下さい。



③パレットが切り替りましたら、表示された一覧から使用するフチとぬりの組み合わせをクリックして選択して下さい。



#### マイパレット

ペン先の形状で表示している色を登録・管理します。スポイトで抽出した色や色相ボックスで作成した色を登録しておくと、次回にもその色を利用することが出来ます。



マイパレットへ現在設定している色を登録します。



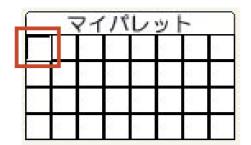
マイパレットへ登録されている色を全て削除して、最初の状態に戻します。



マイパレットで選択しているマス目の色のみを削除します。

装

①色を設定するマス目をクリックして選択します。



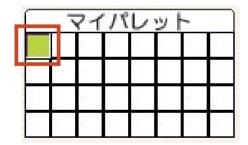
②スポイトまたは色相ボックスを操作して、ペン先の形状へ利用する色を設定します。



③ [色を登録] ボタンをクリックします。



④マイパレットに色が登録されます。



#### ルーラー及び領域選択と実行

ルーラー及び領域選択と指定先への操作を設定します。



ルーラーとは・・・

ハート型や星型など、特定の形を設定されたペンで自動的になぞっていく機能です。



フリーハンドでキャンバスの画像に直接 描画します。



利用するルーラーの種類を選択します。



キャンバスに設定した領域を破棄します。



設定したルーラーをペンでなぞるように、 選択したペンで描画します。



ルーラーで領域の選択が行われている場合には、その内側を塗りつぶします。領域の選択が行われていない場合には、選択している画像全体を塗りつぶします。



参照ページのご案内

- ■セクション共通操作 (53 ページ)
- ■付録

ペンの種類 (181 ページ)

金属ペンの種類 (182 ページ)

■描画セクションを使った具体的な操作例につきましては、合わせて活用ガイドブック 40 ページをご覧下さい。

# 装飾 - 文字セクション

「文字セクション」では、画像に文字や文章を入力することが出来ます。

#### ◎各項目の名称



#### 文字操作ボタン

文字の新規作成や設定後の変更、削除を決定します。



文字入力ボックスに設定した文章を キャンバスに反映します。



キャンバス上で選択している文字に対して、コントロールパレットで設定された変更内容を反映します。

装入制除

キャンバス上で選択している文字を削 除します。

#### 文字入力ボックス

設定する文字を入力します。

文字の入力中に ENTER キーを押すと、行を改行することが出来ます。

また「例文」項目で文章を選択すると、ここに選択された例文が表示されます。



「フォントを使用」項目にクリックでチェックマークを 付けておくと、「詳細設定」の「フォント」などを選択 した際に、随時その状態が反映されます。

**※**ひとつの文章へ入力できる文字数は、最大で「半角 512 文字」までです。

飾

# 装

#### 効果設定ビュー

詳細設定で設定した状態を反映します。

# abcABCあいう

#### 詳細設定

フォントの種類や角度、色など文字の詳細を設定します。

#### ◎フォント

プルダウンメニューを使って、使用するフォントの種類 を設定します。



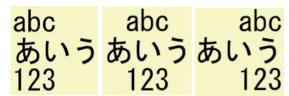
#### ◎例文

プルダウンメニューを使って、例文から使用する文章を 直接設定することが出来ます。



#### ◎行揃え

作成した文章の中の行揃えのパターンを設定します。



左揃え

中央揃え

右揃え

プルダウンメニューを使って、 行揃えのパターンの種類を設 定します。



#### ◎文字の向き

文章の向きを設定します。 最初にこの操作画面を表示し



ていただきますと「横書」に設定されています。「縦書」 を使用する場合には、「縦書」の左手に表示されている 「↓ I ボタンをクリックして下さい。

#### ○倍率

作成した文章の倍率(大きさ)を設定します。



エディットコントロール

スピンコントロール

半角数字で数値を設定す ることにより、効果を調 整します。

**[**▲]ボタン・**[**▼]ボタ ンを操作することによ り、効果を調整します。

#### ◎文字の太さ

文字の太さを設定します。 文字を「太字」に設定する場



合には、この項目の左手に表示されている「□」をクリッ クして、チェックマークを付けて下さい。

#### ◎文字の形状

文字の形状を設定します。

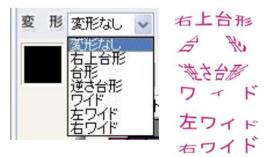
文字を「斜体」に設定する場□太字



合には、この項目の左手に表示されている「□」をクリッ クして、チェックマークを付けて下さい。

#### ◎文字の変形

文字の変形パターンを、プルダウンメニューからクリッ クで選択します。



#### ◎文字の角度

文字の角度を数値で指定します。



エディットコントロール

スピンコントロール

半角数字で数値を設定する ことにより、効果を調整し ます。

**「▲**] ボタン・**「▼**] ボタ ンを操作することによ り、効果を調整します。

#### 文字の色(ノーマル)

「ノーマル」タブをクリックした場合には、「単色」・「グラデーション」・

ノーマル

「テクスチャ」の3種類から文字色を設定することが出来ます。

## ◎文字色の設定

文字色を設定します。

#### 1. 単色の設定

①最初にこの操作画面を表示 した際には、「文字色」は「単色」 に設定されています。



②「文字色」が「単色」であることをご確認の上、「オートパレット」または「色相ボックス」から使用する色をクリックで選択して下さい。

#### 2. グラデーションの設定

①プルダウンメニューから「グ ラデーション」をクリックで 選択します。



②「グラデーション」では、四つのマス目の色を設定することにより、段々と色の変化する文字を作成できます。設定する場所のマス目をクリックして、選択状態にしてから「オートパレット」または「色相ボックス」から使用する色をそれぞれクリックで選択して下さい。



グラデーション

3. テクスチャの設定

飾

①プルダウンメニューから「テクスチャ」をクリックで 選択します。



②「テクスチャ」を選択すると、画面下部に「テクスチャ」の「画像セレクタ」が表示されます。表示された「画像セレクタ」から設定するテクスチャのマス目をクリックで選択して下さい。



#### ◎効果色の設定

効果色を設定します。

効果色は「背景」・「縁」・「影」の3種類から設定することが出来ます。

①最初にこの操作画面を表示した際には、「効果色」は「なし」に設定されています。

プルダウンメニューから使用する効果をクリックで選択して下さい。



②「オートパレット」または「色相ボックス」から使用する色をクリックで選択して下さい。

#### パレットと文字の濃度

パレットの切り換えと、色の選択及び文字の濃さの設定を行います。

利用する色を選択するパレットは、2種類あります。この2種類のパレットの切り換えは、プルダウンメニューで行います。



#### ◎オートパレット

64 色のパレットから利用する色のマス目をクリックして、色を選択します。



#### ◎色相ボックス

オーロラのように表示された色相から、利用する色の部分をクリックして色を選択します。明暗バーを調整することにより、同じ部分でも異なった色を設定することが出来ます。





#### ◎文字の濃度

パレットの左手のス ライダーを操作する と、文字の濃さを設 定することが出来ま す。



#### マイパレット

ペン先の形状で表示している色を登録・管理します。スポイトで抽出した色や色相ボックスで作成した色を登録しておくと、次回にもその色を利用することが出来ます。



マイパレットへ現在設定している色を登録します。

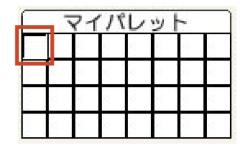


マイパレットへ登録されている色を全て削除して、最初の状態に戻します。



マイパレットで選択しているマス目の色のみを削除します。

①色を設定するマス目をクリックして選択します。



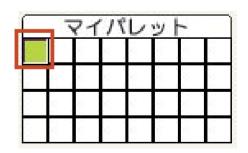
②スポイトまたは色相ボックスを操作 して、ペン先の形状へ利用する色を設 定します。



③ [色を登録] ボタンをクリックします。



④マイパレットに色が登録されます。



#### 文字の色(金属タイプ)

「金属タイプ」タブをクリックする と、「金」や「銀」などの金属調の立 体的な文字を入力することが出来ます。

金属タイプ



#### 金属タイプ文字の操作上のご注意

■旧バージョンで作成した金属文字について 旧バージョンで作成された金属文字につきまして は、金属パターンのみ再生することが出来ません。 このため、金属パターンにつきましては、再度設定 をし直して下さい。

#### ◎金属パレット

金属やガラスのような立体的な線を描くパターンの選択 を行います。



※それぞれのペンの描画イメージについては、巻末の「付録~金属ペンの種類 (198ページ)」をご覧下さい。

#### ◎濃度

文字の濃さを設定します。中央のツマミを左方向へ調整 すると文字を薄く、ツマミを右方向へ調整すると文字を 濃く表示します。



#### ◎エッジ幅

エッジ幅を設定します。中央のツマミを左方向へ調整するとエッジ幅を狭く、ツマミを右方向へ調整するとエッジ幅を広く表示します。

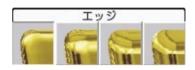
飾



#### ◎エッジ

上記「エッジ幅」の調整に加えて、立体的に見せる文字 の線の高さを4段階から選択して調整します。

このボタンは、左手から右方向へ段々と文字を描画した際に、文字の高さが高く、光の反射部分が大きくなります。





🕠 エッジとは・・・

文字の線の「フチ」のことです。 「エッジ幅」を調整されると、文字の線のフチの部分の広がりが変化します。



参照ページのご案内

- ■セクション共涌操作(53ページ)
- ■付録

ペンの種類 (181 ページ)

金属ペンの種類 (182ページ)

■文字セクションを使った具体的な操作例につきましては、合わせて活用ガイドブック 38 ページをご覧下さい。

#### 文字の操作について

既に設定した文字を変更したり、削除する操作をご案 内します。

#### ◎文字の変更

既に設定している文字を変更します。

①画面右手の画像上の文字の内、変更する文字をクリッ クして選択して下さい。



②文章を変更しない場合は、そのままの状態で次の操作 に進みます。

文章を変更する場合には、現在表示している文章を消 去してから、新たに文字入力ボックスへ設定する文章を 入力します。

またフォント・行揃えや文字の色を変更する場合にも ここで変更を行って下さい。



③すべての設定が終わりましたら、「変 更] ボタンをクリックして文字を変更 🌗 🗫 😎 🛡 して下さい。





複数の文字を作成する操作について

①既に文字入力ボックスに入力されている文章を消 去してから、新たに文字入力ボックスへ設定する文 章を入力します。

②フォント・行揃えや文字の色を設定します。

③すべての設定が終わりました ら、[新規]ボタンをクリックし 🗚 新 規 て文字を作成して下さい。



※文章は最大で「20」まで作成出来ます。

#### ◎文字の削除

文字を削除します。

①画面右手の画像上の文字の内、削除する文字をクリッ クして選択して下さい。



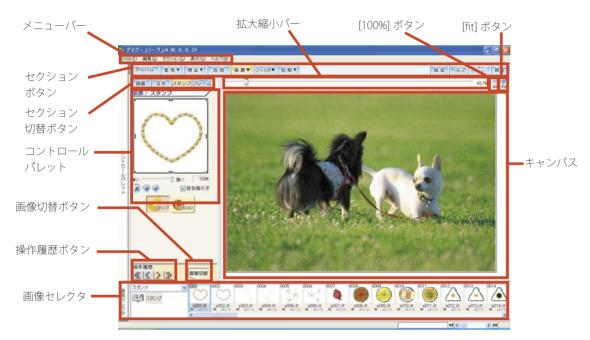
②[削除]ボタンをクリックして文字 を削除して下さい。



# 装飾 - スタンプセクション

「スタンプセクション」では、画像にイラスト素材などをスタンプのように貼り付けることが出来ます。

#### ◎各項目の名称



#### スタンプサイズエリアビュー

画像セレクタで選択したスタンプを表示します。

またドラッグで手動によるサイズ調整 を行います。

#### スタンプ選択

スタンプの種類を設定します。

◎スタンプ

①[スタンプ]ボタンをクリックして下さい。



②画面下部の「画像セレクタ」から、使用する素材をクリックで選択します。



※複数のアルバムを管理している場合には、使用する素材の登録されているアルバムをクリックして、素材を「画像セレクタ」に表示して下さい。



③スタンプサイズエリアビューに選択したスタンプが表示されます。

キャンバスの画像上でクリックをすると、スタンプが表示されます。



装

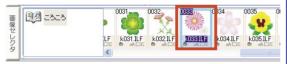
飾

#### $\bigcirc$

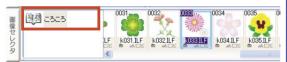
①[コロコロ]ボタンをクリックして下さい。



②画面下部の「画像セレクタ」から、使用する素材をク リックで選択します。



※複数のアルバムを管理している場合には、使用する素 材の登録されているアルバムをクリックして、素材を「画 像セレクタ」に表示して下さい。



③スタンプサイズエリアビューに選択 したスタンプが表示されます。

キャンバスの画像トでドラッグをす ると、スタンプが表示されます。





スタンプを消去する操作について

操作した「スタンプ」・「コ ロコロ | を消去するには、「操 作履歴 | の[アンドゥ]また は[全アンドゥ]を使って、



画像を操作する前の状態に戻して下さい。 なお、他のセクションへ移動すると、元に戻すこと はできなくなります。

#### 詳細設定

スタンプの濃さやサイズ、操作時の音の有無を設定しま す。

#### ◎スタンプのサイズ

それぞれのボタンをクリックすると、スタンプの大きさ を変更します。







中央のスタンプを直接ドラッグする と、スタンプの大きさが手動で調整で きます。

※なお、「コロコロ」のスタンプにつ きましては、縦長や横長など画像の比 率を崩すような調整は行えません。



#### ◎色の濃さ

スライダーを右へドラッグすると色を濃く、左へドラッ グすると薄く描画します。





#### ◎音を鳴らす

「スタンプ」操作時の音の有無を設定します。 この項目の左手に表示されている「ロ」をクリックして、 チェックマークを付けると「スタンプ」操作時に音が鳴 ります。





参照ページのご案内

- ■セクション共通操作 (53 ページ)
- ■スタンプ セクションを使った具体的な操作例に つきましては、合わせて活用ガイドブック 37 ページ をご覧下さい。

#### アルバムの画像をスタンプにする

スタンプとして予め登録されている素材以外に、アルバムに登録されている画像をスタンプとして利用することが出来ます。

①[スタンプ]ボタンをクリックして下さい。



②画面下部の「画像セレクタ」から、使用する素材の登録されているアルバムボックス及びアルバムをクリックして、素材を「画像セレクタ」に表示して下さい。



③設定するスタンプのマス目をクリックで選択して下さい。



④スタンプサイズエリアビューに選択したスタンプが表示されます。



#### 被写体の部分だけをスタンプとして利用する

アルバムに登録している画像をスタンプとして利用する際、被写体の部分だけを利用するには、予め「トリミングセクション」でその範囲をトリミングしておくと、その部分だけをスタンプとして利用することが出来ます。

①スタンプの操作を行う前に、予め「トリミングセクション」で、画像の被写体の部分だけをトリミングして下さい。

トリミングの操作が終わりましたら、「アルバムセクション」に戻り、スタンプを操作する画像を選択し直して、「スタンプセクション」へ移動します。



②画面下部の「画像セレクタ」から、使用する画像の登録されているアルバム ボックス及びアルバムをクリックして、素材を「画像セレクタ」に表示して下さい。



③設定するスタンプのマス目をクリックで選択して下さい。



④スタンプサイズエリアビューに選択したスタンプが表示されます。

「トリミングセクション」でトリミングを行うと、被写体の周りは白くなります。「スタンプセクション」では、白い部分は透明になります。





参照ページのご案内

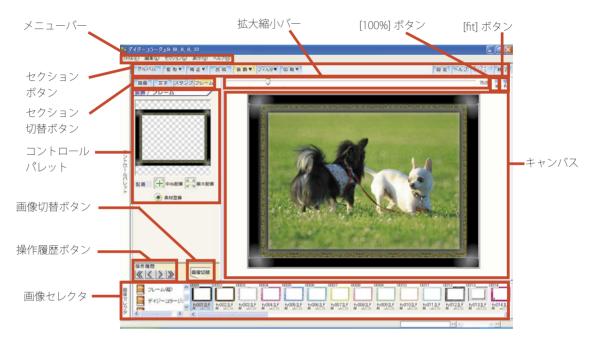
■トリミングの操作方法につきましては、「変形ートリミングセクション (63ページ)」をご覧下さい。

装

飾

「フレームセクション」では、画像にフレームを付けることが出来ます。

# ◎各項目の名称



# フレームビュー

画像セレクタで選択したフレームを表示します。



# フレーム選択

フレームの種類を設定します。

①画面下部の「画像セレクタ」から、使用する素材をク リックで選択します。



※複数のアルバムを管理している場合には、使用する素材の登録されているアルバムをクリックして、素材を「画像セレクタ」に表示して下さい。



②フレームビューに選択したフレームが表示されます。



# 配置

フレームに対する画像の配置を調整します。

# ◎中心配置

[中心配置]ボタンをクリックすると、画像をフレームの中心に配置します。

① [中心配置]ボタンをクリックします。



装

飾

# 110 装飾セクション

②画像がフレームの中心に配置されます。



# ◎最大配置

[最大配置]ボタンをクリックすると、画像をフレームの内側いっぱいに配置します。

①[最大配置]ボタンをクリックします。



②画像がフレームの内側いっぱいに配置されます。



◎ドラッグで画像の位置と大きさを調整する

キャンバス上の画像を直接ドラッグすると、手動で画像 の位置と大きさの調整が行えます。

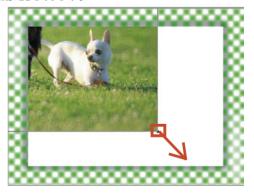
①画像の位置を調整します。

画像上にマウスポインタを合わせ、そこからマウスポインタを移動する位置までドラッグすると、画像の位置が調整出来ます。

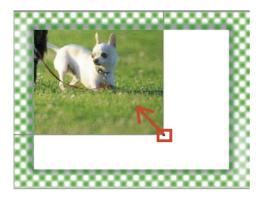


②画像の大きさを調整します。

画像の四つ角に表示されている「■」の内、何れかの「■」にマウスポインタを合わせ、画像を拡大する場合には、マウスポインタを画像の外方向にドラッグすると、画像を拡大します。



③画像を縮小する場合には、マウスポインタを画像の中 心に向かってドラッグすると、画像を縮小します。





# 画像の大きさを調整した場合

画像の大きさを操作した場合には、最後に[中心配置]ボタンをクリックすると、画像をフレームの中心に配置します。

画像によっては、最大配置を利用した際に画像とフレームの縦横の比率が異なるため、画像の上下左右に余白が生じる事があります。このような場合に、画像の大きさを手動で拡大してから中心配置の操作を行うと、余白が生じることなくフレームを配置することが出来ます。



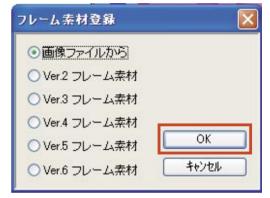
### 素材登録

任意の画像や旧バージョンの「デイジーコラージュ (バージョン 2,3,4,5,6)」のフレームを「デイジーコラー ジュ 9 | へ登録します。

- ◎画像ファイルから
- ①[素材登録]ボタンをクリックします。



②「フレーム素材登録」ウインドウが表示されます。「画像ファイルから」項目の左手の「○」に「・」の付いた選択状態であること確認の上、[OK] ボタンをクリックして下さい。



③「ファイルを開く」ウインドウが表示されます。「ファイルの場所」項目に使用する画像の保存されている場所を、プルダウンメニューから指定して下さい。



④「ファイル場所」項目の下に保存されているファイル の一覧が表示されますので、この中から使用する画像の ファイル名をクリックで選択して下さい。



⑤プレビューに選択した画像のイメージが表示されま す。プレビューを確認の上、「開く」ボタンをクリック して下さい。



⑥「透明色設定ダイアログ」ウインドウが表示されます。 「透過色設定」項目から、選択した画像の透明にしたい 部分の色を確認の+、何れかの項目の $「<math>\bigcirc$ 」をクリック して「・」を付け、「OKI ボタンをクリックして下さい。



(7)確認メッセージが表示されます。メッセージの内容を 確認の上、「はい」ボタンをクリックして下さい。



⑥追加されたフレームは、「登録素材」アルバムへ登録 されます。





写真をフレームにする

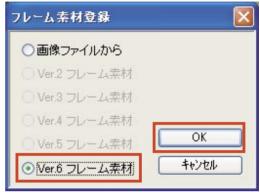
自然画像(デジタルカメラで撮影した画像など)は、 沢山の色で画像が表現されているため、フレームに はあまり向いていません。

このため、自然画像をフレームとして利用する場合 には、予め透明にしたい部分を白や黒などの単色に 「描画セクション」で塗りつぶしてからご利用下さい。

- ◎旧バージョンの素材から
- ① [素材登録]ボタンをクリックします。



- ②「フレーム素材登録」ウインドウが表示されます。使 用する製品のバージョン名の左手の「○」に
- 「・」の付いた選択状態であること確認のト、[OK] ボタ ンをクリックして下さい。



③「ファイルを開く」ウインドウが表示されます。選択 した旧バージョンのフレーム素材の一覧が表示されます ので、この中から使用する画像のファイル名をクリック で選択して下さい。



④プレビューに選択した画像のイメージが表示されま す。プレビューを確認の上、[開く]ボタンをクリック して下さい。



飾

⑦確認メッセージが表示されます。メッセージの内容を確認の上、[はい] ボタンをクリックして下さい。



⑥追加されたフレームは、「登録素材」アルバムへ登録 されます。





# 参照ページのご案内

- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■フレーム セクションを使った具体的な操作例に つきましては、合わせて活用ガイドブック 37 ページ をご覧下さい。

# フィルタ共通操作

「フィルタ セクション」では、30 種類のフィルタを 利用できます。

ここでは、この 30 種類のフィルタを操作する中で共 通して利用できる操作をご案内します。

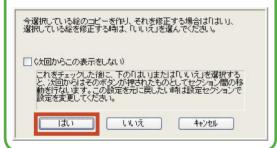


# セクション移動時の注意点

画像の加工・編集を目的としたセクションに移動する際に、設定により下記メッセージが表示されます。

「デイジーコラージュ 9」では、画像に操作を行う とその内容は自動的に上書きして保存します。

そのため、原画を残す場合には、下記メッセージにて[はい]を選択し、コピー画像を作成して操作を行うようにして下さい。



# ◎各セクションへの移動

①アルバムサムネイル一覧から、操作を行うサムネイル(画像)をクリックして下さい。



②[フィルタ]ボタンをクリックして下さい。

フィルタ▼

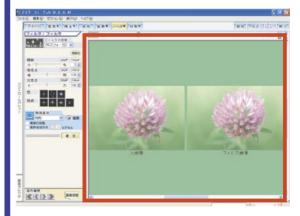
③「セクション選択」画面が表示されます。

操作を行うセクションのボタンをクリックすると、 各セクションへ移動します。



④選択したセクションへ移動します。

各フィルタ セクションへ移動した直後は、ここで 操作した画像の状態を比較できるよう、「元画像」と「補 正画像」が並んで表示されます。



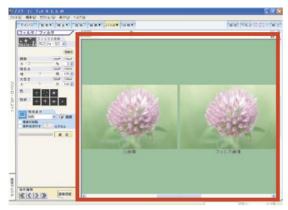
# ◎キャンバス

「補正」の各セクションでは、元画像と編集画像を比較 しながら操作を行う「並列モード」と、編集画像のみを 表示して操作を行う「1枚モード」があります。

# ◎並列干ード



「並列モード」の際には、「1枚モード」 への切り替えボタンが表示されます。



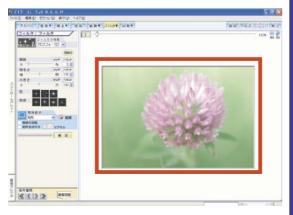
※なお、「並列モード」では、拡大縮小バー・[100%] ボタン・ [fit] ボタンは利用できません。

また、「並列モード」の状態では、領域選択は行えません。 領域選択を操作する際には、「1枚モード」に切り替えて 下さい。

# ◎1枚モード



「1枚モード」の際には、「並列モード」 への切り替えボタンが表示されます。



# ◎ [初期化] ボタン

[初期化]ボタンをクリックすると、設定して 初期化 いる全てのパラメータの補正値を、設定前の 状態に戻します。



# ◎パラメータ

「フィルタ」の殆どのセクションにパラメータが装備さ れており、このパラメータを操作することによって、よ り細かなフィルタの効果を設定することが出来ます。

スライダー 「マルチ」ボタン 「リセット」ボタン



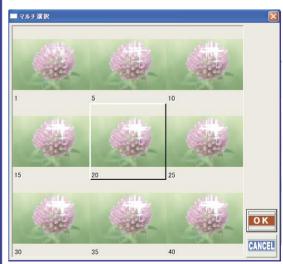
# ・スライダー

中央のツマミを左右にドラッグすることにより、効果を 調整します。

# ・[マルチ]ボタン

選択したパラメータから計算した9つのパターンを表示 する「マルチ選択」ウインドウを起動します。

表示されたパターンから、お好みの状態をクリックで選 択することが出来ます。パターン選択後、[OK] ボタンを クリックすると、選択したパターンを設定します。



- 「リセット」ボタン
- スライダー・エディットコントロール・スピンコントロールを操作する前の状態に設定を戻します。
- ・エディットコントロール
  - 半角数字で数値を設定することにより、効果を調整します。
  - ・スピンコントロール
  - [ $\blacktriangle$ ] ボタン・[ $\blacktriangledown$ ] ボタンを操作することにより、効果を調整します。

# ◎フィルタの確定

パラメータの調整を行うと、随時キャンバス上のフィル タ画像に設定した内容が反映されます。

表示された状態を確定するには、[確定]ボタンをクリックして下さい。

①各パラメータを調整すると、設定された内容をフィル タ画像に効果を反映します。

このとき、処理の進行状態がプログレスバーに表示されます。

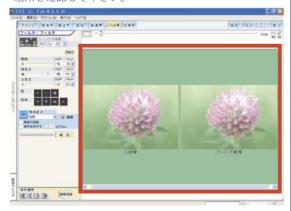


# プログレスバー

確定した処理の進捗状態を表示します。

※効果の反映には、設定したフィルタの内容や編集画像の大きさにより時間の掛かることがあります。

②キャンバス上のフィルタ画像にて、設定された内容の 結果を確認して下さい。



③表示されたフィルタの状態 を確定するには、[確定]ボタ ンをクリックして下さい。





# 参照ページのご案内

- ■セクション共通操作(53ページ)
- それぞれのフィルタ イメージについては、巻末 の「付録~フィルタの種類 (183 ページ)」をご覧下さい。
- ■フィルタ セクションを使った具体的な操作例を一部活用ガイドブックに掲載しています。合わせて活用ガイドブック 41 ページをご覧下さい。

# フィルタ ー フィルターセクション

「フィルタセクション」では、画像にモザイクを掛けたり、画像を金属調に変化するなど、画像に様々な効果を掛けることが出来ます。

# フィルタの種類

フィルタの種類を設定します。

①[フィルタ選択] ボタンをクリックして下さい。 この[フィルタ選択] ボタンは、最初に「フィルタセクション」へ移動した時には、[メタル] ボタンの状態で表示されています。



②「フィルタ選択」ウインドウを表示します。使用するフィルタのボタンをクリックで選択して下さい。使用するフィルタをクリックすると、このウインドウは自動的に閉じられます。

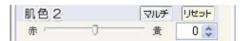




一発美人 - 肌荒れやクスミなどを補正します。



美白・小麦肌を設定します。中央のツマミを左方向[美白]へ調整すると肌をより白く、ツマミを右方向[小麦]へ調整すると日焼けしたようにします。



肌の色合いを設定します。中央のツマミを左方向[赤] へ調整すると赤みを強調し、ツマミを右方向[黄]へ調 整すると赤みを抑えます。



画像をぼかすように効果を掛けて、肌のキメを設定します。中央のツマミを左方向[普通]へ調整するとぼかしの度合いを押さえ、ツマミを右方向[繊細]へ調整する

とぼかしの度合いを強くします。

なお、このパラメータについては、最初の設定の状態で「25」の効果が設定されています。「肌色 1」及び「肌色 2」の効果だけを使用する際には、「肌のキメ」を抑えるよう、補正値を小さく設定して下さい。



手ぶれ

画像に手ぶれ効果を掛けます。



ピンク色の▼をドラッグすることで、効果の方向と度合いを調整します。▼を短くすると度合いを弱く、▼を長くすると度合いを強くします。

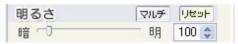


クロスフォーカス

画像に星型のキラメキを散りばめます。



キラメキの個数を設定します。中央のツマミを左方向 [少]へ調整するとキラメキを少なく、ツマミを右方向 [多]へ調整するとキラメキを多く散りばめます。



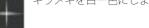
キラメキの明るさを設定します。中央のツマミを左方向 [暗]へ調整するとキラメキを暗く、ツマミを右方向[明] へ調整するとキラメキを明るくします。

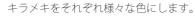


キラメキの大きさを設定します。中央のツマミを左方向 [小]へ調整するとキラメキを小さく、ツマミを右方向 [大]へ調整するとキラメキを大きくします。 〇色



キラメキを白一色にします。







ひとつのキラメキを様々な色にします。

◎形状



キラメキを十字に放射します。



キラメキを6方向に放射します。



キラメキを8方向に放射します。



キラメキを斜め十字に放射します。



ソフトフォーカス 画像にやわらかな効果を掛けます。

広がり		マルチ	リセット
大	-0	— 小	0 \$

効果の広がりを設定します。中央のツマミを左方向[大] へ調整すると広がりを大きく、ツマミを右方向[小]へ 調整すると広がりを小さくします。

強さ		マルチ	リセット
33 -	0	強	85 \$

効果の強さを設定します。中央のツマミを左方向[弱] へ調整すると弱く、ツマミを右方向[強]へ調整すると 強く効果を掛けます。

### ◎形狀



全体的に広がりを持たせます。



輪郭を残すようにします。



被写体にキラメキを付けるように効果を付加します。



# 七色強調

画像の中の7色の要素の強弱を設定します。

(R) レッド	マルチ	リセット
33 - O	強	5 💠
(O) オレンジ	マルチ	Uteat
33 O	強	0 \$
(Y) イエロー	マルチ	Uteah
33 O	強	0 \$
(G) グリーン	マルチ	Utest
33 - 0	強	5 \$
(C) シアン	マルチ	リセット
33 0	強	5 \$
(B) 570-	マルチ	Utal
33 - O	強	5 \$
(M) マゼンタ	マルチ	Utest
<u>33</u>	強	5 \$

中央のツマミを左方向[弱]へ調整すると操作した色の要素を弱く、ツマミを右方向[強]へ調整するとそれぞれの色の要素を強調します。



### レリーフ

画像を下地にして鉄板に加工を施した工芸品のようにします。



### 陰影

被写体の輪郭に影を付けて、凹凸のあ る画像にします。



# 輪郭線

被写体の輪郭線を抽出します。



#### デッサン

被写体の輪郭線を抽出して、デッサン 画のようにします。



# メタル

被写体の輪郭線を抽出して、金属板に 転写したようにします。



イルタ

金属板の色を設定します。スライダーの上のカラーバー のそれぞれの色の範囲へ中央のツマミの位置を調整する と金属板の色をツマミの位置の色に変換します。

### ◎金属の種類



金

画像を黄金の板へ転写したようにします。



泿

画像を銀板へ転写したようにします。



銅

画像を銅板へ転写したようにします。



真鍮

画像を真鍮の板へ転写したようにします。



セピア

画像を古い写真のように、セピア調にします。



セピア調の色を設定します。スライダーの上のカラー バーのそれぞれの色の範囲へ中央のツマミの位置を調整 するとセピア調の色をツマミの位置の色に変換します。



ソラリゼーション

画像にソラリゼーションの効果を掛けます。



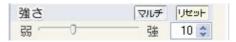
ソラリゼーションとは・・・

写真の世界で一般的に使われている効果の一つです。写真を印画紙に焼き付ける際に、印画紙に光を当てる特殊効果です。



拡散

画像を砂絵のように、無数の粒を吹き付けたようにします。



効果の強さを設定します。中央のツマミを左方向[弱] へ調整すると弱く、ツマミを右方向[強]へ調整すると 強く効果を掛けます。



波紋

水面に小石を投じた時に発生する波紋のように、画像を歪めます。



放射

画像の中心から外に向かって、放射線 状に画像を歪めます。



ネガポジ反転

画像の色を反転して、写真のネガフィルムのようにします。



モノクロ

画像をモノクロ写真のようにします。



モザイク

画像に干ザイクの効果を掛けます。

粗さ	マルチ	リセット
密一	粗	10 💠

モザイクのキメの粗さを設定します。中央のツマミを左方向[密]へ調整するとモザイクのキメを密に、ツマミを右方向[粗]へ調整するとモザイクのキメを粗くして効果を掛けます。



ノイズ付加

画像にノイズを乗せます。

強さ	マルチ	リセット
33 O	強	1 \$

効果の強さを設定します。中央のツマミを左方向[弱] へ調整すると弱く、ツマミを右方向[強]へ調整すると 強く効果を掛けます。



ノンズ

画像の上からレンズで覗いたように、画像を歪めます。



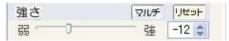
ポスター

画像に使用されている色数を減らして、ポスター調にします。



シャープ/ぼかし

画像の輪郭をぼかしたり、反対に輪郭をくっきりと浮かび上がらせたりします。

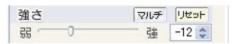


効果の強さを設定します。中央のツマミを左方向[弱] へ調整するとぼかし、ツマミを右方向[強]へ調整する とシャープになります。



スリム

画像をほっそりとスリムにしたり、反対にふっくらとしたりします。



効果の強さを設定します。中央のツマミを左方向[弱] へ調整すると画像をスリムに、ツマミを右方向[強]へ 調整すると画像をふっくらとさせます。



水面

水面を風が撫でたように、画像を歪めます。



絵画調

印象派の油絵のように、画像を加工します。



絵筆の描画する線の長さを設定します。中央のツマミを 左方向[短]へ調整すると線を短く、ツマミを右方向[長] へ調整すると線を長くして描画します。

太さ	マルチ	リセット
新田 Ū	太	1 0

総筆の太さを設定します。中央のツマミを左方向[細] へ調整すると線を細く、ツマミを右方向[太]へ調整すると線を太くして描画します。

描画方向		
□右下斜め	□右上斜め	
□水平	□垂直	

絵筆で描画する方向を設定します。「右下斜め」・「右上斜め」・「水平」・「垂直」の内、何れかの「□」をクリックしてチェックマークを付けると、チェックマークを付けた方向から描画します。

優先タッチ		
○右下斜め	<ul><li>右上斜め</li></ul>	
○水平	○垂直	○なし

上記「描画方向」はひとつだけでなく、「右下斜め」と「水平」などのように、複数の「描画方向」を組み合わせて使用することが出来ます。この際に選択した「描画方向」の中で優先したい「描画方向」を指定します。

「右下斜め」・「右上斜め」・「水平」・「垂直」及び「なし」の内、何れかの「〇」をクリックして「・」を付けると、「・」を付けた「描画方向」の優先、または優先の指定のない 状態を設定します。



ステンドグラス

ステンドグラスのように、画像を加工します。

大きさ		マルチ	Utent
小一	-0-	一大	100 \$

組み合わせるガラスの 1 枚当りの大きさを設定します。 中央のツマミを左方向 [小] へ調整するとガラスを小さ く、ツマミを右方向 [大] へ調整するとガラスを大きく します。

太さ	マルチ	Utent
希田 □	太	1 0

ガラスとガラスを結合する縁の太さを設定します。中央のツマミを左方向[細]へ調整すると縁を細く、ツマミを右方向[太]へ調整すると縁を太くして描画します。

明るさ	マルチ	リセット
暗	- 8月	0 \$

ガラスを通した光の明るさを設定します。中央のツマミを左方向[暗]へ調整すると暗く、ツマミを右方向[明]へ調整すると明るくします。

# ◎縁の色



# 透明

ガラスとガラスを結合する縁の色を透明にします。



黒

ガラスとガラスを結合する縁の色を黒くします。



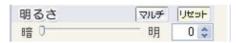
É

ガラスとガラスを結合する縁の色を白くします。



レンズフレア

画像の左上角から右下角に向かって、 光の球体を浮かべます。



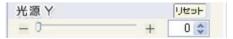
球体の明るさを設定します。中央のツマミを左方向[暗] へ調整すると球体を暗く、ツマミを右方向[明]へ調整 すると球体を明るくします。



球体から発する光の幅の強さを設定します。中央のツマミを左方向[弱]へ調整すると光を弱く、ツマミを右方向[強]へ調整すると光の強くします。



照射する光源の横の位置を設定します。中央のツマミを 左方向[-]へ調整すると光を左端に、ツマミを右方向 [+]へ調整すると光を右端に照射します。



照射する光源の縦の位置を設定します。中央のツマミを 左方向[-]へ調整すると光を上端に、ツマミを右方向 [+]へ調整すると光を下端に照射します。

#### ◎種類



赤系

球体から発する光の色を赤くします。



#### 青系

球体から発する光の色を青くします。



120

水面に雨粒が落ちたときに発生する波 紋のように、画像を歪めます。



雨粒の個数を設定します。中央のツマミを左方向[少] へ調整すると雨粒を少なくして、雨の降りはじめのよう に、ツマミを右方向[多]へ調整すると雨粒を多くして、 土砂降りのようにします。



照明

画像に光を照射します。



照射する光の角度を設定します。

中央のツマミを左方向[-]へ調整すると光を斜めの角度から、ツマミを右方向[+]へ調整すると光を真上から照射したようにします。



照射される光の強さを設定します。中央のツマミを左方向[弱]へ調整すると光を弱く、ツマミを右方向[強]へ調整すると光を強く照射します。



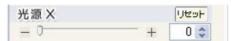
照射される光の柔らかさを設定します。中央のツマミを 左方向[弱]へ調整すると光が柔らかく照射されるため、 照射される範囲が広くなり、反対にツマミを右方向[強] へ調整すると光を強く照射されるため、照射される範囲 が一点に集中するようになります。



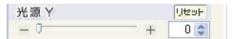
照射される光の横の位置を設定します。中央のツマミを 左方向[-]へ調整すると光を左端に、ツマミを右方向 [+]へ調整すると光を右端に照射します。



照射される光の縦の位置を設定します。中央のツマミを 左方向[-]へ調整すると光を上端に、ツマミを右方向 [+]へ調整すると光を下端に照射します。



照射する光源の横の位置を設定します。中央のツマミを 左方向[-]へ調整すると光を左端に、ツマミを右方向 [+]へ調整すると光を右端に照射します。



照射する光源の縦の位置を設定します。中央のツマミを 左方向[-]へ調整すると光を上端に、ツマミを右方向 [+]へ調整すると光を下端に照射します。



照射する光源からの光の量を設定します。中央のツマミを左方向[-]へ調整すると光を少量、ツマミを右方向[+]へ調整すると光を多量に照射します。



# 正方分解

画像を心太のように、格子から押し出 すように加工します。



分解する正方形の個数を設定します。中央のツマミを左方向[少]へ調整すると分解の数を少なく、ツマミを右方向[多]へ調整すると分解の数を多くします。



格子から押し出された画像のばらつき設定します。中央のツマミを左方向[弱]へ調整するとばらつきを抑え、ツマミを右方向[強]へ調整すると乱雑にします。

# ◎境界線の色



# 透明

押し出された画像と画像の隙間の色を透明にします。



#### 黒

押し出された画像と画像の隙間の色を黒くします。



#### $\stackrel{\leftarrow}{=}$

押し出された画像と画像の隙間の色を白くします。

なお、それぞれのフィルタのイメージについては、巻末の「付録~フィルタの種類(200ページ)」をご覧下さい。



# プルダウンメニューから選択する

「デイジーコラージュ 9」では、フィルタの種類をプルダウンメニューから選択することも出来ます。 また「フィルタ選択」ウインドウからフィルタの種類を選択した際にも、ここに選択したフィルタの種類を表示します。



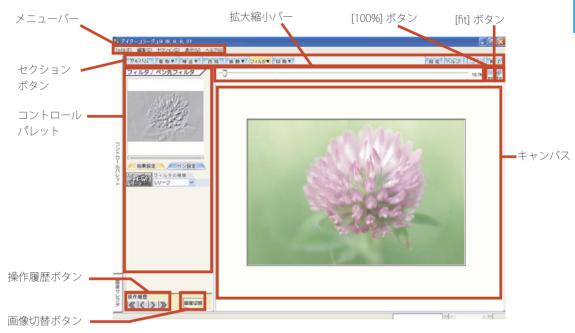


# 参照ページのご案内

- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■フィルタ共通操作 [初期化]ボタン (115 ページ) パラメータ (115 ページ) [マルチ]ボタン (115 ページ) [リセット]ボタン (116 ページ) フィルタの確定 (116 ページ)

「ペン先フィルタ セクション」では、ペンでフィルタを掛けたい部分をドラッグすることにより、部分的なフィルタ 加工を実行することが出来ます。

# ◎各項目の名称(効果設定)



# 効果設定

# プレビュー

効果設定で設定した内容を表示します。



### 設定の切り替え

効果設定とペン設定の操作表示を切り替えます。



[効果設定]ボタンをクリックすると、「効果設定」画面 に切り替わります。

# ◎キャンバス

選択した画像を表示します。



# 参照ページのご案内

- ■セクション共通操作 (53 ページ)
- ■フィルタ共诵操作

[初期化]ボタン(115ページ)

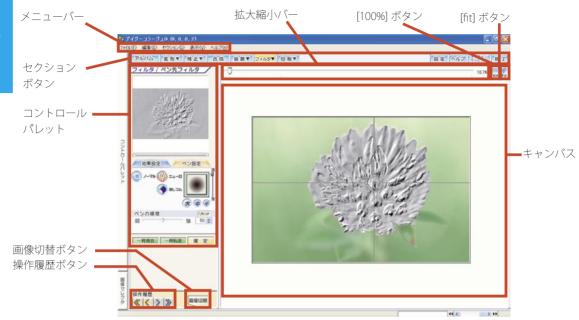
パラメータ (115ページ)

[マルチ]ボタン(115ページ)

[リセット]ボタン(116ページ)

■ それぞれのフィルタ イメージについては、巻末 の「付録~フィルタの種類 (183ページ)」をご覧下 さい。

# ◎各項目の名称(ペン設定)



# ペン設定

# プレビュー

効果設定で設定した内容を表示します。



# 設定の切り替え

効果設定とペン設定の操作表示を切り替えます。



[ペン設定]ボタンをクリックすると、「ペン設定」画面に切り替わります。

### ペン設定

# プレビュー

効果設定で設定した内容を表示します。



# 設定の切り替え

効果設定とペン設定の操作表示を切り替えます。



[ペン設定]ボタンをクリックすると、「ペン設定」画面に切り替わります。

# ペン設定

ペンの種類・形状及びフィルタを掛ける範囲を認識する 感度を設定します。

### ◎ペンの種類

ペンの種類を設定します。



ペン先フィルタの操作を開始した際に、範囲を判別することなく、ドラッグされた範囲へフィルタを 反映します。



ペン先フィルタの操作を開始した際に、ペン先の円が配置されていた範囲をプログラムが判別し、その範囲だけにフィルタを反映します。



ペン先フィルタの操作でフィルタを反映した範囲を元の状態に戻します。

◎ペンの大きさ

それぞれのボタンをクリックすると、ペンの大きさを変 更します。



中央のペン先を直接ドラッグすると、ペンの大きさと形 状が手動で調整できます。

またこの時に、「SHIFT」キーを押さえながらドラッグすると、縦と横の長さが同じ状態で大きさのみを調整出来ます。



## ◎色の濃さ

スライダーを上へドラッグすると色を濃く、下へドラッグすると薄く効果を反映します。





## ◎ペンの感度

ペンの種類で「ニューロペン」を選択した際に、コピー元の円の配置されている範囲を判別する感度を設定します。



中央のツマミを左方向[弱]へ調整すると感度が弱まり、 範囲の判別が甘くなります。反対にツマミを右方向[強] へ調整すると感度が強まり、範囲の判別が厳しくなりま す。

# 操作ボタン

一発消去、一発転送及びキャンバス上で行った操作の内容の確定を行います。

# 一発消去

キャンバス上で行った操作を全て消去し ます。

# 一発転送

「効果設定」画面で設定した内容を画像 全体に反映します。

# ◎キャンバス

選択した画像を表示します。



# 参照ページのご案内

- ■セクション共通操作 (53 ページ)
- ■補正共通操作 パラメータ (115 ページ) [リセット] ボタン (116 ページ) フィルタの確定 (116 ページ)
- ■ペン先フィルタ セクションを使った具体的な操作例につきましては、合わせて活用ガイドブック 43ページをご覧下さい。

# 印刷共通操作

「印刷」では、12種類のセクションを利用できます。

ここでは、この 12 種類のセクションを操作する中で共通して利用できる操作をご案内します。

# 各印刷セクションへの移動方法について

① [印刷] ボタンをクリックして下さい。

印刷▼

②「セクション選択」画面が表示されます。

操作するセクションのボタンをクリックすると、選択したセクションへ移動します。



# ◎プリンタの設定

はじめて印刷系のセクションを表示した際には、現在 Windows で設定されているプリンタの設定がそのまま 反映されます。

操作する印刷パターンに合わせて、それぞれのセクションでプリンタの設定を変更して下さい。

# a. プリンタ名

プルダウンメニューを使って、使用するプリンタを設定します。



#### b. 用紙サイズ

プルダウンメニューを使って、使用する用紙サイズを設定します。なお、設定できる用紙サイズは a. で設定したプリンタで指定できる用紙サイズに限ります。



# c. 給紙方法

プルダウンメニューを使って、使用するプリンタへの給 紙方法を設定します。

# **給紙方法** 自動 💌

#### d. 用紙の種類

プルダウンメニューを使って、使用する用紙の種類を設 定します。

※で使用のプリンタによりましては、ここから直接設定 を行うことが出来ない場合があります。

その場合には、[印刷設定]ボタンから、プリンタのプロパティを起動して、設定を行って下さい。



### e. 印刷枚数

印刷枚数を設定します。



# f.[ 印刷設定 ] ボタン

a.~e.以外の用紙の種類などを行う場合には、[印刷設定]ボタンをクリックすると、ご利用のプリンタのプロパティが表示されますので、ここから詳



細な設定を行って下さい。 ※プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧下さい。



### 印刷の向きについての注意点

「インデックス印刷」、「専用フォト印刷」、「専用紙印刷」、「名刺印刷」で市販されている専用紙を使用する際に、横長の画像を設定する場合には、自動的に画像が90度回転して配置されるため、印刷の向きは縦方向のまま変更せずにご利用下さい。

**※**「はがき印刷」でメーカー用紙を使用する場合にも同様です。

# ◎プリンタ パラメータ

プリンタの印刷に掛かる「解像度」及び「品質」を、パ ラメータで設定します。

#### a 解像度

プリンタの印刷解像度を設定します。中央のツマミを左 方向[解像度:低]へ調整すると解像度が低くなります。 反対に、ツマミを右方向[解像度:高]へ調整すると解 像度が高くなるため、画像の密度が上がり、より精彩に 印刷されますが、処理時間が増加します。

#### 解像度 低 高

#### b. 品質

プリンタの印刷品質を設定します。中央のツマミを左方 向[品質:速]へ調整すると印刷の処理時間がはやくな ります。反対に、ツマミを右方向[品質:きれい]へ調 整すると印刷の処理時間は増加しますが、よりきれいに 印刷されます。

#### 品質 谏 きれ()

# ○印刷配置

設定された用紙の印刷可能領域に対して、自動的に画像 の配置を設定します。

# a.[内接]ボタン

[内接]ボタンをクリックすると、設 定されている印刷範囲に対して、画像 を内接に配置します。



# b.[外接] ボタン

[外接]ボタンをクリックすると、設定 されている印刷範囲に対して、画像を 外接に配置します。



# c.[中心] ボタン

[中心]ボタンをクリックすると、設定 されている印刷範囲に対して、画像の 大きさは変更せずに、画像の位置だけ を印刷範囲の中心へ配置します。



※なお、「中心」配置につきましては、セクションにより、 設定項目としてご案内していない場合があります。

# ◎印刷実行

印刷を実行します。

## a.[ 印刷開始] ボタン

設定された内容を元に、選択されている画 像を全て印刷します。



※「状態」項目へ「印刷中」までの表示が されている最中に、「印刷中止」ボタンをク リックすると、印刷を中止します。



狀態

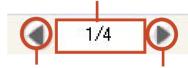
印刷物期化中...

# ◎複数ページに掛かる操作

印刷するページが複数にわたる場合には、以下の設定が 行えます。

# a.ページ切り替え

複数の画像を選択した際に、キャンバスの印刷プレ ビューを、それぞれの印刷プレビューに切り換えます。 現在プレビューに表示されているページ数と、操作を 行っている総ページ数を表示します。



クリックすると、現在表 ページを表示します。

クリックすると、現在表 示されているページの前の 示されているページの次の ページを表示します。

# b.[ページ印刷] ボタン

[ページ印刷] ボタンをクリックすると、 複数の画像を選択している場合、現在キャ ンバスの印刷プレビューに表示されている 画像のみを印刷することが出来ます。



刷

# モード共通操作

「デイジーコラージュ9」の「レイアウト印刷セクション」・「CD レーベル印刷セクション」・「はがき印刷セクション」・「名刺印刷セクション」・「カレンダー印刷セクション」では、「管理」、「編集」及び「印刷」の3つのモードを使って、操作を行います。ここでは、このモードを操作する中で共通して利用できる操作をご案内します。

# 「管理モード」の共通操作

それぞれのセクションのテンプレートを管理します。

# ◎モード切り替えボタン

ボタンをクリックすると、それぞれのモード画面に移動します。[管理]ボタンをクリックすると、「管理モード」へ移動します。

刷



# ◎操作ボタン

各ボタンをクリックすると、それぞれの操作を実行しま す。

# a.[ 新規] ボタン

テンプレートを新規に作成します。



# b.[決定] ボタン

編集モードで操作するテンプレートを決定します。



テンプレート一覧で操作するテンプレートを選択してから、[決定]ボタンをクリックすると、編集モード画面に移動し、選択したテンプレートの編集が行えます。

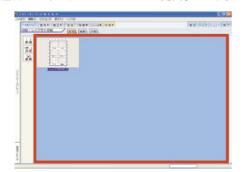
# c. 削除

テンプレート一覧で削除するテンプレートを選択してから、[削除]ボタンをクリックすると、選択したテンプレートを削除します。



# ◎テンプレート一覧

現在管理しているテンプレートを一覧表示します。



# 「編集モード」の共诵操作

選択されたテンプレート上の画像や文字などを編集しま す。

### ◎干ード切り替えボタン

ボタンをクリックすると、それぞれのモード画面に移動します。操作を行うテンプレートが選択されている状態で、[編集]ボタンをクリックすると、「編集モード」へ移動します。



#### ◎管理メニュー

画像の挿入や文字の追加など、コマの管理を行います。

# a.[ 画像挿入 ] ボタン

テンプレートへ画像を挿 入します。



[画像挿入] ボタンを クリックすると、「選 択」ウインドウが表 示されます。

表示された「選択」 ウインドウから、挿 入する画像をクリッ クで選択して、[OK]



ボタンをクリックすると、テンプレートに画像が挿入されます。

## b.[ 文字挿入 ] ボタン

テンプレートへ文字を挿 入します。

# **台**文字挿入

[文字挿入]ボタンをクリックすると、キャンバス上に「文字列を入力して下さい」という文章が表示されます。 操作メニューの文字操作メニューから、この文章を変更 してご利用下さい。

刷

b.[OR コード挿入] ボタン テンプレートへORコー ドを挿入します。

# 33 QR⊐=ド挿入

「OR コード挿入 1 ボタンをクリックすると、「OR コード の設定」ウインドウが表示されます。

使用する項目を設定して、[作成]ボタンをクリック すると、ORコードがキャンバストに追加されます。

キャンバス内の QR コードを囲んでいる枠内にマウ スポインタを合わせてドラッグすると、ORコードの位 置が調整出来ます。また、この枠の角にある「■」に マウスポインタを合わせてドラッグすると、QRコード の大きさが調整出来ます。





QRコードの文字について

文字の入力は、半角英数字で行って下さい。 QRコード挿入でご利用いただける文字数は、総 文字数で100文字までです。

# d.[ 複写] ボタン

キャンバス上で選択されているコマのコ ピーを作成します。



e.[削除] ボタン

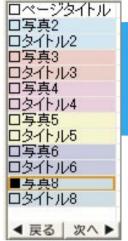
キャンバス上で選択されているコマを削除 します。



f. 管理マネージャー

現在設定されているコマを一 覧表示します。

一つのコマは、画像と画像情 報のグループで構成されてい ます。グループになっている 項目は、それぞれグループで とに同じ色で表示されます。 テンプレートトで表示されて いるコマの順番は、この「管 理マネージャー」と連動して おり、上段の項目ほどテンプ レートトの前面に配置されて います。



現在選択されている項目については、「■写真8」のよ うに、項目名の左手の「ロ」が黒く表示されます。

「レイアウト印刷セクション」で操作する「ページタイ トル」や「文字挿入」ボタンから挿入された文章は、文 字の項目のみとなるため、一つの項目のみで表示されま す。

なお、グループにすると、グループの色に変更されます。 [戻る]または[次へ]ボタンをクリックすると、その項 目名の上段または下段の項目が選択状態に変わります。

# a.[ グループ設定 ] ボタン

キャンバス上で複数のコマ を選択して、[グループ設定] [ クループ設定] ボタンをクリックすると、

選択していたコマを一つのグループとしてまとめて管理 するようにします。

グループとなったコマは、その内の一つのコマを移動や 拡大縮小すると、同時に動作するようになります。

h.[ グループ解除 ] ボタン

グループになっているコマ を選択して、[グループ解除] ボタンをクリックすると、 グループを解除します。



i. コマの順番の入れ替え 選択しているコマの順番を 入れ替えます。



ŔΠ

j.[ 背景設定 ] ボタン

テンプレートへ背景を挿入 します。



[背景設定]ボタンをクリックすると、コンテキストメニューが表示されます。



### ・設定

「選択」ウインドウ を表示します。

表示された「選択」 ウインドウから、挿 入する画像をクリッ クで選択して、[OK] ボタンをクリックす ると、テンプレート



に背景が挿入されます。

・削除

設定されている背景を削除します。

・濃度

背景の濃さを「半透明」・「薄い」・「原画」の何れか をクリックして指定します。

# k.[ グリッド設定 ] ボタン

画像の配置などの目安となるグリッド線(方眼紙のマ



ス目のような線)をテンプレートトに表示します。

# ◎操作メニュー

選択された画像、文字、カレンダーなどに対して詳細を 設定します。

a.[ページ編集] ボタン

[ページ編集] ボタンを クリックすると、コンテ キストメニューが表示さ れます。





•新規

新しいページを作成します。

・削除

設定されているページを削除します。

# b. 画像操作メニュー

「管理マネージャー」で「写真」の項目を選択すると、「画像操作メニュー」が表示されます。

### ·画像濃度

それぞれのボタンをクリックすると、指定されてい る濃度へ変換します。



原画の濃度の状態にします。



画像の濃度を薄くします。



画像の濃度を半透明にします。

# 切り抜き

それぞれのボタンをクリックすると、指定されている形状へ画像を切り抜きます。



原画の状態にします。



画像をハート型に切り抜きます。



画像を楕円形に切り抜きます。



画像をやや小さく切り抜き、画像のフチ をぼかします。

# ・回転・反転

それぞれのボタンをクリックすると、指定されてい る角度を設定します。



左方向への回転角度「90度」を設定します。



右方向への回転角度「90度」を設定します。



左右反転するよう設定します。



上下反転するよう設定します。

#### ·画像差替

選択されている画像を他の画像に差し替えます。





リックすると、「選択」ウインドウが表示されますので、差し替えたい画像を選択して、[OK] ボタンで確定して下さい。

# c. 文字操作メニュー

「管理マネージャー」で「タイトル」の項目を選択すると、 「文字操作メニュー」が表示されます。

選択されたタイトルの文章が、「文字入力ボックス」に 表示されますので、この文章を変更するように、操作を 行って下さい。



参照ページのご案内

文字操作メニューについて

「装飾-文字セクション (100ページ)」をご覧下さい。

# 「印刷モード」の共通操作

選択されたテンプレートを印刷します。

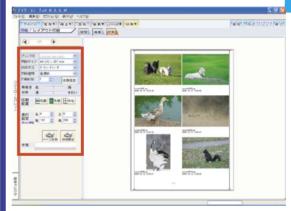
# ◎モード切り替えボタン

ボタンをクリックすると、それぞれのモード画面に移動します。操作を行うテンプレートが選択されている状態で、[印刷] ボタンをクリックすると、「印刷モード」へ移動します。



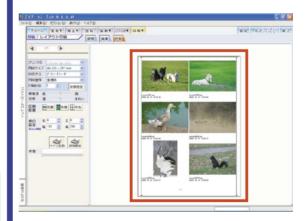
# ◎操作メニュー

プリンタの設定や画像の印刷配置などの詳細を設定します。



# ◎キャンバス

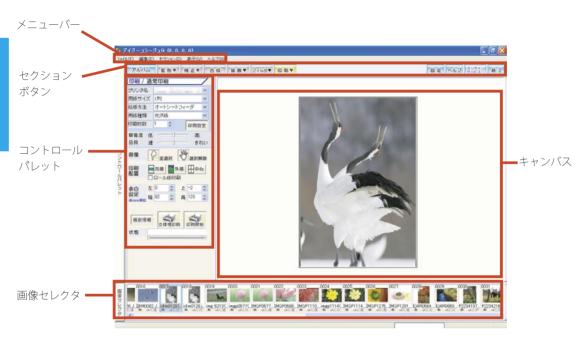
設定した印刷用紙への印刷イメージを表示します。



# 印刷 - 通常印刷セクション

「通常印刷セクション」では、選択した画像を1枚ずつ設定した1枚の用紙へ印刷します。

# ◎各項目の名称





### 参照ページのご案内

- ■セクション共涌操作(53ページ)
- ■設定の詳細につきましては、あわせて「印刷共通 操作(126ページ)」をご覧下さい。
- ■通常印刷セクションを使った具体的な操作例につきましては、合わせて活用ガイドブック 45ページをご覧下さい。

# 印刷範囲の設定

設定された用紙に対して、選択している画像の印刷範囲 を設定します。

### a. 画像

「画像セレクタ」に表示されている画像の選択及び選択 状態の解除を行います。

・[全選択]ボタン 「画像セレクタ」に表示されている画像を 全て選択します。



・[選択解除]ボタン

「画像セレクタ」で選択されている画像の 選択状態を全て解除します。





複数の画像の連続印刷について

「画像セレクタ」で複数の画像を選択した状態で印刷を実行すると、現在設定されている用紙 1 枚につき、1 画像ずつ連続して印刷を行います。

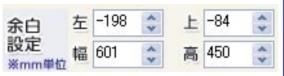
#### b. ロール紙

プリンタのプロパティで、「ロール紙「中間ル紙」を選択されている場合、「ロール紙」項目の左手に表示されている「ロ」をクリックして、チェックマークを付けると、ロール紙に余白のないように、自動的に印刷範囲を設定します。

# c. 余白設定

設定された用紙の印刷可能領域に対して、エディットコントロールまたはスピンコントロールを使って、手動で印刷範囲を設定します。

「左」と「上」の数値を調整すると、印刷の開始位置を、「幅」と「高」の数値を調整すると、印刷範囲が変更されます。



# 印刷実行

印刷を実行します。

# a.[ 撮影情報] ボタン

PRINT Image Matching、または Exif Print に対応したプリンタで出力する場合、これらの撮影情報を使った印刷の処理を選択することが出来ます。

①[撮影情報]ボタンをクリックして下さい。

# 撮影情報

②「撮影情報」ウインドウが表示されます。使用する撮影情報の項目の「〇」をクリックして、「・」を付けて下さい。



- ③ [OK] ボタンをクリックすると、選択した撮影情報の処理が設定されます。
- ※撮影情報の付加されていない画像に対しては、通 常印刷で印刷を行います。

#### b.[ 立体視] ボタン

[立体視]ボタンをクリックすると、立体 視印刷を開始します。





🧰 立体視についてのご注意

立体視は長時間続けられますと、目の疲労や視力低下につながる恐れがありますのでご注意下さい。



立体視印刷とは・・・

立体視印刷を行うと、1 枚の用紙に、1 枚の画像を 2 コマ印刷します。

フレームセクションでフレームをつけた画像を使って、立体視印刷を行うと、この印刷された2コマのフレームと画像との位置を少しだけ位置をずらして印刷しています。

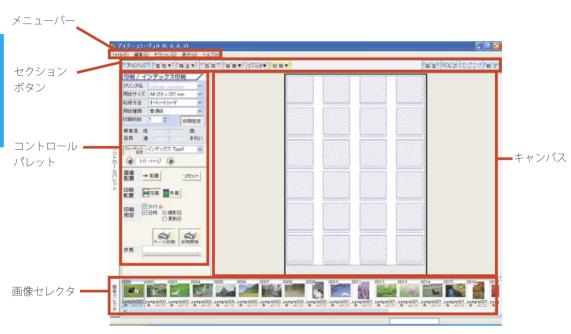
このため、この2コマの画像を左右の目からそれぞれのコマに向かって真っ直ぐに見ることで、2コマが1つの画像として見えるようになり、このとき画像が立体的に見えるようになります。

# 印刷 - インデックス印刷セクション

「インデックス印刷セクション」では、選択した画像をインデックス形式で設定した1枚の用紙へ印刷します。

# ◎各項目の名称

刷





# 参照ページのご案内

- ■セクション共涌操作(53ページ)
- ■設定の詳細につきましては、あわせて「印刷共通 操作(126ページ)」をご覧下さい。

# フォーマットの設定

フォーマットの設定を行います。

[フォーマット設定]ボタンをクリックすると、「定型サイズの種類選択」ウインドウが表示します。



表示された「定型サイズの種類選択」ウインドウから、フォーマットを変更することが出来ます。

また、プルダウンメニューを使って、直接フォーマット の種類を変更することも出来ます。



# 画像配置

フォーマットへ画像を配置します。

#### a.[配置] ボタン

「画像セレクタ」で選択された画像を、 フォーマットに配置します。



### c.[ リセット] ボタン

フォーマットに配置された画像を、フォーマットから解除します。



# 印刷指定

フォーマットに配置する画像情報の表示を設定します。 a タイトル

「タイトル」項目の「□」をクリック して、チェックマークを付けると、「ア ルバムセクション」でサムネイルの「画像情報」の中に 設定されている「タイトル」を印字するようにします。

### b. 日時

「日時」項目の「□」をクリック **□日時 ⑥撮影日** して、チェックマークを付けると、 **□更新日** 

「撮影日」または「更新日」を印字するようにします。 ※なお、キャンバス上では、「タイトル」、「日時」は表示されません。

# フォーマットの「カスタム」設定

「定型サイズの種類選択」ウインドウで、用意されている3つのフォーマットの種類以外のフォーマットを利用する場合には、「定型サイズの種類選択」ウインドウから「カスタム」を選択して、利用したいフォーマットの詳細を設定します。

① [フォーマット設定] ボタンをクリックして下さい。



②「定型サイズの種類設定」ウインドウが表示されます。「カスタム」をクリックで選択してから、[OK] ボタンをクリックして下さい。



③「分割数の指定」ウイン ドウが表示されます。

エディットコントロール またはスピンコントロール を使って、「縦分割数」と「横 分割数」を設定して、[OK] ボタンをクリックして下さ

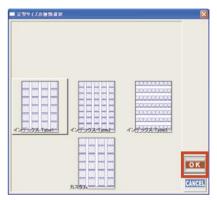


④キャンバス上に指定されたフォーマットが表示されます。

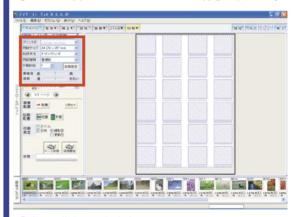
# インデックス印刷の操作について

ここでは、インデックス印刷の基本的な操作をご案内します。

①インデックス印刷セクションに移動すると、まず「定型サイズの種類選択」ダイアログが表示されます。使用するインデックスのタイプをクリックで選択してから、[OK] ボタンをクリックして下さい。



②プリンタ及びプリンタパラメータを設定して下さい。



③次に画像を配置します。

配置する画像を「画像セレクタ」上で選択してから、「画像配置」項目の中の[配置]ボタンをクリックして画像を配置して下さい。





# 画像の配置について

「画像セレクタ」からキャンバス上へ画像のサムネイルを直接ドラッグすることにより、画像を配置することも出来ます。

④「印刷配置」を使って、画像を印刷する位置を設定して下さい。







- ⑤「印刷指定」項目の内、画像とともに印字する項目に チェックマークのついていることをご確認下さい。
- ※「日時」を選択した場合には、日時に使用する日付の種類(撮影日または更新日)の何れかをあわせて指定して下さい。







⑥キャンバス上の印刷イメージを確認してから、[印刷開始]ボタンをクリックして、印刷を実行して下さい。

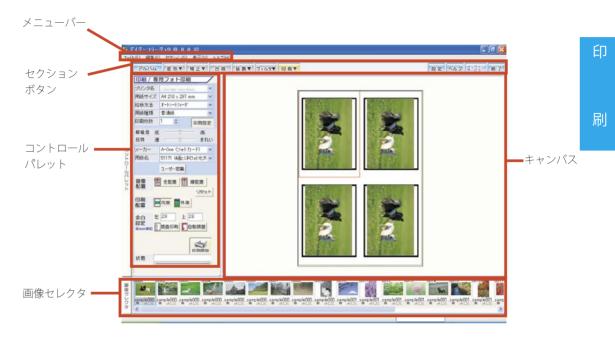


屈

# 印刷 - 専用フォト印刷セクション

「専用フォト印刷セクション」では、市販の写真サイズ用紙の種類を、直接指定して印刷を行うことが出来ます。

# ◎各項目の名称



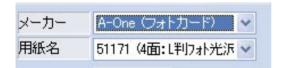


参照ページのご案内

- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■設定の詳細につきましては、あわせて「印刷共通操作 (126ページ)」をご覧下さい。

# 用紙の種類

使用する用紙の種類を設定します。



プルダウンメニューを使って、使用する用紙のメーカー と用紙の型番を指定して下さい。

なお、使用する用紙の型番以外に用紙サイズやコマのサイズを設定する場合には、「メーカー」項目に「ユーザー定義」を設定すると、この項目を使って、直接用紙サイズなどが設定できるようになります。

### 印刷配置と画像の配置

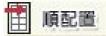
使用する用紙に複数のコマがある場合、配置する画像の 設定やコマに画像を配置する操作を行います。

### a.[ 全配置] ボタン

選択された用紙に複数のコマが ある場合、「画像セレクタ」で選 択された画像を、全てのコマに 配置します。



選択された用紙に複数のコマがある場合、「画像セレクタ」で選



択された画像を先頭にして、コマ数の数だけ「画像セレクタ」の画像をそれぞれのコマに配置します。

c.[ リセット] ボタン

印刷プレビューに配置された画像を、 印刷プレビューから消去します。



# 余白設定

ご利用のプリンタにより、印刷開始位置の調整が必要な場合があります。

「余白設定」では、この印刷開始位置を設定します。

a. 印刷開始位置を手動で調整する場合

①まず現在設定されているプリンタの印刷開始位置を確認します。印刷開始位置の確認用に用



紙をセットして、[調査印刷]ボタンをクリックして下さい。

②用紙に印刷された印刷開始位置を表す線までの左余白 と上余白の長さをそれぞれ定規で測って下さい。



③定規で測った左余白と上余白の長さを、「余白設定」の「左」及び「上」項目へ、それぞれエディットコントロールを使って、手動で設定して下さい。



b. 印刷開始位置を自動で調整する場合

[自動調査] ボタンをクリックすると、現在設定されているプリンタの印刷開始位置をプログラ

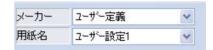


ムが認識して、自動的に印刷開始位置を調整します。

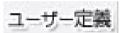
# ユーザー定義を設定する

使用する用紙の型番以外に用紙サイズやコマのサイズを設定する場合に、「メーカー」項目の中の「ユーザー定義」から、5種類まで任意のサイズを設定することが出来ます。

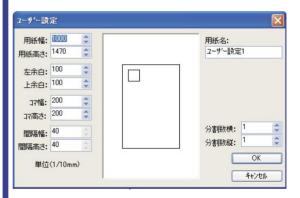
①プルダウンメニューを使って、「メーカー」項目に「ユーザー定義」を設定し、「用紙名」項目へ「ユーザー設定1~5」の何れかを指定して下さい。



②[ユーザー定義]ボタンを クリックして下さい。



③「ユーザー設定」ウインドウが表示されます。 ウインドウ中央のフォーマット イメージをご確認いた だきながら、各項目を設定して下さい。



■用紙幅 設定する用紙の幅を指定して下さ い。

■用紙高さ 設定する用紙の高さを指定して下 さい。

■左余白 用紙のフチから、印刷を開始する 左端までの長さを指定して下さい。

■上余白 用紙のフチから、印刷を開始する 上端までの長さを指定して下さい。

刷

ÉΠ

■コマ幅

さい

■コマ高さ 設定する1コマの高さを指定して

下さい。

副副陽幅 設定するコマとコマの感覚の幅を

指定して下さい。

舌高剛間■ 設定するコマとコマの感覚の高さ

を指定して下さい。



#### 設定単位について

「ユーザー設定」ウインドウの中の用紙サイズ に対する数値の単位は、「1/10mm」です。 例えば、「1 センチ」の場合には、「100」と入 力するようになります。

■用紙名 設定された用紙名を任意に設定す ることが出来ます。

横に配置するコマ数を設定します。

■分割数横 ■分割数縦 縦に設定するコマ数を指定します。

④ [OK] ボタンをクリックすると、キャンバス上に指定 されたフォーマットが表示されます。



「メーカー名」項目の「フリー」について

「メーカー名 | 項目の「フリー」を設定すると、A4 サイズなどの定型用紙に、名刺サイズなどのコマを 配置することが出来ます。

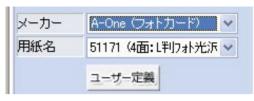
### 専用フォト印刷の操作について

ここでは、専用フォト印刷の基本的な操作をご案内しま す。

(1)プリンタ及びプリンタパラメータを設定して下さい。



設定する1コマの幅を指定して下 ▲ ②使用する用紙のメーカー名と用紙名を指定して下さ (,)



③次に画像を配置します。

「画像配置」項目の中の[全配置]または[順配置]ボタ ンをクリックして画像を配置して下さい。





# 画像の配置について

「画像セレクタ」からキャンバストへ画像のサムネイ ルを直接ドラッグすることにより、画像を配置する ことも出来ます。

④「印刷配置」を使って、画像を印刷する位置を設定し て下さい。



⑤ [調査印刷]または [自動調整]ボタンを使って、プリ ンタ用紙への印字開始位置をご確認下さい。

※ [調査印刷] ボタンを使用した結果、微調整が必要な 場合には、「余白設定」へ調整数値を設定して下さい。



⑥キャンバストの印刷イメージを 確認してから、[印刷開始]ボタン をクリックして、印刷を実行して 下さい。

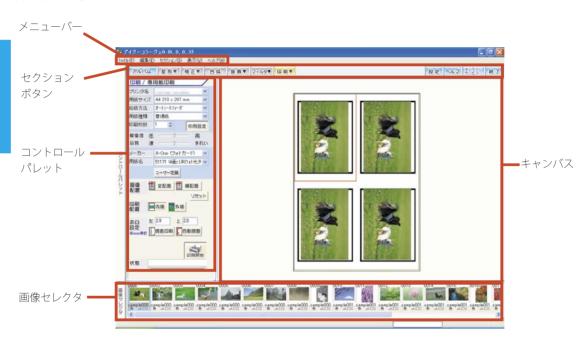


# 印刷 - 専用紙印刷セクション

「専用紙印刷セクション」では、市販のシールやラベル用紙の種類を、直接指定して印刷を行うことが出来ます。

# ◎各項目の名称

刷





# 参照ページのご案内

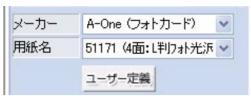
- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■設定の詳細につきましては、あわせて「印刷共通操作(126ページ)」及び「印刷ー専用フォト印刷セクション(137ページ)」をご覧下さい。

# 専用紙印刷の操作について

ここでは、専用紙印刷の基本的な操作をご案内します。 ①プリンタ及びプリンタパラメータを設定して下さい。



②使用する用紙のメーカー名と用紙名を指定して下さい。



③次に画像を配置します。

「画像配置」項目の中の[全配置]または[順配置]ボタンをクリックして画像を配置して下さい。





画像の配置について

「画像セレクタ」からキャンバス上へ画像のサムネイルを直接ドラッグすることにより、画像を配置することも出来ます。

④「印刷配置」を使って、画像を印刷する位置を設定して下さい。



- ⑤ [調査印刷]または[自動調整]ボタンを使って、プリンタの用紙への印字開始位置をご確認下さい。
- ※[調査印刷]ボタンを使用した結果、微調整が必要な場合には、「余白設定」へ調整数値を設定して下さい。



⑥キャンバス上の印刷イメージを確認してから、[印刷開始]ボタンをクリックして、印刷を実行して下さい。



# 印刷 - アルバム印刷セクション

「アルバム印刷セクション」では、現在選択されているアルバムに登録されている画像の一覧を、印刷することが出来ます。

# ◎各項目の名称

刷





参照ページのご案内

- ■セクション共涌操作(53ページ)
- ■設定の詳細につきましては、あわせて「印刷共通 操作(126ページ)」をご覧下さい。

# 全画像数

選択されているアルバムに 登録されている、画像の総 数を表示します。

# 全画像数 21

# <u>タ</u>イトル

「アルバムセクション」で サムネイルの「画像情報」 の中に設定されている「タ イトル」を表示します。

また、この「タイトル」の 内容はここで直接文字入力 をすることで、変更することが出来ます。



# 画像配置

1枚の用紙に配置する画像のコマ数と、画像情報を設定します。

設定できる配置は3種類ありますので、まず設定する種類を選択してから、1ページに割り当てるコマ数を設定します。

a. 絵の個数を指定

「絵の個数を指定」項目の左手の「○」をクリックして、「・」を付けると、1 ページに割り当てるコマ数の総数でコマの配置を設定します。

コマの総数については、エディットコントロールまたは スピンコントロールで設定します。

# b. 用紙枚数を指定

「用紙枚数を指定」項目の左手の「〇」をクリックして、「・」を付けると、印刷に掛けるページの枚数から1ページに割り当てるコマ数の検出して、コマの配置を設定します。 用紙枚数については、エディットコントロールまたはスピンコントロールで設定します。

例えば、「画像総数」が「22」で、「用紙枚数」を「2」に設定した場合、1ページに割り当てられるコマ数は「11」となります。

# c. 分割を指定

「分割を指定」項目の左手の「〇」をクリックして、「・」を付けると、1ページに割り当てるコマの縦と横の個数を指定して、コマの配置を設定します。

分割指定については、エディットコントロールまたはスピンコントロールで設定します。

例えば、「3コ」を「2」、「4」に設定した場合、「 $2 \times 4$ 」となり、1ページに割り当てられるコマ数は「8」となります。

#### d. 画像情報の配置

プルダウンメニューを使って、画像に付加されている 情報の印刷を設定すること が出来ます。



#### 標準

画像の下部に、印刷指定で設定した情報を表示します。 ※なお、コマの印刷範囲の幅により、情報を表示できる範囲は異なります。



#### 隣に空白

画像の右手に、余白を取ります。

また、画像の下部に、印刷 指定で設定した情報を配置 します。



# 隣にタイトル

画像の右手に、「アルバムセクション」でサムネイルの「画像情報」の中に設定されている「タイトル」を表示します。また、画像の下部に、印刷指定で設定した情報を配置します。



# 隣に DCF 情報

DCF 情報の付加されている 画像が配置されている場合、 画像の右手に、DCF 情報を 表示します。

また、画像の下部に、印刷 指定で設定した情報を配置し ます。

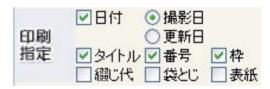
※なお、キャンバス上では、 DCF 情報の詳細は表示されません。



#### 印刷指定

フォーマットに配置する画像情報の表示と印刷時の出力方法を設定します。

各項目の左手の「□」をクリックして、チェックマークを付けると、印刷時にその項目の内容が反映されます。



# a. 日時

「撮影日」または「更新日」を指定して印字するようにします。

### b. タイトル

「アルバムセクション」でサムネイルの「画像情報」の中に設定されている「タイトル」を印字するようにします。

#### c. 番号

配置された順番に、各コマへ番号を表示します。

#### d 枠

コマとコマの境に枠線を表示します。

印刷後の用紙をまとめるための綴じ代分の余白を取って印刷します。



# f. 袋とじ

1枚の用紙に2ページを等分に印刷し、印刷後に用紙を中心で折る袋とじの状態に印刷します。

※なお、キャンバス上では、 袋とじの状態は表示されません。



# g. 表紙

選択されたアルバムの最初の画像と、アルバムのタイトルを使って、表紙を作成し、印刷時にページの印刷とともに、印刷します。



※「表紙」項目にチェックマークを付けると、ページに「0ページ」が追加され、ページ切替ボタンで「0」ページを指定すると、キャンバス上に表紙を表示することが出来ます。

# アルバム印刷の操作について

ここでは、アルバム印刷の基本的な操作をご案内します。

①プリンタ及びプリンタパラメータを設定して下さい。

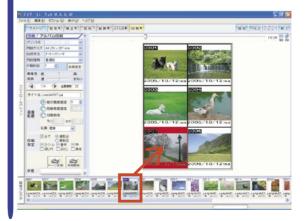


②「画像配置」項目より、配置したいコマ数及び「位置」の内容を設定して下さい。



③次に画像を配置します。

画像はアルバムの先頭から順番に配置されています。画像の順番を入れ替える場合には、画像セレクタからキャンバス上の配置したい位置へ直接画像のサムネイルをドラッグして下さい。



7

吊

④「印刷指定」項目の内、画像とともに印字する項目に チェックマークのついていることをご確認下さい。

※「日時」を選択した場合には、日時に使用する日付の 種類(撮影日または更新日)の何れかをあわせて指定し て下さい。

FDRI	✓日付 ⑥撮影日 ○更新日
指定	<ul><li>✓ タイトル ✓ 番号 ✓ 枠</li><li>◯ 綴じ代 □ 袋とじ □ 表紙</li></ul>

⑤キャンバス上の印刷イメージを確認してから、[ページ印刷]または[印刷開始]ボタンをクリックして、印刷を実行して下さい。



が出来ます。

参照ページのご案内



- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■設定の詳細につきましては、あわせて「印刷共通 操作 (126ページ)」及び「モード共通操作 (128ページ)」をご覧下さい。

#### レイアウト印刷の操作の流れ

「レイアウト印刷セクション」では、「管理モード」、「編集モード」、「印刷モード」の3つの操作モードを使って、操作を行います。

#### ◎管理モード

予め用意されているテンプレートの中から、これから行うレイアウトの編集の基準となるテンプレートを選択したり、新たにテンプレートを作成することが出来ます。また、「レイアウト印刷セクション」で編集されたレイアウトのデータは、編集されたレイアウトごとに、ここに保存することが出来ます。一度編集されたレイアウトを、この「管理モード」で選択して、再度編集し直したり、新たに印刷を行うことが出来ます。

#### ◎編集モード

画像の大きさや位置の調整や、画像やページに対する コメントの設定が行えます。

また、既存のレイアウトにつきましては、再編集を行うことが出来ます。

#### ◎印刷モード

作成されたレイアウトを印刷します。

#### 管理モードについて

「レイアウト印刷セクション」では、1枚の用紙設定を基準として、複数の画像や文字を編集したり、印刷すること

ここでは、「レイアウト印刷」セクションで使用する設 定項目の詳細をご案内します。

#### テンプレートを新規に作成する

これから行うレイアウトの編集の基準となるテンプレートを、新規に作成します。

①[新規]ボタンをクリックして下さい。



②「レイアウトの設定」ウインドウが表示されます。



#### a.1 ページの大きさを設定する

作成するテンプレートの 1 枚あたりの大きさを設定します。

#### ・サイズを指定する場合

「サイズで設定」項目の左手の「○」をクリックして、「・」を付けると、エディットコントロールまたはスピンコントロールを使って、数値を設定することが出来ます。

ここで設定する数値の単位は「mm.」 になります。



・設定されているプリンタの用紙サイズを指定する場合

「プリンタ用紙で指定」項目の左手の「〇」をクリックして、「・」を付けてから、[プリンタの設定]ボタンをクリックすると、「プリンタの設定」ウインドウが表示されます。



表示された「プリンタの設定」ウインドウで使用するプリンタ・用紙サイズ・給紙方法・印刷の向きを設定して、[OK] ボタンをクリックすると、設定された内容が1枚あたりの大きさとして設定されます。

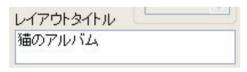


※用紙の種類などを設定する場合には、「プリンタ名」の右手の[プロパティ]ボタンをクリックして、プリンタの「プロパティ」ウインドウを起動し、詳細を設定して下さい。

なお、プリンタのプロパティの設定につきましては、ご利用のプリンタの取扱説明書をご覧下さい。

#### b. レイアウトタイトル

エディットコントロールを使って、作成するレイアウトの全てのページに反映させるレイアウトタイトル設定します。



c.[フォントのデフォルト設定] ボタン

編集モードでキャンバスに表示する文字の最初の状態を 設定します。

なお、ここで設定された文字の状態は、編集モードで変 更することが出来ます。

1)[フォントのデフォルト設定]ボタンをクリックして下さい。



- 2)「フォントの設定」ウインドウが表示されます。
- ・フォントの種類 プルダウンメニューを使って、フォントの種類を設定 します。



書体

「太字」及び「斜体」の左手の「□」 **書**体 をクリックして、チェックマークを 付けると、それぞれの項目が設定されます。

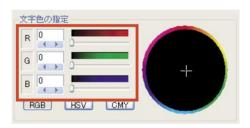


・文字色の設定 文字の色を設定します。

I.[RGB]、[HSV]、[CMY] の何れかのボタンをクリックすると、色モードが変更できます。



II.エディットコントロール、スピンコントロール及びパラメータを使って、色を設定することが出来ます。



また何れかのパラメータを操作すると、色相円の明度 (明るさ)が変化します。ここで色相円から使用した い色の部分をクリックすると、クリックした部分の色 が設定されます。



③ [OK] ボタンをクリックすると、設定された内容を確定して、「フォントの設定」ウインドウを閉じます。



d.[フォーマットの設定・選択]ボタン 画像を配置するフォーマットを設定します。

1)[フォーマットの設定・選択] ボタンをクリックして下さい。



- 2)「フォーマットの設定」ウインドウが表示されます。
- ・カスタム・フォーマットの設定 フォーマット一覧で「カスタム」を選択した場合、エディットコントロール及びスピンコントロールを使って、1ページに配置する画像のコマ数を設定します。 なお、1ページに設定できるコマ数は、合計で20コマまでです。



・画像につけるコメント

各項目の左手の「ロ」をクリックして、チェックマークを付けると、それぞれの項目が設定されます。 配置した画像にコメントが付けられていない場合は、ここで設定した情報を元にコメントを自動牛成しま

※「撮影日時」または「ファイル更新日時」を選択した場合、さらに「日付」及び「時間」の指定が行えます。



・ページにつけるコメント

各項目の左手の「ロ」をクリックして、チェックマークを付けると、それぞれの項目が設定されます。 新規にページが作成される場合には、ここで設定した情報をページタイトルとします。



フォーマット一覧

「カスタム」を含むフォーマットの一覧を表示します。 ここで、「カスタム」をクリックで選択すると、「カスタム・フォーマットの設定」が有効になります。



3)[OK] ボタンをクリックすると、設定された内容を確定して、「フォーマットの設定」ウインドウを閉じます。



④「レイアウトの設定」ウインドウに戻ります。[OK] ボタンをクリックすると、設定された内容を確定して、「レイアウトの設定」ウインドウを閉じます。



⑤作成されたテンプレートが、レイアウト一覧に追加されます。



既存のデータを印刷する操作について

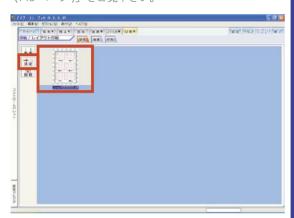
既存のレイアウトを印刷する場合には、管理モードで印刷するレイアウトを選択してから、[印刷モード] ボタンをクリックすると、直接印刷モード画面に移動することが出来ます。

#### レイアウト印刷の操作について

ここでは、レイアウト印刷の基本的な操作をご案内します。

①作成したテンプレートをクリックして選択してから、 [編集]または[決定]ボタンをクリックして、編集モードへ移動して下さい。

※テンプレートの作成につきましては、「印刷ーレイアウト印刷セクション~テンプレートを新規に作成する(146ページ)」をご覧下さい。



②編集モード画面に移動すると、画像を選択するため の「選択」ウインドウが表示されます。

「選択」ウィンドウは、アルバムの先頭の画像が選択されている状態で表示されます。

まず先頭の画像をクリックして、選択を解除をして 下さい。



③使用する画像を全てクリックして選択してから、[OK] ボタンをクリックして下さい。



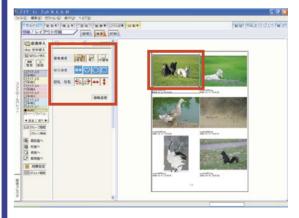
④テンプレートに画像が表示されます。

まず表示されている画像を操作する場合には、キャンバストの操作する画像をクリックして下さい。

操作メニューが「画像操作メニュー」に切り替わりますので、「画像濃度」などの設定を行って下さい。

また、画像の位置や大きさを調整する場合には、キャン バス上の画像を直接ドラッグして下さい。

※詳細につきましては、「モード共通操作~◎操作メニュー b. 画像操作メニュー (130 ページ)」をご覧下さい。



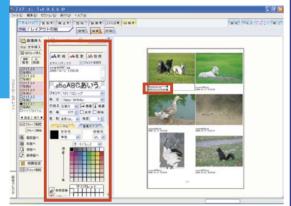
刷

⑤次に表示されている文字を操作する場合には、キャン バス上の操作する文字をクリックして下さい。

操作メニューが「文字操作メニュー」に切り替わります ので、「フォント」などの設定を行って下さい。

また、文字の位置や大きさを調整する場合には、キャン バストの文字を直接ドラッグして下さい。

※詳細につきましては、「装飾-文字セクション (100ペー ジ)」をご覧下さい。



⑤全ての操作が終わられましたら、印 刷の操作に進みます。[印刷]ボタンを クリックして、印刷モードへ移動して 下さい。



⑥「編集内容を保存しますか?」という確認メッセージ が表示されますので、「はい」ボタンをクリックして編 集したテンプレートを保存して下さい。





編集されたテンプレートの保存について

編集モードから印刷または管理モードへ移動する際 に、この確認メッセージは毎回表示されます。

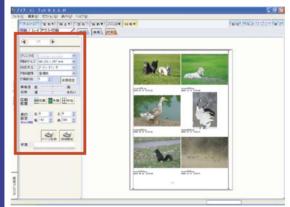
編集した状態を保存する場合には、「はい」ボタンを クリックして必ず保存を行って下さい。

なお再編集の操作をされた場合、編集した状態は常 に上書きされます。

②印刷モードに移動します。

各項目を設定の上、印刷を行って下さい。

※詳細につきましては、「印刷共通操作(126ページ)」 及び「印刷~通常印刷セクション (132 ページ)」をご覧 下さい。



# 印刷 - CD レーベル印刷セクション

「CD レーベル印刷セクション」では、CD レーベルを作成するための複数の画像や文字を編集したり、CD レーベル 用紙に印刷することが出来ます。



#### 参照ページのご案内

- ■セクション共涌操作(53ページ)
- ■設定の詳細につきましては、あわせて「印刷共通操作(126ページ)」及び「モード共通操作(128ページ)」をご覧下さい。

#### CD レーベル印刷の操作の流れ

「CD レーベル印刷セクション」では、「管理モード」、「編集モード」、「印刷モード」の3つの操作モードを使って、操作を行います。

#### ◎管理干ード

予め用意されているテンプレートの中から、これから行うCDレーベルの編集の基準となるテンプレートを選択したり、新たにテンプレートを作成することが出来ます。

また、「CD レーベル印刷セクション」で編集された CD レーベルのデータは、編集された CD レーベルごとに、ここに保存することが出来ます。一度編集された CD レーベルを、この「管理モード」で選択して、再度編集し直したり、新たに印刷を行うことが出来ます。

#### ◎編集モード

画像の大きさや位置の調整や、CD のタイトルなどの 設定が行えます。

また、既存のCDレーベルにつきましては、再編集を行うことが出来ます。

#### ◎印刷モード

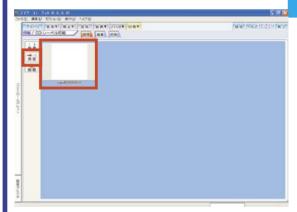
作成された CD レーベルを CD レーベル用紙へ印刷します。

#### CD レーベル印刷の操作について

ここでは、CD レーベル印刷の基本的な操作をご案内します。

①作成したテンプレートをクリックして選択してから、 [編集]または[決定]ボタンをクリックして、編集モードへ移動して下さい。

※テンプレートの作成につきましては、「印刷-レイアウト印刷セクション〜テンプレートを新規に作成する(146ページ)」をご覧下さい。



②白紙のテンプレートを選択した場合には、編集モード画面に移動すると、画像を選択するための「選択」ウインドウが表示されます。「選択」ウィンドウは、アルバムの先頭の画像が選択されている状態で表示されます。まず先頭の画像をクリックして、選択を解除をして下さい。



印

刷

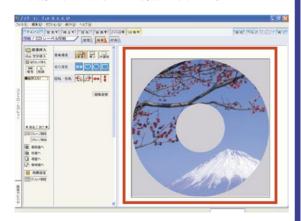
③使用する画像を全てクリックして選択してから、[OK] ボタンをクリックして下さい。



④テンプレートに画像が表示されます。

キャンバス内の画像を囲んでいる枠内にマウスポイ ンタを合わせてドラッグすると、画像の位置が調整出 来ます。また、この枠の角にある「■」にマウスポイ ンタを合わせてドラッグすると、画像の大きさが調整 出来ます。

画像の位置と大きさを調整して下さい。



既に画像の入っているテンプレートの画像の 差し替えについて

①画像の入っているテンプレー トを選択して移動した際には、

画像差替

「選択」ウインドウは表示されません。

このため、画像を差し替える場合には、差し替える 画像を選択した状態で、「画像差替] ボタンをクリッ クして下さい。

②「画像切替」 ウインドウが表 示されます。差 クリックで選択 してから、[OK] ボタンをクリッ クすると、画像 が差し替わりま す。

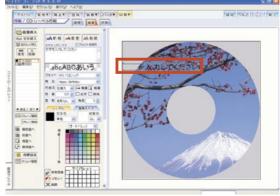


※その他画像の操作の詳細につきましては、「モー ド共通操作~◎操作メニュー- b. 画像操作メニュー (130ページ)」をご覧下さい。

⑤次に文字を挿入します。

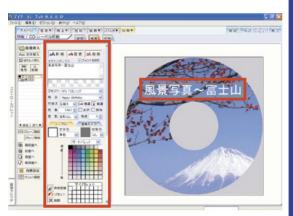
…-へ」とJ+ハしあり。 [画像挿入]ボタンをク ★ 文字挿入

リックすると、キャンバス上に「文字を入力して下さい」 という文章が表示されます。



⑥操作メニューが「文字操作メニュー」に切り替わりますので、内容を変更して操作する文字を設定して下さい。また、文字の位置や大きさを調整する場合には、キャンバス上の文字を直接ドラッグして下さい。

※詳細につきましては、「装飾-文字セクション(100ページ)」をで覧下さい。



⑤全ての操作が終わられましたら、印刷の操作に進みます。[印刷]ボタンをクリックして下さい。



⑥「編集内容を保存しますか?」という確認メッセージが表示されますので、[はい]ボタンをクリックして編集したテンプレートを保存して下さい。





編集されたテンプレートの保存について

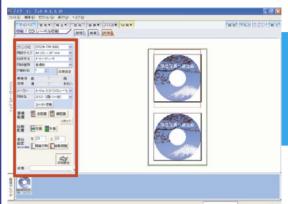
編集モードから印刷または管理モードへ移動する際 に、この確認メッセージは毎回表示されます。

編集した状態を保存する場合には、[はい]ボタンを クリックして必ず保存を行って下さい。

なお再編集の操作をされた場合、編集した状態は常 に上書きされます。 ⑦印刷モードに移動します。

各項目を設定の上、印刷を行って下さい。

※詳細につきましては、「印刷共通操作 (126 ページ)」及び「印刷ー専用フォト印刷セクション (137 ページ)」をご覧下さい。



印

参照ページのご案内



とが出来ます。

- ■セクション共通操作(53ページ)
- ■設定の詳細につきましては、あわせて「印刷共通 操作 (126ページ)」及び「モード共通操作 (128ページ)」をご覧下さい。
- ■はがき印刷セクションを使った具体的な操作例につきましては、合わせて活用ガイドブック 47ページをご覧下さい。

#### はがき印刷の操作の流れ

「はがき印刷セクション」では、「管理モード」、「編集モード」、「印刷モード」の3つの操作モードを使って、操作を行います。

#### ◎管理モード

「はがき印刷セクション」では、はがきを作成するための複数の画像や文字を編集したり、はがき用紙に印刷するこ

予め用意されているテンプレートの中から、これから 行うはがきの編集の基準となるテンプレートを選択した り、新たにテンプレートを作成することが出来ます。

また、「はがき印刷セクション」で編集されたはがきのデータは、編集されたはがきごとに、ここに保存することが出来ます。一度編集されたはがきを、この「管理モード」で選択して、再度編集し直したり、新たに印刷を行うことが出来ます。

#### ◎編集モード

画像の大きさや位置の調整や、ご挨拶文などの文章の設定が行えます。

また、既存のはがきにつきましては、再編集を行うことが出来ます。

#### ◎印刷モード

作成されたはがきをはがき用紙へ印刷します。

# 印刷 - 名刺印刷セクション

「名刺印刷セクション」では、名刺を作成するための複数の画像や文字を編集したり、名刺用紙に印刷することが出来ます。



参照ページのご案内

- ■セクション共通操作 (53 ページ)
- ■設定の詳細につきましては、あわせて「印刷共通 操作 (126ページ)」及び「モード共通操作 (128ページ)」をご覧下さい。
- ■名刺印刷セクションを使った具体的な操作例につきましては、合わせて活用ガイドブック 52ページをご覧下さい。
- ■管理モードの[ネットプリント]ボタンを使った ネットプリントサービスをご利用いただくには、予 め会員登録(無料)が必要となります。

ご登録方法につきましては、「DPEgg のご登録方法について」(36ページ)をご参照下さい。

#### 名刺印刷の操作の流れ

「名刺印刷セクション」では、「管理モード」、「編集モード」、「印刷モード」の3つの操作モードを使って、操作を行います。

#### ◎管理干ード

予め用意されているテンプレートの中から、これから 行う名刺の編集の基準となるテンプレートを選択したり、 新たにテンプレートを作成することが出来ます。

また、「名刺印刷セクション」で編集された名刺のデータは、編集された名刺ごとに、ここに保存することが出来ます。一度編集された名刺を、この「管理モード」で選択して、再度編集し直したり、新たに印刷を行うことが出来ます。

#### ◎編集モード

画像の大きさや位置の調整や、氏名や住所などの設定が行えます。

また、既存の名刺につきましては、再編集を行うことが出来ます。

#### ◎印刷モード

作成された名刺を名刺用紙へ印刷します。

ÉΠ

#### ネットプリントサービスを利用する

作成した名刺は、管理モードから「ネットプリントサー ビス」機能がご利用いただけます。

「ネットプリントサービス」機能とは、選択された画 像をインターネットを使って、写真店へ「デジカメプリ ント」の注文をおこなうことが出来る機能です。

注文されたお写真は、「宅配メール便」または「宅配便」 で、で自宅へお届けします。

■ 「ネットプリントサービス」機能について

1. 本サービスは、「DPEgg」よりご提供いたします 有料サービスとなります。

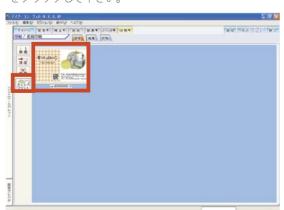
- 2. お支払い方法は、クレジットカード決済のみと なります。
- 3.「DPEgg ログイン」サイトからの操作の詳細に つきましては、DPEqaサイト よくあるご質問を ご覧下さい。
- 4. 本サービスをご利用いただくには、予め会員登 録(無料)が必要となります。

ご登録方法につきましては、「DPEgg のご登録方 法について」(36ページ)をご参照下さい。

5. インターネットの接続料金や回線料金などの費 用はお客様のご負担となります。予めご了承下さ しつ

①操作を開始する前に、インターネットへ接続する準備 が出来ていることをご確認下さい。

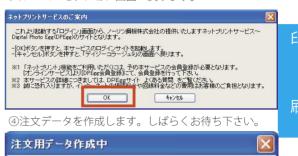
②アルバム サムネイル一覧より、注文する画像のサム ネイルをクリックしてから、[ネットプリント]ボタン をクリックして下さい。



③「ネットプリントサービスのご案内」ウインドウが表 示されます。

内容をご確認の上、操作を実行する場合には、[OK] ボ タンをクリックして下さい。

※[キャンセル]ボタンをクリックすると処理を中断し、 アルバム セクション画面へ戻ります。

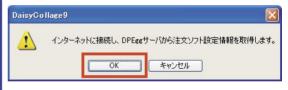


⑤確認メッセージ(「インターネットに接続し、DPEga サーバから注文祖後設定情報を取得します。」) が表示さ れます。[OK] ボタンをクリックして下さい。

キャンセル

ファイルを作成しています...

0%



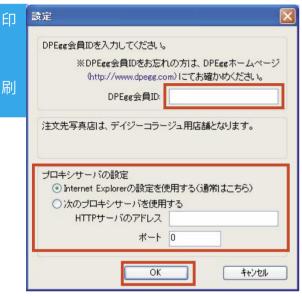
⑥お客様にご利用いただけるト限サイズをご案内しま

内容をご確認の上、「OKI ボタンをクリックして下さい。



#### **156** 印刷カテゴリ

- ⑦「設定」画面が表示されます。
  - a.「DPEgg 会員 ID」欄へお客様の ID 番号を入力して下さい。
  - b.「プロキシサーバの設定」をご確認下さい。
  - ※ご利用環境により、プロキシサーバの設定が必要な場合があります。



- ・LAN 環境でご使用の場合には、サーバ管理責任者などに確認して下さい。
- ・インターネットをご使用の場合には、インターネットプロバイダの設定資料などを参照して下さい。

HTTP サーバアドレス及びポートの設定が必要な場合には、HTTP サーバアドレス及びポートへ資料を確認の上、正確に入力して下さい。

- ※ HTTP サーバアドレス及びポートの設定が誤っている場合、画像をアップロードできない場合や、HTTP アクセスが出来ないなどの障害が発生します。
- ⑧設定内容をご確認いただきましたら、[OK] ボタンをクリックして下さい。

⑨データを DPEgg のサーバへ転送します。しばらくお 待ち下さい。



⑩ DPEgg のログイン画面が起動します。 「DPEgg 会員 ID」と「パスワード」を入力の上、[ログイン]ボタンよりお進み下さい。



# 印刷 - カレンダー印刷セクション

「カレンダー印刷セクション」では、カレンダーを作成するための複数の画像やカレンダーの配置を行い、印刷する ことが出来ます。



#### 参照ページのご案内

- ■セクション共涌操作 (53 ページ)
- ■設定の詳細につきましては、あわせて「印刷共通操作 (126ページ)」及び「モード共通操作 (128ページ)」をご覧下さい。
- ■カレンダー セクションを使った具体的な操作例につきましては、合わせて活用ガイドブック 57ページをご覧下さい。

#### カレンダー印刷の操作の流れ

「カレンダー印刷セクション」では、「管理モード」、「編集モード」、「印刷モード」の3つの操作モードを使って、操作を行います。

#### ◎管理モード

予め用意されているテンプレートの中から、これから行うカレンダーの編集の基準となるテンプレートを選択したり、新たにテンプレートを作成することが出来ます。また、「カレンダー印刷セクション」で編集されたカレンダーのデータは、編集されたカレンダーでとに、ここに保存することが出来ます。一度編集されたカレンダーを、この「管理モード」で選択して、再度編集し直したり、新たに印刷を行うことが出来ます。

#### ◎編集モード

画像の大きさや位置の調整や、カレンダーの配置など の設定が行えます。

また、既存のカレンダーにつきましては、再編集を行うことが出来ます。

#### ◎印刷モード

作成されたカレンダーを印刷します。

#### 管理モードについて

ここでは、「カレンダー印刷」セクションで使用する設 定項目の詳細をご案内します。

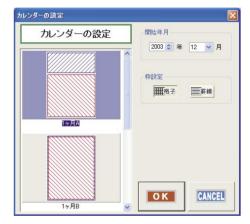
#### テンプレートを新規に作成する

これから行うレイアウトの編集の基準となるテンプレートを、新規に作成します。

①[新規]ボタンをクリックして下さい。



②「カレンダーの設定」ウインドウが表示されます。



#### a. 開始年月

エディットコントロールまたはスピンコントロールを 使って、作成するカレンダーの開始年月を指定します。

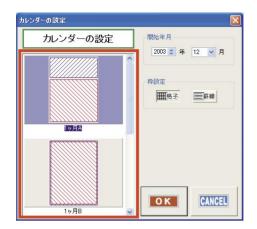
#### b. 枠設定

[格子]または[罫線]ボタンをクリックして、カレンダーに付ける枠線を指定します。

티

#### c. フォーマット一覧

作成するカレンダーのフォーマットを選択します。 ここで選択されたフォーマットを元にカレンダーへ画像 とカレンダーを配置します。



③設定が終わりましたら、[OK] ボタンを クリックして、設定された内容を確定し て下さい。



④設定されたフォーマットが、テンプレート一覧に追加 されます。



既存のデータを印刷する操作について

既存のカレンダーを印刷する場合には、管理モードで印刷するカレンダーを選択してから、[印刷モード]ボタンをクリックすると、直接印刷モード画面に移動することが出来ます。

#### 編集モードについて

ここでは、「カレンダー印刷」セクションで使用する設 定項目の詳細をご案内します。

#### ◎簡易設定メニュー

カレンダーの作成に必要な基本的な設定のみを行って、カレンダーを作成します。



#### a. 枠設定

[格子]または[罫線]ボタンをクリックして、カレンダーに付ける枠線を指定します。「編集モード」へ移動した直後には、「カレンダー設定」ウインドウで設定された内容が反映されます。

また、「全体枠」及び「日付枠」の左手の「□」をクリックしてチェックマークを付けると、カレンダー全体及び日付に枠を付けます。

印

#### 刷

#### b. 開始年月

エディットコントロールまたはスピンコントロールを 使って、作成するカレンダーの開始年月を指定します。 「編集モード」へ移動した直後には、「カレンダーの設定」 ウインドウで設定された内容が反映されます。

#### c. 全体種類

プルダウンメニューを使って、1ヶ月ごとのカレンダー のパターンを設定します。

#### d. 年月種類

プルダウンメニューを使って、年月の表示パターンを設 定します。

#### e. 曜日種類

プルダウンメニューを使って、曜日の表示パターンを設 定します。

#### f 日付種類

プルダウンメニューを使って、日付の表示パターンを設 定します。

#### a. 位置

プルダウンメニューを使って、日付の数字を表示する位置を設定します。

#### h. 色.

「年月」、「平日」、「土曜」、「日曜」の文字の色を設定します。

①「年月」の文字の色を設定する際には、まず[年月]ボタンをクリックして下さい。



②「色指定ダイアログ」が表示されます。

エディットコントロール、スピンコントロールまたは色相ボックスを使って、文字の色を指定して下さい。



③ [OK] ボタンをクリックすると、指定した色が確定されます。

#### i.[ 初期化] ボタン

[初期化]ボタンをクリックすると、設定されているカレンダーの内容を、全て設定前の状態に戻します。

#### i.[ 詳細設定] ボタン

[詳細設定]ボタンをクリックすると、「カレンダー設定ダイアログ」を表示します。「カレンダー設定ダイアログ」では、「年月」や「曜日」でとにフォントの種類を指定したり、1日だけ文字の色やフォントなどを特別に設定することが、出来ます。



「プレビュー」に表示されているカレンダーから、その日をダブルクリックすると、ダブルクリックされた日付の設定ウインドウが表示されます。



#### k.[ 予定設定 ] ボタン

[予定設定] ボタンを クリックすると、「スケ ジュール」ウインドウを 表示します。「スケジュー ル」ウインドウでは、カ レンダー掲載する予定を 設定することが 出来ま す。



※なお、国民の祝日を消去したり、変更することは出来 ません。 [全体背景] ボタンをクリックすると、選択されているカレンダー全体の背景が設定できるようになります。

#### m.[ 日付背景 ] ボタン

[日付背景] ボタンをクリックすると、選択されているカレンダーの日付の背景が設定できるようになります。

#### fl n.[設定]ボタン

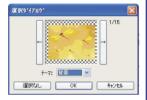
[全体背景]または[日付背景]ボタンで設定されている背景を設定します。

①「設定」ボタンをクリックして下さい。

# 設定

②「選択ダイアログ」が表示されます。

プルダウンメニューを 使って、「テーマ」を指定 するとテーマに沿った素 材が左右の[ $\rightarrow$ ] ボタンか ら選択できるようになり ます。



③ [OK] ボタンをクリックすると、指定した素材が確定されます。

#### o.[ 背景なし] ボタン

背景が設定されている状態で、[背景なし]ボタンをクリックすると、設定されているカレンダーの背景を消去します。

#### p. 透明度

背景が設定されている状態で、透明度のスライダを操作すると、背景の濃度を調整します。

数値が小さいほど、画像は薄く表示されるようになります。

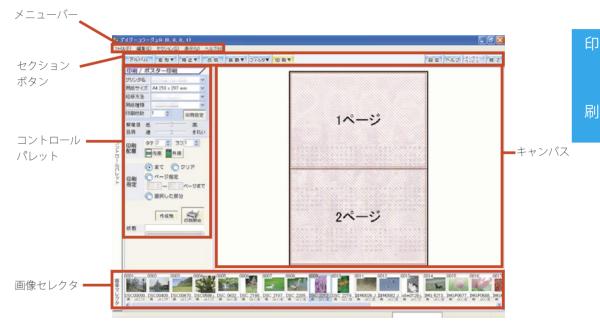
#### a. 全てのカレンダーに反映させる

「全てのカレンダーに反映させる」項目の左手の「ロ」をクリックしてチェックマークを付けると、現在配置している全てのカレンダーに設定された内容を反映させます。

# 印刷 - ポスター印刷セクション

「ポスター印刷セクション」では、1 枚の画像を複数の用紙に分割して印刷することにより、大判の印刷物を作成します。

#### ◎各項目の名称





#### 参照ページのご案内

- ■セクション共通操作 (53 ページ)
- ■設定の詳細につきましては、あわせて「印刷共通 操作(126ページ)」をご覧下さい。
- ■ポスター セクションを使った具体的な操作例に つきましては、合わせて活用ガイドブック 62ペー ジをご覧下さい。

#### 分割枚数指定

選択している画像を分割する枚数を指定します。印刷を 行う分割枚数を、エディットコントロールまたはスピン コントロールで設定します。



#### 印刷指定

印刷するページを指定します。

キャンバス上で赤い斜線の部分が指定されたページになります。

a. 全て



全てのページを印刷します。



#### b. クリア



全てのページの指定を解除します。



ΈΠ.

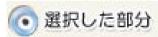
c. ページ指定



エディットコントロールまたはスピンコントロールを使って、印刷するページを指定します。



d.ページ指定



キャンバス上の印刷プレビューを直接クリックして、印刷するページを 指定します。



#### [作成物]ボタン

「レイアウト印刷」などで作成された 作成物の印刷を指定します。

# 作成物



印刷設定に関するご案内

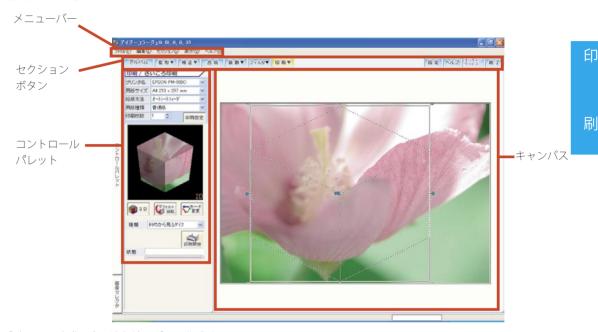
- ■複数枚の用紙を使って分割印刷を行っていただく 際に印字されるトンボをなくすことは出来ません。
- ■ポスター セクションでご利用いただける印刷範囲は、用紙枚数で横10枚×縦10枚以内、または印刷範囲で2m×2m以内となります。

即

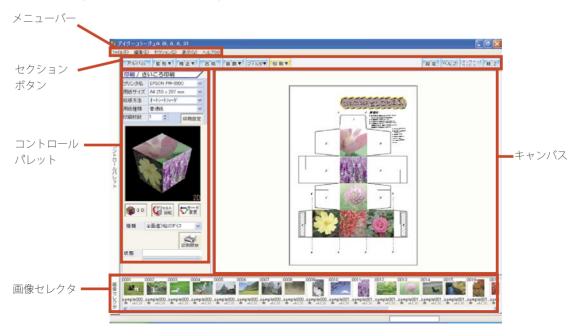
# 印刷 - さいころ印刷セクション

「さいころ印刷セクション」では、現在選択されている画像及びアルバムの画像を使って、さいころのペーパークラフトを作成し、印刷することが出来ます。

#### ◎各項目の名称



#### ◎各項目の名称 (全面違う絵のダイス作成時)





#### 参照ページのご案内

- ■セクション共通操作 (53 ページ)
- ■設定の詳細につきましては、あわせて「印刷共通操作(126ページ)」をご覧下さい。
- さいころの組み立て方につきましては、巻末の「付録~さいころの作り方 (186 ページ)」をご覧下さい。

#### プレビュー

さいころの完成イメージを表示します。

#### プレビュー操作ボタン

プレビューの操作を設定します。

#### a.[3D] ボタン

[3D] ボタンをクリックすると、現在さいころの画像として選択されている画像を元に、さいころの完成イメージをプレビューに表示します。



#### b.[ デフォルト回転 ] ボタン

プレビュー上手動でさいころの完成イメージを回転させた後、この[デフォルト回転]ボタンをクリックすると、プレビュートの回転が元の状態に戻ります。



※さいころの完成イメージの回転方法につきましては、 後述の「プレビュー上での操作」をご覧下さい。

#### c.[モード変更]ボタン

プレビュー上のさいころの完成イメージの表示につきましては、ご利用のパソコン環境により、以下の3種類のモードから、表示方法を選択することが出来ます。



・さいころに反映する画像の範囲選択方法について 画面右手の画像上でドラッグをすると、さいころ枠が 表示され、さいころに反映する画像の範囲を指定する ことが出来ます。 [モード変更] ボタンをクリックするごとに、「OpenGL モード」  $\rightarrow$  「DirectX モード」  $\rightarrow$  「OpenGL モード」 の順にモードを切り替えます。

・2D 表示モード

さいころの完成イメージを静 止画の状態で、やや上から見た ような角度のイメージで表示し ます。



・OpenGL モード さいころの完成イメージをア ニメーションで、回転させなが ら表示します。



 DirectX モード さいころの完成イメージをア ニメーションで、回転させなが ら表示します。



#### プレビュー上での操作

a.完成イメージを手動で回転する 「OpenGL モード」または「DirectX モード」の場合、プレビュー上の さいころの完成イメージにマウス ポインタを合わせてドラッグする と、完成イメージを手動で回転す ることが出来ます。



#### b. コンテキストメニュー

プレビュー上にマウスポインタを合わせて、右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。

・レンダリングモード

「レンダリングモード」へマウスポインタを合わせると、更にメニューが表示されます。ここから何れかの項目をクリックで選択すると、選択されたモードにプレビューの状態を変更します。



#### 展開する

①「OpenGLモード」または「DirectXモード」の場合、この「展開する」をクリックすると、さいころの完成イメージを展開しながら、完成イメージを回転させることが出来ます。



②完成イメージを展開した状態 での回転の状態です。



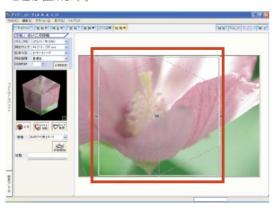
③完成イメージを展開している 状態で右クリックをすると、「展 開する」にチェックマークが付 いた状態で、コンテキストメ ニューが表示されます。ここで、 再び「展開する」をクリックす ると、チェックマークが外され て、元のさいころの完成イメー ジを回転した状態に戻ります。



#### 種類

プルダウンメニューを使って、作成するさいころのペーパークラフトの種類を設定します。

- a. 斜めから見るダイス さいころの6面の内、3面ずつを使って、選択されてい る画像を印刷します。
  - ・さいころに反映する画像の範囲選択方法について 画面右手の画像上でドラッグをすると、さいころ枠が 表示され、さいころに反映する画像の範囲を指定する ことが出来ます。



b. 全面同じ絵のダイス

さいころの6面全てに、選択されている画像を印刷します。

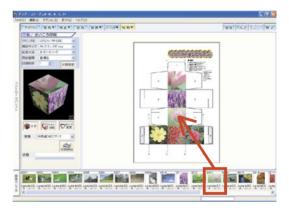


c. 全面違う絵のダイス

さいころの6面へ、別々の画像を配置する位置を指定しながら設定を行い、6面全てを違う画像で印刷します。

・画像の配置と設定について

- ①プルダウンメニューを使って、「種類」を「全面違う絵のダイス」に設定します。
- ②画像セレクタが画面下部に表示されます。 ここから使用する画像を配置したいさいころの面へドラッグ&ドロップして下さい。



ы

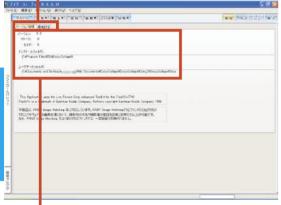
設定セクションに移動します

[設定]ボタンをクリックして下さい。

# 設定

#### 設定セクション - バージョン情報

バージョン情報 / 環境設定切り替えタブ

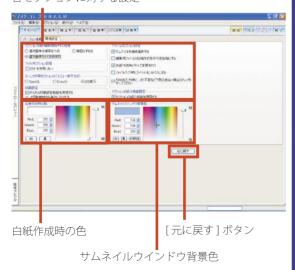


#### バージョン情報

ユーザーサポートを受ける場合に必要になります。お問い合わせの際は、この情報を合わせてお知らせ下さい。

#### 設定セクション - 環境設定

各セクションに対する設定



#### ◎各セクションに対する設定

「設定セクション」では、デイジーコラージュのバージョン情報の表示や環境設定を行うことが出来ます。

- 1. セクション移動 (編集開始) 時の処理
  - ・選択画像の複写を作成 アルバムセクションを抜ける時、複写を作成し て元画像を保存します。
  - ・選択画像をそのまま使用 複写を作成せずに元画像を編集します。
  - ・毎回たずねる 確認ウインドウを毎回表示します。
- 2. フィルタセクション設定
  - ・SSE を使用しない

Pentium Ⅲ以降の CPU を搭載したPCでフィルタがうまく動作しない場合にチェックを入れて下さい。

3. さいころ印刷セクションのプレビュー表示方式 さいころ印刷セクションで DirectX や OpenGL が うまく動作しない場合は、「2D 表示」を選択して下 さい。

#### 4 印刷設定

・かんたん印刷設定機能を使用する EPSON/CANON製プリンタで印刷する時に強制終了してしまう場合は、このチェックを外して下さい。

#### 5. アルバムセクション設定

・サムネイルを連続選択する

チェックが入っていると、Windows の複数選択の操作を行わなくても、サムネイルをクリックするだけで連続選択を行えます。

- ・編集用ファイルの圧縮方式を非可逆圧縮にする チェックが入っていると、内部的に画像データ を JPEG フォーマットで圧縮します。ファイルサイ ズは小さくなりますが品質は劣化します。
- ・白紙作成時にサイズ変更を行なう 白紙画像を作成するときに、サイズ変更画面を 表示します。
- ・ファイル入力時にタイトルをフルパスにする ファイル入力後、画像のタイトルとしてフォル ダ名を含むファイル名を付けます。チェックを外

設

定

すと、ファイル名のみをタイトルにします。

・TWAIN 入力時に、メモリ不足などで取込めない場合はチェックを外して下さい。

TWAINからのデータ読込み時に一括読込みを行ないます。チェックを外す事により、分割読込を行なうようになります。

#### 6. セクションの紹介機能

・セクションの紹介機能を使用する チェックが入っていると、各セクションへ移動す る際に、各セクションの紹介の一覧を表示します。

#### ◎白紙作成時の色

アルバムセクションで作成する白紙画像の色を指定します。

#### ◎サムネイルウインドウ背景色

アルバムセクションのアルバムサムネイル一覧の背景色を指定します。

#### ◎ [元に戻す]ボタン

環境設定タブの状態を設定セクションに入ってきた時の 状態に戻します。

# オンラインサービスボタン

[オンラインサービス]ボタンをクリックすると、最新情報が掲載されるホームページへジャンプしたり、インターネット経由でスタンプ素材などを追加することが出来ます。





オンラインサードス

🗰 本サービスのご利用について

本サービスをご利用いただくには、インターネットに接続できる環境が必要です。

また、インターネットの接続料金や回線料金などの費用はお客様のご負担となります。ご了承ください。

# スタンプやフレームなど、すぐにで使える素材をダウンロードして追加登録できます。 まなりの時はまずこちらをご参照ください。 コラージュサークル デイジーコラージュの総合情報Webサイト「デイジーコラージュサークル」へのリンクです。 SILKY PIX のサイトへ 現像処理について詳細な情報が満載です。 市川ソフトのサイトへ 市川ソフトのサイトへ ホールソフトラボラトリーのホームページです。

#### ◎素材ダウンロード

DPEgg 会員登録

スタンプやフレームなどの素材をダウンロードして追加できます。

「ネットプリント」機能をご利用いただくには こちらからDPEggの会員登録を行ってください。

#### [素材ダウンロード] について

[素材ダウンロード] ボタンをクリックすると、「素材ダウンロード」 ウインドウが表示されます。

[ダウンロード開始]ボタンをクリックすると、表示されている追加素材のダウンロードを開始します。

ダウンロードが完了すると、スタンプ セクションとフレーム セクションに新しい素材が追加登録されます。

※追加された素材は、スタンプ セクションとフレーム セクションの画像セレクタより選択していただけるようになります。

#### ◎オンライン FAQ

「デイジーコラージュ 9」について、よくあるお問い合わせを随時更新し、ご案内します。

◎コラージュサークルデイジーコラージュ シリーズの専用サイトです。

◎ SILKYPIX のサイトへ

「デイジーコラージュ9」の現像機能でご提供しております SILKYPIX の専用サイトです。

- ◎市川ソフトのサイトへ弊社ホームページのトップを表示します。
- ◎ DPEgg 会員登録

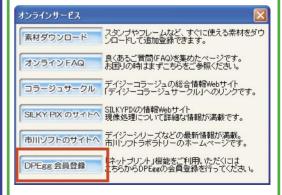
ネットプリント機能でご提供しております  $\mathsf{DPEgg} \land \mathsf{OS}$  の登録サイトです。



DPEgg のご登録方法について

【ご登録をおこなわれる前にご確認下さい】

- 1.「DPEgg」の会員登録は無料です。
- 2.「DPEgg 会員登録」サイトからの操作の詳細 につきましては、DPEggサイト よくある質問 をご覧下さい。
- ①操作を開始する前に、インターネットへ接続する 準備が出来ていることをご確認下さい。
- ②「オンラインサービス」ウインドウが表示されます。 [DPEgg 会員登録] ボタンをクリックして下さい。



設

③「DPEgg ご登録のご案内」ウインドウが表示され ます。 内容をご確認の上、操作を実行する場合には、「OKI ボタンをクリックして下さい。 ※[キャンセル]ボタンをクリックすると処理を中 断し、アルバム セクション画面へ戻ります。 ネットブリントサービスの会員登録のご案内 これより起動するDPEggの画面から、ノーリン鋼機株式会社の提供いたしますネットブリントサービス~Digital Photo Egg(DPEgg)のサイトとなります。 -[OK]ボタンを押すと、本サービスのDPEccのサイトを起動します。
-[キャンセル]ボタンを押すと、「デイジーコラージュ9」の画面へ戻ります。 ※1 本サービスの詳細につきましては、DPEggサイトよくある質問をご覧ください。
※2 誠に恐れ入りますが、インターネットの接続料金や回線料金などの費用はお客様のご負担となります。 ОК キャンセル ④「DPEgg 会員登録」画面が起動します。 - ge :: -PEO MAN さらは Phon をはなき属サービスをごり用いただりはよ 下込むを発動的は可能していただら高が あります。 食用品材をご可能のかけい下で似っていまるとなり、同能した上でき用品材をごっていたが、 2 88,000 / DIENN Price Profe Employs D.T 「おおか」としませました。イーリン機能 作れるは、ホテープロしょくいます。かつはおりからのはコンシャーであり リイト なは、ドラリットとしょうます。かつはおりからのはコンシャーであり リイト なは、ドラリットとしょうです。できまった。した、ホテー によっていた。 3 201-1-00102

第1条(サービスが可能) 出発は、本サイトにおいてあがサービスを助けられるものとします。 ログ・音楽、大きによってサイトにアップロードされた音音データ。また は全世に平年度にアップロードをは解した音音データと、単位サーバーのの HINNY STORL TO ALBORAT OF T RETO MELSU 39年までリティにカアンタルをより提展的でします。カーラの を入めて金属は大き様でのメデアクリント・関係者を打って を行っているを表現した。またのとはおれて、

**●** (0.01-7a):

4 man 7

定

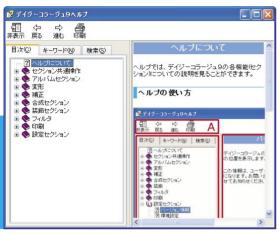
# ヘルプ / 終了 ボタン

[ヘルプ] ボタンをクリックすると、ヘルプを表示します。 [終了] ボタンをクリックすると、デイジーコラージュ 9 を終了します。

#### [ヘルプ]ボタン

[ヘルプ] ボタンをクリックすると、ヘルプを表示します。





ヘルプを終了する際には、[×(閉じる)]ボタンをクリックして下さい。

#### [終了] ボタン

[終了] ボタンをクリックすると、「デイジーコラージュ9| を終了します。



「デイジーコラージュ9」を終了します。

「デイジーコラージュ 9」へ登録保存した画像は、「デイジーコラージュ 9」のプログラムが直接管理しているため、画像は自動的に保存されています。

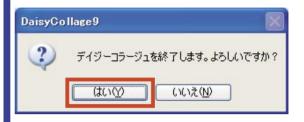
このため、次回「デイジーコラージュ9」を起動した時には、前回「デイジーコラージュ9」を終了した状態の画像が保存されている状態のアルバムセクションが起動します。

① [終了] ボタンをクリックします。



②「デイジーコラージュを終了します。よろしいですか?」という確認メッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックすると、「デイジーコラー ジュ 9」を終了します。



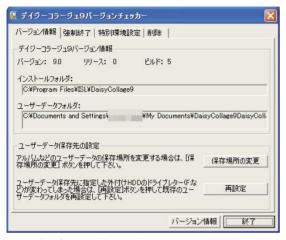
# バージョンチェッカー

バージョンチェッカーは、「デイジーコラージュ 9」のバージョン情報の表示や設定の変更を行うプログラムです。 スタートメニューの [(すべての)プログラム]-[デイジーコラージュ 9]-[バージョンチェッカー] を選択すると起動できます。(※バージョンチェッカーを起動するときは、必ず「デイジーコラージュ 9」を終了して下さい。)

クリックして下さい。

#### バージョン情報タブ

デイジーコラージュ9のバージョン情報を表示します。 [保存場所の変更]ボタンを押すと、ユーザーデータの保存場所を変更することが出来ます。

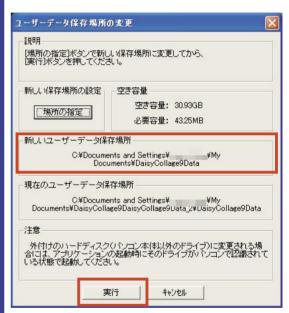


#### ユーザーデータ保存場所の変更について

- ①[保存場所の変更]ボタンをクリックすると、「ユーザーデータ保存場所の変更」画面が表示されます。[場所の指定]ボタンをクリックして下さい。
- ②「保存場所の設定」画面が表示されます。
  - イ.ツリーエリアから保存場所を指定します。
  - 口.指定された場所のパスが表示されます。
- ハ.パスをご確認の上、[OK] ボタンをクリックして下 さい。

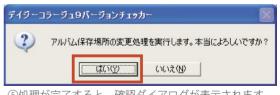


③「ユーザーデータ保存場所の変更」画面に戻ります。 「新しいアルバムの保存場所」に指定されたパスが表示されますので、パスをご確認の上、[実行]ボタンを



④確認ダイアログが表示されます。

[はい] ボタンをクリックすると、アルバムの保存場所の変更を実行します。



⑤処理が完了すると、確認ダイアログが表示されます。 内容をご確認の上、「OKI ボタンをクリックして下さい。



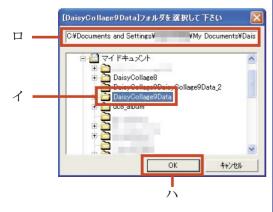


アルバム保存場所ドライブの変更についての 注意

- ■変更できる [ ドライブ ] は [ ハードディスクドライブ ] のみです。MO などのリムーバブルメディアには変更できません。
- ■保存場所を外付けハードディスクに変更した場合は、デイジーコラージュ9を起動する前に、外付けハードディスクがパソコンから認識されているか確認してください。アルバムを保存している外付けハードディスクがパソコンに接続されていないと、デイジーコラージュ9は起動出来ません。
- ■元の場所にあったアルバムデータは、ごみ箱に移動します。安全のため、アルバム保存場所変更処理終了後、これまで使用していたアルバムデータはごみ箱へ移動します。デイジーコラージュ9を起動して、アルバム保存場所が変更されていることを確認した上で、ごみ箱から削除してください。なお、ごみ箱の設定によっては直接削除される場合がありますので、設定を変更されている方は、予めごみ箱の設定をご確認下さい。

#### 再設定について

- ① [ 再設定 ] ボタンをクリックして下さい。
- ②「[DaisyCollage9Data] フォルダを選択して下さい」画面が表示されます。
  - イ.ツリーエリアから保存場所を指定します。
  - 口. 指定された場所のパスが表示されます。
  - ハ.パスをご確認の上、[OK] ボタンをクリックして下 さい。

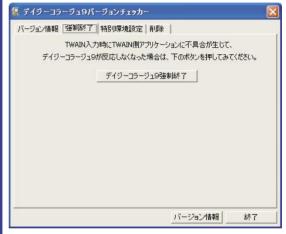


③処理が完了すると、確認ダイアログが表示されます。 内容をご確認の上、[OK] ボタンをクリックして下さい。



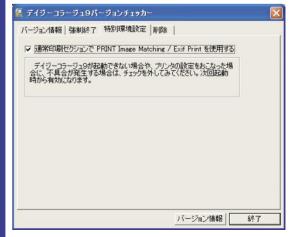
#### 強制終了タブ

TWAIN 入力時などに不具合が生じた際に、[DC9 強制終了] ボタンをクリックすると、デイジーコラージュ 9を強制的に終了します。



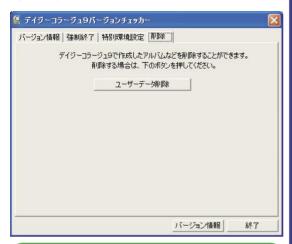
#### 特別環境設定タブ

画像が持つ撮影情報を通常印刷セクションで使用するか どうかを設定できます。



#### 削除タブ

[削除]ボタンを押すと、取り込んだ画像やユーザーが 作成したアルバム / データ、ダウンロード素材を全て削 除します。



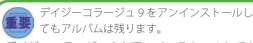


削除ボタンについての注意

[削除]ボタンで削除したファイルは、ごみ箱へ移動しますが、ごみ箱の設定によっては直接削除されてしまい、元に戻せません。[削除]ボタンを使用する場合は注意してください。

# アンインストール

デイジーコラージュ9をパソコンから削除する場合は、アンインストールを行います。



デイジーコラージュ9をアンインストールしても、ユーザーが作成したアルバムや画像などのデータはハードディスク上に残っています。画像などのデータの削除は、バージョンチェッカーの削除タブの中の[削除]ボタンより行って下さい。

※[削除]ボタンについてはバージョンチェッカーの 説明を参照して下さい。

なお、Windows2000/XPで複数のユーザーがデイジーコラージュ9を使用していた場合は、各ユーザーごとにデータが残っているので、削除処理も各ユーザーごとに行う必要があります。

WindowsXP では、まずスタートメニューで[コントロールパネル]を起動します。



[コントロールパネル]から[プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。



[プログラムの追加と削除]が起動します。 「デイジーコラージュ 9」を選択してから、[変更と削除] ボタンをクリックして下さい。



削除が開始されます。



削除が終わると、[プログラムの追加と削除]に戻ります。起動している全てのウインドウを閉じて下さい。

※ WindowsXP 以外の場合には、スタートメニューの [設定]-[コントロールパネル]を選択し、[コントロールパネル]から [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。

表示された画面から [ デイジーコラージュ 9] をクリックし、[ 削除 ] ボタンをクリックすると、デイジーコラージュ 9 の削除を実行します。

# 対応ファイルフォーマット

読み込み可能フォーマット:BMP、JPEG(Progressive JPEG、EXIF、DCFを含む)、GIF(インターレス GIFを含む)、PCD、PSD(\*1)、PDD(\*1)、TGA、PICT、FlashPix、IMG、PCX、DCX、HPI、MAG、Q0、RGB、TRP、TIFF(\*2)、PNG、DCI(デイジーコラージュ独自フォーマット)

書き込み可能フォーマット: BMP、JPEG(Progressive JPEG、EXIF、DCF を含む)、GIF(インターレス GIF を含む)、FlashPix、PCX、DCX、QO、RGB、TIFF(\*2)、PNG \*1 レイヤ機能には対応しておりません。代表画像のみの取り扱いとなります。

\*2 無圧縮 RGB 形式のみの取り扱いとなります。

#### RAW フォーマット対応確認機種一覧

- ※ 2005年11月18日現在
- NIKON D1(\*1) / D1X / D2X / D1H / D2H/ D2Hs / D50(\*1) / D70 / D70s / D100 / CoolPix5400(\*1) / CoolPix8400(\*1) / CoolPix8400(\*1) / CoolPix8800(\*1)
- CANON EOS-1D / EOS-1D mark II / EOS-1Ds / EOS-1Ds mark II / EOS-1Db / EOS-1Db mark II / EOS-1Db / EOS-20D / EOS-20Da(\*4) / EOS D30(\*2) / EOS D60 / EOS Kiss Digital / EOS Kiss Digital N / EOS Kiss Digital Rebel / EOS Kiss Digital Rebel XT / EOS-300D / EOS-350D / PowerShot S30 / PowerShot S45 / PowerShot S60(\*1) / PowerShot S70(\*1) / PowerShot G2(\*1) / PowerShot G5(\*1) / PowerShot Pro1(\*1)
- OLYMPUS E-1 / E-10 / E-20 / E-300 / C-5050ZOOM / C-5060 Wide Zoom / C-70ZOOM / C-7070 Wide Zoom / C-8080 Wide Zoom
- PENTAX \*istD / \*istDS / \*istDL / \*istDS2
- KONICA MINOLTA DIMAGE A1 / DIMAGE A2 / DIMAGE A200 / DIMAGE 7 / DIMAGE 7 i / DI
- EPSON R-D1
- Panasonic DMC-LC1 / DMC-LX1 / DMC-FZ30(\*6)
- Kodax Pro SLR/n(\*3) / Pro 14/n(\*3)
- ■その他 Adobe DNG Format(\*5)
- \*1 カメラの WB 設定値は取得されません。
- \*2 カメラの WB 設定値は取得されますが、AWB の場合は太陽光扱いとなります。
- \*3 カメラの WB 設定値は取得されません。また圧縮モードの RAW には対応しません。

\*4 赤外線感度が高い特殊なカメラのため、赤外線放射の強い被写体では、色再現が狂う場合があります。

\*5 対応している DNG には制限があります。

\*6モード設定によって記録画素数はカメラ内現像と異なる場合があります。

※対応確認機種以外のカメラで撮影した RAW フォーマットについては、サムネイル表示ができない場合があります。予めご了承下さい。なお、対応確認情報につきましては、随時弊社ホームページにてご案内致します。

#### 対応動画フォーマット(入力・管理のみ)

AVI、MPEG、MOV

※動画フォーマットを入力・管理するには DirectX6 以降が必要です。また「\*.MOV」形式の動画フォーマットを入力・管理するには QuickTime6 以降が必要です。なお、可変フレームレートの動画ファイルは入力できません。

# 対応音声フォーマット(入力・管理のみ)

WAV

※音声ファイルは画像に付随するもの(デジタルカメラで付与したもの)に限り、画像の付属ファイルとして管理することが出来ます。

# ユーザーサポートについて

製品購入後ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、郵便ポストへご投函ください。登録はがきをご送付いただくと、お客様は正規ユーザーとして登録され、サポートを受けられるようになります。原則として、未登録のお客様はサポートを受けられません。

また、スピーディなインターネット上でのご登録も受け付けております。詳しくは弊社ホームページ(http://www.isl.co.jp/)及びデイジーコラージュシリーズの専用サイト「デイジーコラージュサークル」(http://www.isl.co.jp/DCC/)をご覧下さい。

#### 製品についてのお問い合わせ

ソフトウェアの使用方法など、不明な点を問い合わせることができます。なお、コンピューターの扱い方や、OS等の使い方、プリンタ、スキャナ、デジタルカメラ等の拡張機器など弊社製品のご利用方法以外のお問い合わせにはお答えできません。他社製品についてのお問い合わせは各社のサポート窓口へお問い合わせ下さい。

また、弊社で動作保障している機器以外の組み合わせでの不具合につきましてはサポートしかねる場合がございます。

#### お問い合わせの方法

手紙によるお問い合わせ

本マニュアル巻末に付属している「製品問い合わせ票」をコピーし、返送先ご住所、シリアル番号、質問事項、ご利用機器の構成などの必要事項をできるだけ詳しく記入し、下記へ封書にてご送付下さい。

〒261-8501 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンビル東中央館(CD)5F株式会社市川ソフトラボラトリー「デイジーコラージュ9ユーザーサポート係」

電話によるお問い合わせ

本マニュアル巻末に付属している「製品問い合わせ票」をご参照いただき、状況を詳しくお伝え下さい。 TEL 043(296)8080「市川ソフト ユーザーサポートセンター」

土、日、祝祭日を除く 10 時~ 12 時・13 時~ 16 時

※コレクトコールでのお問い合わせは受け付けておりません。

FAXによるお問い合わせ

本マニュアル巻末に付属している「製品問い合わせ票」をコピーし、返送FAX番号、シリアル番号、質問事項、ご利用機器の構成などの必要事項をできるだけ詳しく記入し、下記へFAXして下さい。

FAX043(296)8079「デイジーコラージュ9ユーザーサポート係」

・インターネットを利用したお問い合わせ

本マニュアル巻末に付属している「製品問い合わせ票」をご参照いただき、返送E-Mailアドレス、シリアル番号、質問事項、ご利用機器の構成などの必要事項をできるだけ詳しく記入し、下記のアドレスまでE-Mailをご送付下さい。

support@isl.co.jp

お手紙、FAX、E-Mailでのお問い合わせにつきましては、順次回答を行っておりますが、ご質問内容によりましては調査等のため、お時間を頂く場合もあります。また、お名前、返送先などが不明な場合、回答できないことがあります。お問い合わせいただく際には確実に返送先をご指定下さい。

重要

以下のライセンス契約書を注意してお読みください。

○本使用許諾契約書(以下「本契約書」といいます)は、下記に示された市川ソフトラボラトリーソフトウェア製品(以下「本ソフトウェア製品」または「本ソフトウェア」といいます)に関してお客様(個人または法人のいずれであるかを問いません)と株式会社中川ソフトラボラリー(以下当社といいます)との間に締結される法的な契約書です。
○本ソフトウェア製品(D-ROM/ペッケージを開封した時点またはインストールもしくは使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることに承諾されたものとします。
○本契分書の条項に同意されない製合、当社はお客様に本ソフトウェア製品のインストール、使用または複製のいずれも欝乱してきません。同意とない場合には、未使用の本ソフトウェア製品でき販売代理店(とない場合には、大田の本ソフトウェアシーンで、およびそれに関連した媒体、ならびにい開物(マニュアルなどの文書)、「オンライン」または電子文書を含みます。
○本ソフトウェア製品は、著作権法および著作権に関する条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。
○本ソフトウェア製品は、著作権法および著作権に関する条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。

# 【ソフトウェア製品ライセンス】 製品名:デイジーコラージュ9

ご使用条件

1. ご使用条件 よなソフトウェア製品のコピーを特定の1台のコンピュータまた は本ソフトウェア製品のライセンス販売契約に基く台数分のコンピュータ に対し、インストールして使用することができます。

禁止事項

2. 禁止事項 \*著作権の表示 お客様は、本ソフトウェア製品の全てのコピーに添付されている著作権表 示を取り除いたり変更することはできません。

示を取り除いたり发史9 ることはできません。
\* 頒布の禁止
お客様は、本ソフトウェア製品のコピーまたは改変したものを第三者に頒布することはできません。
\* 譲渡およびレンタル・リースの禁止
お客様は、本ソフトウェア製品および本ソフトウェア製品のコピーまたは改変したものを、譲渡およびレンタル・リースすることはできません。
\* リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルの禁止
お客様は、本ソフトウェア製品をリパースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。
\* 注: 建介適中

のできた。 小、または逆アセンブルすることは、このとい。 \*法律の遵守 お客様は、本ソフトウェア製品の使用に関して、適用される法律を遵守し なければなりません。

3. 契約の月別期間 (1) 本契約の有効期間は、本契約成立のときから、お客様が本ソフトウェア 製品の使用を止められるときまでとします。 (2) お客様が本契約書の条項および条件に違反した場合、当社は、他の権利 を害することなく本契約を終了することができます。そのような場合、お 客様は本ソフトウェア製品の複製物およびその構成部分を全て破棄しなけ はないました。 ればなりません。

4. 当社の責任 (1) 当社は、本ソフトウェア製品に、当社の責に帰すべき物理的な欠損があった場合には、お客様がエフトウェア製品を購入された日から90日以内に限り、無償で別の本ソフトウェア製品とお取り替えたいとます。ただし、領収書等の購入および購入された日を証明するものをご提示いただいた場

5. 責任および保証の制限 (I) お客様が意図する結果を得るためのソフトウェアの選択、導入およびその使用ならびにその使用結果につき発生した全ての損害につきましては、

お客様の責任とさせていただきます。当社は一切の責任を負いかねます。 (2) 当社およびその供給者は、本ソフトウェア製品およびドキュメントの使用または使用不能から生じる一切の損害(逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定されません)に関して一切責任を負いません。たとえ、当社がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

6. コンテンツの利用 (1) 本ソフトウェア製品に含まれるコンテンツ(写真・背景・テンプレート・ その他一切の素材データ)は、第三者に譲渡ならびにレンタル・リースおよび頒布することはできません。 (2) 本ソフトウェア製品に含まれるコンテンツを使用して作成した成果物 を、商用利用および販売することはできません。

を、簡用利用および販売することはできません。

7. 第三者のソフトウェア
当社は、本ソフトウェア製品とともに、第三者のソフトウェア製品(以下「第三者ソフトウェア製品」といいます)を提供する場合があります。別っ規定に従い取り扱われるべき盲の記載が、本ソフトウェア製品で別の別の関定に従い取り扱われるものとし、当社によるサポートおよび保証等については、以下の規定が適用されるものとします。(1)サポートサービス第三者ソフトウェア製品およびそれに関するドキュメンテーションは、第三者ソフトウェア製品およびそれに関するドキュメンテーションは、第一者ソフトウェア製品に関してサポートを提供するものではありません。(2)無保証第三者ソフトウェア製品およびドキュメントは、何等保証もない現状有姿のままで提供されるものです。当社は、商品性、特定目的に対する適合性、および権利侵害の不存在その他にしまいて明示であると黙示であるとおよび権利侵害の不存在その他にしまいて明示であるとないであるとないであるとないであるとないであるとないであるとないであるとないであるとないではありません。(3)免責。 (3) 免責

(3) 究真 当社は、いかなる場合においても、第三者ソフトウェア製品およびドキュ メントの使用または使用不能から生じる一切の損害(逸失利益、事業の中断、 事業情報の喪失またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定され ません)に関して一切責任を負いません。たとえ、当社およびその子会社 がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

8. 者作権 本ソフトウェア製品および本ソフトウェア製品の複製物についての権限お よび著作権は、当社が有するものです。本ソフトウェア製品を使ってアク セスできるコンテンツについての権限および無体財産権はコンテンツの所 有者の所有物で、適用される著作権法および著作権の条約の規定しよって 保護されています。本契約書は、お客様にかかるコンテンツの使用権を許 詰するものではありません。本契約書に明白に与えられていない権利はす べて当社によって留保されます。

9 輸出規制

ン・新田が出 お客様は、本ソフトウェア製品を日本国内でのみ使用するものとし、国外 で使用したり輸出することはできません。

本契約は、日本国法に準拠するものとします。 本契約書に関して不明な点がございましたら、日本国に所在する 株式会社 市川ソフトラボラトリーに書面にてご連絡いただくようお願い申し上げま

〒 261-8501 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンビル東中央館 (CD) 5 F 株式会社 市川ソフトラボラトリー

てい他 本製品に含まれるマニュアルや印刷物等の著作権は、株式会社市川ソフト ラボラトリーが所有します。 CD-ROMに含まれるソフトウェアには以下の著作権があります。 米 Eastman Kodak社が著作権を所有するプログラムが含まれ

ります。 本製品は、PRINT Image Matching III に対応しています。PRINT Image Matching 対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理におい て、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、 PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンタでは、一部機能が反映され

なせん。 CD-ROMに含まれるイラスト、画像データは株式会社市川ソフトラボラトリーが所有しています。 本製品の上記以外のプログラム著作権は、株式会社市川ソフトラボラトリーが所有しています。

なお、マニュアルに記載されている製品名、会社名は一般に各社の商標または登録商標です。

# デイジーコラージュ

version 9 for Windows98SE/Me/2000/XP

# ユーザーズマニュアル

2005年10月11日 第1版



# 開発•著作

# 株式会社 市川ソフトラボラトリー

# 付録

#### 補正の種類



◎色補正~自動補正



◎明るさ(左)・コントラスト(右)



◎色調・彩度・明度~色調(赤)



◎色調・彩度・明度~彩度(+)



◎色調・彩度・明度~明度(-)



◎カラーバランス



◎レベル補正



# 180 付録

#### ◎トーンカーブ



# ◎美肌補正





補正前

補正後

◎ぼかし・シャープ~ぼかし



◎赤目補正





◎ぼかし・シャープ~シャープ



◎コピー修正

補正前



補正後

◎ノイズ除去

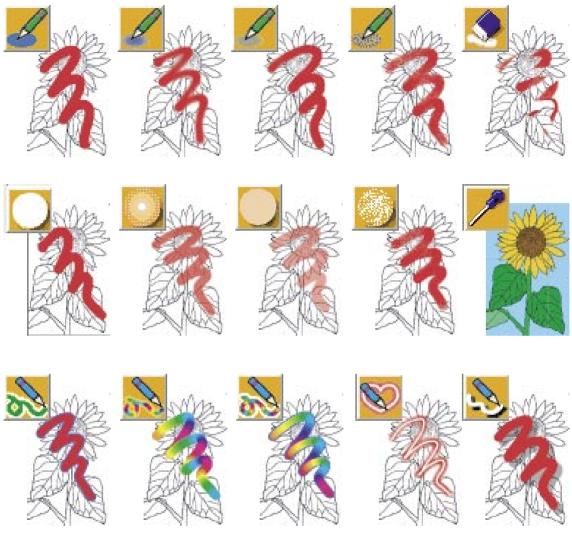


◎偽色抑制

補正前



# ペンの種類





# 金属ペンの種類



#### フィルタの種類

◎一発美人

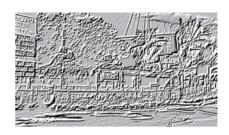
補正前



補正後



◎レリーフ



◎手ぶれ



◎陰影



◎クロスフォーカス



◎輪郭線



◎ソフトフォーカス



◎デッサン



◎七色強調



◎メタル



◎セピア



◎ネガ



◎ソラリゼーション



◎モノクロ



◎拡散



◎モザイク



◎波紋



◎ノイズ付加



◎放射



◎レンズ



◎ポスター



◎ステンドグラス



◎ぼかし(左) シャープ(右)



◎レンズフレア



◎スリム



◎雨



◎水面



◎照明



◎絵画調



◎正方分解



### 186 付録

#### さいころの作り方

\_\_\_\_ ここでは、印刷後のさいころの作成方法をご案内します。 ▲ ⑤ A と C、B と D の切込み

①紙を切る前に、a-c、b-d、e-g、h-fの縦4本と、それぞれの面の間の線を折り曲げて、しっかりと折り目を付けます。



を差し込んで合わせます。



②さいころをテンプレート から切り抜きます。



⑥ E と F の切れ目を差し込んで合わせます。



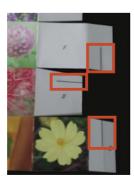
③ A、C、E 面の太線に沿って切り込みを入れます。



⑦AとCで出来た袋へHを、 BとDで出来た袋へGを、 更にIの部分を箱に蓋をする ように同時に差し込みます。



④同様にB、D、F面の太線 に沿って切り込みを入れます。



⑧出来上がりです。



				ZCIII. J. II IV CO
日付 20	年 月 日	シリアル番号 DC9-	バージョン	: 9
会社名/音	部署名			
お名前		様		
ご住所				
お電話番号		FAX 番号		
E-Mail				
パソコン	メーカー名	機種名	OS Windows(	)
	CPU	メモリ	HDD 空き容量	
	インストール先フォルタ	Ž		
関連する				
周辺機器				
お問い合物	わせ内容			
I				

